

2 札幌商業 三時間六分〇七秒
 3 名寄中 三時間六分一〇秒
 4 小樽中 三時間七分〇一秒
 5 北海商業 三時間七分〇二秒
 6 北海中 旭川師範 旭川商業 9 俱
 知安中 10 札幌師範
 得点 1 樽酒五八五二 樽中四五五〇三
 札幌四〇〇四 北商三七七五〇五 一中二
 一點〇六 俱中二〇〇七 北中一一一〇
 7 名中一一〇九 旭商九〇〇十 旭師八
 〇〇一〇 二中八〇〇一〇 光星七〇〇一三 札幌
 四〇〇五

中等學校スキー大會の王座

第一回(昭和五年) 小樽商業學校
 第二回(昭和六年) 同
 第三回(昭和七年) 札幌商業學校
 第四回(昭和八年) 札幌商業學校
 第五回(昭和九年) 札幌商業學校
 第六回(昭和十年) 札幌商業學校
 第七回(昭和十一年) 北海商業學校
 第八回(昭和十二年) 札幌第一中學校
 第九回(昭和十三年) 札幌第一中學校
 第十回(昭和十四年) 小樽商業學校

昭和十四年度トロフィー獲得者

△長距離競走 壯年組 全日本スキー聯盟杯 (秋 林) 村上 吉五郎
 少年組 全日本スキー聯盟杯 (北 商) 落合 力松
 成年組 故岸 清一 杯 (豊 聯) 佐藤 忠義
 △複合競技 少年組 全日本スキー聯盟杯 (ホッパ) 竹見 忠孝
 成年組 香宮 昭雄 杯 (早 大) 久慈 康夫
 △飛躍競技 少年組 全日本スキー聯盟杯 (樽 中) 久慈 康夫
 成年組 文部 大 杯 (北 商) 淺木 文雄
 △耐久走 最長不倒 長岡 將軍 記念 牌 (豊 聯) 伊藤 達雄
 △耐久走 全日本スキー聯盟杯 (北 商) 淺木 文雄
 △耐久走 稲田 前會 長 杯 (札幌) 關 戸 佐藤
 △耐久走 大谷 光 杯 (豊 聯) 關 戸 佐藤
 △耐久走 大谷 光 杯 (高田中) 小島 弘平
 △滑降複合競技 厚生 大 杯 (札幌) 奥村 末男
 △滑降複合競技 小島 聯盟會 長 牌 (旭川高女) 佐藤 啓子

馬スキー

◇第二回全道馬スキー大會は昭和十四年二月十二日白銀の綜合グラウンドを舞臺として開催。
 第一距離(中間種) 北京(池内)一七三分三秒八△第二距離(重種) 第三三日月(伊藤)二三分三秒一△第三距離(中間種) 1 北京(池内)二四分〇秒八△第五距離(重種) 桂月(後藤)三分四二秒八△第六距離(中間種) マツヒメ(西川)三分一四秒八△第七距離(重種) 初花(古野)三分四八秒八△第八距離(傳法) 三分二秒二 高杉組三分二秒七三 三浦組三分四六秒

スケート

(十三年十二月十四日二月)
 ◇日滿對抗氷上競技大會へ氷上王國苦小牧の中川キヨ(苦高女)を始め大高タへ、坂本キヨ、北澤キケ(苦小牧高女)、野澤光子(苦小牧西)の五嬢が代表選手として派遣された。
 ◇王子、北大豫科、苦工氷上ホッケーリーグ戦(十二月二十三日苦小牧王子リーグ戦) 王子 16——1 北大豫科 苦工 8——3 北大豫科

王子 6——1 苦工
 ◇全道スピード記録會(十二月二十七日苦小牧王子リーグ)

女子
 五百米 1 中川(苦高女) 五五秒五
 一公里 1 中川(同) 一分二九秒一
 一公里 1 中川(同) 一分五五秒五
 五公里 1 中川(同) 一分九秒四
 △綜合成績
 1 中川キヨ(苦小牧高女) 三三點四
 2 大高タ(同) 三三點三
 3 坂本キヨ(苦小牧西出) 三三點二
 4 北澤 (苦小牧高女) 三三點一
 5 野澤 (苦小牧西) 三三點〇

男子
 千五百米 1 小松(日職) 二分五五秒二
 五百米 1 伊藤(苦工) 一分二六秒八
 五百米 1 潤岡(日職) 一分一〇秒四
 一公里 1 高屋(苦工) 二分四八秒二
 ◇第九回全道高級氷上戦(十二月三十日日光湖尾リンク)
 △五百米 1 富樫(北大豫科) 一分三六秒七【大會新記録】2 稲田(北大豫科) 一分四三秒二【大會新記録】
 △一公里 1 稲田(北大豫科) 二分九秒三
 △二公里 1 富樫(北大豫科) 二分一〇秒六 津山(北大豫科)
 △千五百米 1 富樫(北大豫科) 二分五八秒二 2 稲田(北大豫科) 三分二秒九 草(北大豫科) 三分一〇秒三
 △二公里 1 北大豫科(草、窪堀、富

櫻、稲田)三分四五秒九【大會新記録】
 スピード北大優勝五二點
 △ホッケー
 東京府立高校 4——2 北大豫科
 △ファイギュア
 4 樽田(北大豫科) P N 13 6 草(北大豫科) P N 18
 團體得点 2 北大豫科六點
 ◇第四回五帝氷上ホッケーリーグ戦(二月四日日光湖尾リンク)
 北 大5——3 東北大
 東 大2——0 北大
 京 大9——3 北大
 北 大2——1 京 城
 結局北大は二勝二敗で第二位となる。
 ◇第十二回全道氷上競技選手権大會(一月三日苦小牧王子リンク)
 △女子五百米 1 中川キヨ(苦高女) 坂本キヨ(苦小牧西出)五四秒六 3 大高タへ(苦高女) 五七秒
 △女子三百米 1 大高タへ(苦高女) 六分二〇秒 2 中川キヨ(苦高女) 六分二〇秒 八 3 坂本キヨ(苦西出) 六分二七秒八
 △男子五百米 1 内藤晋(苦工) 四七秒四 2 潤岡正見(日職) 四八秒七 3 伊藤行夫(苦工) 五一秒
 △男子五百米 1 小松豊(日職) 一分〇分九秒二 潤岡正見(日職) 一分〇分九秒五 津田朝昭(苦西) 一分二秒三
 △女子一公里 1 中川キヨ(苦高女) 一分五二秒二 2 大高タへ(苦高女) 一分五七

秒九三 坂本キヨ(苦西出) 一分五八秒五
 △女子五千米 1 中川キヨ(苦高女) 一〇分五七秒 北海道新記録 2 大高タへ(苦高女) 一一分〇三秒四 3 坂本キヨ(苦西出) 一一分三二秒
 △男子五百米 1 潤岡正見(日職) 二分四二秒 2 小松豊(日職) 二分五〇秒 3 安保(苦工) 二分五〇秒
 △男子一萬米 1 潤岡正見(日職) 二分七秒二 小松豊(日職) 二分九秒三 3 伊藤行夫(苦工) 二分二六秒六
 【男子】綜合得点 1 潤岡正見(日職) 二二七點一七三
 【女子】綜合得点 1 中川キヨ(苦高女) 二九九點八六七
 △ファイギュア 1 横田禮一郎(北大豫科) 得点三、得点二、九四點
 △ホッケー
 北 中 6——2 苦工
 王子 1——2 カナデアンスター
 準決勝
 王子 兼福 北 中
 苦小牧工 5——4 全道館
 決勝戦
 王子 6 (321) (110) 2 苦工
 工 樽田 池邊 泉村 井邊
 堀島 池邊 泉村 井邊
 茶戸 森渡 西利山 岡大 永渡
 FW 永渡
 DF 山浦
 GK 山浦
 王子 野塚伊西 原 林 佐 鳥松

◇第九回全道中等學校氷上競技大會は一月十一日長野縣上諏訪の雪の海リンクにおいて開催、本道関係選手の戦績。
 △千五百米 1 内藤晋(苦工) 二分三二秒七【全道中等學校新記録】
 △五百米 1 内藤晋(苦工) 四分五秒一【全道中等學校新記録】
 スピード得点 苦工は十二點をもつて第四位。
 △ホッケー 新京商業對苦工戦は第三回戦制をもつて覇権を争つたが、苦工は決勝一回戦に8—3、同二回戦にも8—3と敗れて惜しくも覇権を逸す。
 決勝二回戦
 新京商 8 (404) (120) 3 苦工
 京島井駒 瀧崎武 内藤下 池
 新 峯酒生 瀧崎武 竹伊山 女
 FW 池
 DF 反則
 GK 反則
 工 口島 瀧崎武 泉村 井邊
 屋 森 瀧崎武 大岡水 渡
 苦 森 瀧崎武 大岡水 渡
 ◇第十六回全道中等學校大會(一月十六日中島リンク)
 △ホッケー決勝
 苦工 4 (220) (000) 〇 札幌
 △ホッケー順位 1 苦工 2 札幌 3 苦中 4 一中
 △ファイギュア 1 大森(北中) P N 6
 2 横田(一中) 3 更科(苦工) 4 貫川(一

中) 5 中村(一中)
 團體得点 1 一中 2 北中 3 苦工
 △スピード 陸軍のため延期となつて一月二十六日苦小牧リンクに移して再開。
 女子五百米 1 今(苦高女) 一分四秒九
 男子五百米 1 内藤(苦工) 一分一六秒二
 △男子五百米 1 内藤(苦工) 一分一四秒
 △男子五百米 1 内藤(苦工) 四分六秒六 2 安保(苦工) 四分九秒六【以上全道中等新記録】△女子三千米 1 廣野(苦高女) 六分四九秒八△女子一萬米 1 宮本(苦高女) 二分二〇秒△男子一萬米 1 内藤(苦工) 二分五〇秒△男子二千米 1 宮本(苦工) 三分一〇秒五【全道中等新記録】
 尚この大會と併せて小學校生徒健健に一般のスピード競技も行はれた。
 ◇第十回全日本スケート選手権大會(一月十七日日光湖尾リンク)
 △女子五百米 1 中川キヨ(苦高女) 五二秒九 2 坂本(苦小牧西) 3 大高(苦高女) 4 北澤(苦小牧) 5 野澤(苦小牧西)
 △女子三千米 1 中川キヨ(苦高女) 五分五五秒六【日本新記録】2 坂本(苦小牧) 3 大高(苦高女) 4 野澤(苦小牧西) 5 北澤(苦高女)
 △女子一公里 中川キヨ(苦高女) 一分四八秒四【日本新記録】2 大高タへ(苦高女) 3 坂本(苦小牧西) 4 野澤(苦小牧西) 5 北澤(苦高女)
 女子綜合得点 1 中川キヨ(二三) 三三三三七

銃後の健康



第一榮養



支那料理 涼茶樓

大小御宴會

御家族御同伴

晝間サービス

(タイム御定食)

札幌市南四條西三丁目

営業時間

午前十時より
午後十時迄

電話二一九・一五三番

2 大高二三九點二・七 坂本二四二點
七二四野澤二四六點一一七五北澤二四
六點三七三
かて中川キヨ子の輝く優勝と共に北海
道女性は全編女子水泳上界を席巻した。
◇日清水上對抗戦(二月二十八日新京見
玉公園リンク)
女子五百米 1 中川キヨ(日本)五二秒
2 坂本(日本)△女子千五百米 1 大高タ
△(日本)三分一秒二二北澤(日本)△女
子千米 1 中川キヨ(日本)一分四九秒六
2 坂本(日本)△女子千五百米 1 大高タ
△(日本)六分二七秒六 2 野澤(日本)△女
子千六百米 1 日本(坂本、北澤、大
高、中川)二分五一秒六 2 野澤(日本)新記
録】
以上代表選手として活躍した本道女子の
健闘は三十一點の得点をあげ輝く優勝を
遂げた。
◇日清對抗水上奉天戦
女子千米 2 中川キヨ(日本)一分四九秒
【日本社に滿洲新記録】3 大高(日本)△
女子千五百米 3 中川(日本)4 坂本(日本)
5 大高(日本)△女子千五百米 1 中川キヨ
(日本)五一秒【日本新記録】3 坂本(日
本)6 大高(日本)△女子千三百米 3 中川
(日本)4 大高(日本)5 坂本(日本)△女
子千六百米 1 日本(坂本、北澤、大
高、中川)二分六秒四【日本新記録】
日本軍は四十六點をあげ滿洲の四十四點
を凌いで再び優勝。

スポーツ

◇内鮮滿交際水上戦(二月七日鴨緑江リ
ンク)
女子五百米 1 中川(内地)五三秒二四 大
高(内地)五五秒一 坂本(内地)五三秒二四 中川
(内地)七分一秒一 坂本(内地)五五秒一 大高
(内地)△女子千六百米 1 内地(坂本、
北澤、大高、中川)三分一秒六△得點内
地二八點、滿洲二四點、朝鮮二點
◇早大ホッケー部は一月下旬來道、各地
において本道軍と對戦
◇二月一日小牧リンク
全吉小牧 1 (100) 0 早大
早 大 5 (31) 0 0 吉工
◇早大對全函館校に函商ホッケー戦
◇二月三日五稜郭リンク
早大 8 (422) 2 函 商
早大 1 (35) 2 2 全函館
◇二月三十一日吉小牧リンク
早大 11 (632) 3 カナデアアンスタ
1 (102) 1 1 1 3 王子
◇札幌水上昇最後のホッケー戦として二
月十一日、十二日、中島リンクにおいて
開催、北大優勝。
札幌 6 1 0 北中
北大 6 1 2 札幌
一中 5 1 2 札幌
△決勝戦

北大 4 (31) 1 0 2 3 一中
◇第十四回全札幌兒童水上大会(二月十
一日中島リンク)
男子五百米 1 長谷川(豊水)△男子千五
百米 1 長谷川(豊水)△男子二千米 1 長谷川
1 (豊水校)△女子四百米 1 佐藤(豊水)
△高男五百米 1 鶴島(二高)△高男五千
米 1 鶴島(二高)△高男二千米 1 鶴島(一
高)

3,000米 時
1 中川(吉)高女 5,55.6
2 坂本(吉)高女 6,09.3
3 大高(吉)高女 6,10.9
4 野澤(吉)高女 6,11.5
5 北 (吉)高女 6,20.8
(日本記録5,58.1)
5,000米
1 中川(吉)高女 10,24.2
2 坂本(吉)高女 10,29.0
3 大高(吉)高女 10,48.3
4 野澤(吉)高女 10,52.5
5 北 (吉)高女 11,20.9
(日本記録10,14.9)

ホツプスレー

◇全小樽中小學校選手権(二月二十九日
公園リンク)
【小學校】三百米 1 高橋(稻穂)四七秒△
五百米 1 田代(稻穂)一分四六秒二△
千米 1 田代(稻穂)二分四一秒二△千
五百米 1 田代(稻穂)四分一〇秒△千
二百米 1 田代(稻穂)一分三三秒
【女子小學校】三百米 1 林(稻穂女子)五
二秒四【中等】五百米 1 澤田(樽中)一分
三二秒八△千米 1 澤田(樽中)二分五秒
七△三千米 1 澤田(樽中)八分一五秒△
五千米 1 澤田(樽中)一四分二二秒

スピード日本女子五傑

500米(○印新記録) 秒
1 中川(吉)高女 51.8
2 坂本(吉)高女 52.8
3 大高(吉)高女 54.3
4 野澤(吉)高女 54.9
5 北 (吉)高女 58.9
(日本記録51.8)
1,000米
1 中川(吉)高女 1,48.4
2 坂本(吉)高女 1,52.4
3 大高(吉)高女 1,58.8
4 野澤(吉)高女 2,00.0
5 北 (吉)高女 2,00.0
(日本記録1,49.5)

冬の新興スポーツとしてホツプスレー
熱は極度に高まり、北海道に札幌ホッケー
倶楽部共催、全日本ホッケー協会の第二回
札幌ホッケー大会を始め、全国大会が札
幌郊外盤谷のホッケーリンクにおいて開催
された。御全日本ホッケー協会を始め札幌
ホッケー協会長に中根光一理事等の努力に
依つて昭和十四年の冬においてこの新興
スポーツの地歩が固められたのである。
◇本道に札幌ホッケー協会の第二回ホ
ッケー大会は二月五日盤谷リンクに開催「環
樺の玉座」を望んで十三チーム出場。ホ
ッケーの全長四百八十米、平均勾配
八・七パーセント、出發點から七十米ま
での區間が一〇・五%、百米の區間に左カ
ーヴがあり百六十米邊まで左曲の壁を
通り百九十九米邊で右カーヴとなり九
一%の勾配、二百七十四米で左曲、三百
七十五米邊でも左曲してゴール直前に於

て右曲する。以上が大體のプロファイルである。

- 1 宮下小峰組(北大)七秒六(三六秒)
- 二、三五秒四)
- 2 佐藤権博組(川岸)七秒七
- 3 中島工組(北大)七秒八
- 4 井上淺間組(北大)七秒九
- 5 久保田中組(黒部)八秒〇
- 6 岸田西野組(タイムス)八秒二

公開競技ロード

- 1 有田(二中)一〇秒五
- 二、五秒四(五二秒五、五二秒九)
- 2 瓜生(二中)一〇秒八
- 三、六秒三(中川(札幌)一〇秒八、八秒八(北中)一一秒七)
- 4 伊藤(光星)一二秒七

全日本ボブ協会主催第一回全日本ボブ選手権大会は二月十一日、翌日、パインに開催、北大宮下小峰組が初の優勝を遂げ、北大宮下小峰組(北大)一分一秒三(三六秒一、三五秒二) 2 佐藤権博組(川岸)一分一秒五 3 高橋剛田組(日の出)一分一秒八 4 井上淺間組(北大)一分一秒六 5 工中島組(北大)一分一秒五 6 千葉繁石組(北大)一分一秒八 7 中山山下組(北大)一分一秒八 8 岡田、伊坂組(旭)一分一秒六 9 中澤小里組(東京ボブ)一分一秒七 10 松田有馬組(札幌ボブ)一分一秒八

自轉車

本社主催第六回北日本選手権大会は六月十八日、苫小牧札幌間七〇キロのロードレ

イスに依つて火蓋を切つた。苫小牧札幌間のコースは新しく採用したものであり後半に到つて起伏豊かなあたり體力試練のコースとして注目された。

- 1 伊藤 博(岩見澤)二時間四分三秒
- 2 齋藤 金治(野 幌)三時間四分一四秒
- 3 山本松次郎(札幌)三時間五分一九秒
- 4 田邊 清(岩見澤)三時間六分一二秒
- 5 齋藤 繁雄(札幌)三時間六分一五秒
- 6 大西(札幌)七分一八秒
- 7 駒林(札幌)七分二七秒
- 8 志賀(旭川)七分三三秒
- 9 鈴木(札幌)七分三九秒

トラックレースは七月二日札幌神社外苑競技場において開催、北日本の精鋭盡く参戦して熱戦を演じ北日本の新記録は大量に樹立された。

- 1 鈴木常三郎(札幌)一分三一秒九
- 2 日本社に大会新記録 豫選に於て同君は一分二秒九の最高記録を出す。
- 3 山本清兵衛(豊原)一分三秒二
- 4 大西 末松(札幌)一分三秒二
- 5 阿部(札幌)一分三秒二
- 6 坂本八太郎(函館)一分二七秒六
- 7 日本社に大会新記録 豫選に於て同君は八分六秒四の最高記録を作る。
- 8 山本松次郎(札幌)八分二八秒四
- 9 齋藤 繁雄(札幌)八分三〇秒
- 4 齋藤(野幌) 五分四秒
- 1 一萬米

- 1 高橋三郎(豊原)一七二分二八秒六
- 2 駒林寅吉(札幌)一七二分二八秒八
- 3 原 金市(札幌)一七二分二九秒八
- 4 山下(上砂川) 五分四秒
- 5 宮前(富別)

三井物産支社主催第二回道南サイクル競技大会(六月十八日)柏野グラウンド) 神社杯レース

- 1 坂本(函館)二時間四分四〇秒五
- 2 岡田(函館)二時間四分四三秒
- 3 白畑(石崎) 四分四三秒
- 4 山田(大野) 四分四三秒
- 5 松田(石崎)
- 1 岡田(上磯)一分三五秒三
- 2 佐藤(函館) 一分三五秒三
- 3 杉倉(湯ノ川)
- 1 坂本(函館)九分六秒
- 2 石岡(函館)
- 3 蛭沼(函館)

- 1 一萬米
- 1 富田(根中)一八分三六秒
- 2 三浦(大野) 三白畑(石崎)
- 1 岡田(函館)五分四四秒三
- 2 松田(石崎) 五分四四秒三
- 3 坂本(函館)
- 1 坂本(函館)五分四四秒三
- 2 岡田(函館) 五分四四秒三
- 3 石岡(函館)

札幌サイクル競技大会(八月二十二日)外苑競技場) 五百米

- 1 鈴木(札幌) 一分三三秒八
- 2 清水 八分三三秒二
- 1 一萬米
- 1 原 一七分三三秒
- 1 實用車二斤重量選抜 1 駒林 三分五三秒四
- 1 實用車四斤競走 1 大西 八分六秒八
- 1 三井物産支社主催第二回道南サイクル競技大会(八月二十三日)上砂川競技場) 五百米
- 1 鈴木(札幌) 一分三五秒二
- 2 田邊(岩見澤) 三分四七秒三
- 3 村田(上砂川)
- 1 鈴木(札幌) 九分七秒三
- 2 大西(札幌) 三分四七秒三
- 1 一萬米
- 1 佐藤(上砂川) 一分三三秒七
- 2 駒林(札幌) 三分四七秒
- 3 原(札幌)

馬術

第五回札幌乗馬大会は北大文武會馬術部主催本社に三浦部隊後援の下に五月二十一日北大馬場に於て開催、留學中の友邦諸國學生も参加する等盛會を極む。

- 1 野砲隊 1 高橋 2 入江 3 神田
- 1 早啖 2 中川 3 平野
- 1 調教師班 1 朝倉(騎七)
- 1 徒歩部隊及び各部准士官下士官階級
- 1 細川(騎七)
- 1 パン食(生徒班) 1 高尾(旭商)
- 1 神士班 1 島田(札幌)
- 1 大塚高等専門学校階級 1 福岡(北條)
- 1 全国乗馬團體階級 1 野口(旭川)
- 1 徒歩部隊に各部將校階級
- 1 西中(函館)
- 1 乘馬階級准士官下士官一級階級
- 1 江崎(騎七)
- 1 一般階級(生徒班) 1 原田(旭商)
- 1 紳士班 1 松本(札幌)

琴平【學生班】 1 西村(北大豫科)【紳士班】 1 川合(旭川) 1 稻垣(札幌) 1 中等校對抗階級【團體】 1 旭商二七五點(後藤、高尾、名古屋) 2 旭商二〇〇點(後藤、金子、鈴木) 3 旭中一九六點(千田、小倉、松村)【個人】 1 金子(旭商) 1 全國團體選手對抗階級【團體】 1 茂原乘馬クラブ二七五點(瀧川、羽田、山本) 2 札幌OKクラブ二七五點(高杉、池内、宮藤) 3 旭川乘馬クラブ一八〇點(安江、林、石井)【個人】 1 岡田(砂川) 1 北大高等對抗階級【團體】 1 北大木料二五四點(菅間、下條、西村) 2 盛岡高等(時田、小田、仲) 3 北大實科(山根、安戸、平井)【個人】 1 時田(盛岡高農) 1 乘馬階級准士官下士官綜合 1 石川准尉(騎七)

- 1 來賓選抜(琴平) 1 林
- 1 乘馬階級綜合 1 今村中佐(騎七)
- 1 第十六回全國高校對抗馬術競技大会は八月五日から陸大馬場において開催、北大豫科優勝。
- 北大豫科 35.0 姫 路
- 5 29 3 35 85 0 73 3 9
- 根林田本 磯路 崎田松田
- 山小岡福 誠誠 宮森平成
- 豫科 誠誠 姫路

間威君は計三八八點をもつて優勝した。尚日本學生馬術選手は十七日東京原野列車で第四回日の朝鮮遠征にのぼつた。

北海道グライダー協会は創立第二年を迎へて、普及發達を期して新なる計畫を樹て、各學校を始め一般に對し制空熱を煽つた。礼工では自らグライダー機を製作し、三四八號の公認番號を得て蒼空に躍り、北中では新機を購入し五月五日命名式を挙げる等、更に協會所有機十臺を超えるに到つたので約五千圓を以て格納庫を建設する等の準備が行はれた。

グライダー

- 1 三浦桃介氏は八月三十一日札幌飛行場においてK第一七八號グライダー機で滑空五〇米の上空において右翼割索切斷して墜落重傷翌一日遂に死亡、木道グライダー界最初の犠牲者となる。

武道一般

第五回東北海道武道大会は五月二十九日午前九時から帯廣市十勝會館及び公會堂に会場を分けて舉行。

柔道

一般優勝、本別武徳奨励會(田野、武田、前佛、白木、仲)2西足寄△一般高點試合1谷浦珍(西足寄)△有段者高點試合1前佛茂男(本別)

剣術

青年學校優勝1帯廣五點△青年學校高點試合1川合政雄(帯廣)△郷軍對抗1帯廣中央七點△郷軍高點試合1加藤秀太郎(中央)

柔道

一般高點試合1蛇名政五郎(帯中)△有段者高點試合1淺井勇(十勝)

柔道

一般高點試合1西村繁(清水)△中等學校高點試合1花垣正一(帯中)△金の1中野(浦光)

柔道

十勝管内第一回小學校武道大会(五月五日、帯廣小學校道場) 柔道優勝者常科菅更校、高等科清水校△劍道優勝者常科池田校、高等科藤原校

柔道

札幌劍道聯盟では五月二十四日豊平館において剣道振興座談會を開催。 函館對青森柔道戦は五月二十六日函館

柔道

第二十六回全國高等校柔道大会東北選選(七月十六日、東北帝大道場) ○北大豫科 不戦一人 二高 準決勝 ○北大豫科 不戦三人 弘高 優勝 ○東北學院1—0 北大豫科 東北學院中堅守二段對豫科の場初段において横三角絞りで守二段勝、これが豫科の敗一となり、大勝、南部の力闘空しく學院の加賀副將と引分となつた外各試合とも引分に終り、東北學院は大將松本三段を獲して辛くも優勝。

柔道

第十六回關東北海道高等校柔道大会(七月十二日、帝大講堂) ○弘高 不戦二名を残す 岩手醫専 大將同志の對戦一 本一木で北大惜敗 北大豫科

柔道

京大主催全國高校劍道大会(七月十九日、京大道場) ○富山 不戦二人 北大豫科

柔道

京大主催全國高等校劍道大会(七月二十一日、京大道場) ○松山 不戦四人 北大豫科

柔道

全國高等校劍道大会(七月十八日、神戸高商道場) 小樽高商5—5 大分高商 本數で小樽高商勝つ。

柔道

第八回全國高商弓道大会(七月十五日、高商道場) 7小樽高商四四中

柔道

第九回全國警察官武道大会(七月十九日、札幌武徳館)

柔道

新川小學校道場において開催、函館は副將大坂、大將白石を獲して快勝。 本社館に河北新報共催第四回東北六縣對北海道柔道大会は六月四日仙臺において開催されたが、五月二十五日日本社三階會議室において初の幹事委員會を開く。

柔道

札幌對抗弓道射會(六月四日、小樽北水弓道場) 札幌二〇三中——一九六中小樽

柔道

本社館に河北新報共催第四回東北六縣對北海道柔道大会は六月四日仙臺市大道場で舉行、大將同志引分、終に引分となり、戦績は神太北海道軍三勝一引分、東北六縣軍三敗一引分となる。

柔道

勝浦(札幌) 引分 菅藤(宮城) 引分 許士(同) 同 菅原(同) 引分 稲田(余市) 小外刈 熊谷(同) 引分 稲田(同) 引分 小松(秋田) 引分 戸田(新内) 同 岩澤(宮城) 引分 安井(函館) 小外刈 島津(同) 引分 安井(同) 同 遠藤(福島) 引分 安井(同) 引分 黒田(宮城) 引分 中鉢(豊原) 縦四方 山口(山形) 引分 中鉢(同) 引分 安齋(宮城) 引分 落合(小樽) 大内刈 阿部(同) 引分 小原(札幌) 大内刈 阿部(同) 引分 猿丸(北大) 上四方 宗(宮城) 引分 阿部(豊原) 切返 大庭(秋田) 引分 阿部(同) 大内刈 上野(青森) 引分 渡邊(帯廣) 引分 山田(山形) 引分 八條(大泊) 同 倉田(岩手) 引分 本間(函館) 大内刈 倉田(同) 引分 福間(札幌) 引分 倉田(同) 引分 芝田(同) 小外刈 一戸(山形) 引分 五十嵐(同) 引分 一戸(同) 引分 中田(留萌) 拂腹 大場(宮城)

柔道

中田(同) 引分 筒井(山形) 島本(札幌) 小外刈 渡邊(福島) 米田(豊原) 引分 渡邊(同) 深若(小樽) 同 佐藤(宮城) 丹尾(豊原) 同 小田原(福島) 北大豫科對小樽高商春季定期戦(六月十日、北大道場) 柔道 豫科3—2 高商 劍道 豫科1—2 中—1 九八中高商 弓道 豫科1—2 中—1 八八中高商

柔道

早大柔道部青山五段以下三十三名の精銳は徳三寶氏に引率されて來道、六月十八日札幌における對全札幌戦を始め全道各地に武者修業の旅を續けた。

柔道

札幌道徳俱樂部主催第八回全道續道大会(六月十六日、札幌武徳館) 團體1札幌運輪四勝一七點△個人1奈良(札幌) 帝大聯盟主催全國中等學校柔道大会北海道選選(六月二十五日、北大道場) において北海道中等學校優勝、個人優勝も北中の小野寺君が占めた。

柔道

小樽中等學校弓道リーグ戦(六月二十五日、小樽北水道場) 男子1樽高△女子1市立高女

柔道

東北帝大主催第十回日本高等射擊大会(六月十日、仙臺市追越陸軍射撃場) 團體銃技2北大豫科一三四點 佐々木、前島、三品、照部、小笠原、宮地) △個人銃技2佐々木(豫科)三六點4三品(豫科)三四點

柔道

沼東8—5 瀧川 沼東7—4 別路 瀧川8—6 別路

柔道

第一回全道選選信弓道大会(八月十二日、札幌弓道場) 1山本(根室) 2佐々木(根室) 3安部(根室) 4渡邊(岩見澤) 5中山(高根) 6本村(根室) 7回全道少年相撲大会は八月十三日札幌神社境内土俵に於て開催、第一部(尋常科)第二部(高等科)合して三十校二百十名の少年力士に依つて肉弾相撲の熱戦を展開、興亞學堂の氣魄と逞しい肉體を鑑み、結局尋常科では札幌東北校、高等科では室蘭成徳校が優勝、初の大優勝旗を獲得した。

柔道

尋常科團體 一回戦 札幌東橋3—2 小樽色内 久遠平田内0—5 小樽奥澤 二回戦 別路壽4—1 札幌西創成 札幌附屬3—2 江別 忍路中央2—3 圓山第二 室蘭武揚1—4 三笠山 苗穂3—2 岩内 豊平2—3 上砂川 東橋2—3 奥澤 準々決勝 別路壽5—1 札幌附屬 ○今 腰くたけ 長村 ○角 極倒 横尾

柔道

紅白試合 紅軍11—6 白軍 團體試合1第十一團(野付牛) △練士武合 勝者平井(八雲) 三枝(強勁) 杉田(余市) 細間(樽水) 喜喜多(旭川) 上山(岩見澤) 吉村(稚内)

柔道

全國中等學校聯盟綜合競技大会の各地 第十四回全國高校弓道大会(七月二十一日、東大道場) 8 北大豫科四八中

柔道

全道女子中等弓道大会(七月二十三日、札幌武徳館) 團體戦1小樽立二六中(宮城二中) 佐藤五中、伊藤八中、武石六中、水島五中) 2小樽市立3 札幌市立4 室蘭△個人戦1 村田澄子(小樽市) 七中2 沖垣(小樽立) 七中3 村田(小樽市立)

柔道

全國高商柔道大会(七月二十三日、小樽高商) 不戦五人 東商大専 ○彦根高商 不戦二人 小樽高商 ○國士館主催第三回全國中等學校柔道大会(七月二十四日、國士館道場) 豊原中學は決勝戦において豊原中學と對戦、全勝して二年連続優勝を遂ぐ。 全道中等學校銃技聯盟綜合競技のうら柔道大会は七月二十五日旭師及び旭中道場において開催、柔道では北中、劍道では小樽水産が夫々優勝。

大倉 贈折 古谷
中塚 切返 華岡
中塚 寄切 境野
岡山第一 1 東北
出葉 贈折 藤澤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤
伊藤 寄切 港藤

廣崎 上手捻 石川
佐藤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤
藤澤 下手捻 藤澤

石川 上手捻 石川
長谷川 引落 南川
木村 寄切 佐藤
河原 同 関本
古平 2 花松
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内
中村 寄切 岩内

成徳 3 1 岩内
上林 懸投 岩内
波邊 寄切 石橋
高橋 二丁投 岡村
菅野 寄切 小林
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山
菅野 寄切 若山

淺野(西創成) 池田(三笠山)
角口(壽) 宮田(軍橋)
刀蘭(岩) 一江(江別)
石井(東) 枝邊(苗穂)
三回戦
中塚(壽) 笠竹(東北)
白濱(武) 伊藤(岩内)
佐藤(苗穂) 高橋(岩内)
瀧澤(苗穂) 加藤(三笠山)
御崎(武) 廣尾(附)
淺野(西創成) 宮本(色)
角口(壽) 佐藤(岩内)
刀蘭(岩) 石井(東北)
準々決勝
白濱(武) 中塚(壽)
佐藤(苗穂) 瀧澤(苗穂)
淺野(西創成) 御崎(武)
角口(壽) 刀蘭(岩)
準決勝
白濱(武) 外掛 佐藤(苗穂)
淺野(西創成) 内掛 角口(壽)
決勝
淺野(西創成) 吊出 白濱(武)
▲高等科個人
一回戦
原田(歌志内) 上手投 小路(札二高)
杉村(附) 外掛 青山(岩内)
平塚(江別) 上手投 近江(古平)
花松(鶴) 寄切 吉田(皇志別)
石井(三笠山) 寄切 河原(鶴川)

岩崎(岩) 内掛 石川(皇志別)
鳥島(附) 下手捻 佐藤(鶴)
二回戦
寺田(成) 吊出 小磯(三笠山)
原田(歌志内) 下手投 杉村(附)
高橋(成) 内掛 平塚(江別)
牧方(江別) 上手投 岡村(札二高)
石井(三笠山) 渡込 中井(皇志内)
鳥島(附) 懸折 岩崎(岩内)
準々決勝
寺田(成) 押出 石川(鶴川)
花松(鶴) 寄切 石田(歌志内)
牧方(江別) 送切 高橋(成)
鳥島(附) 寄切 石井(三笠山)
準決勝
花松(鶴) 押出 寺田(成)
鳥島(附) 押出 牧方(江別)
決勝
鳥島(附) 上手捻 花松(鶴)
▲在郷軍人分會札幌支部主催武道大会
(八月二十一日、月寒射撃場)
総合成績 1 空知分會一八六・六〇 2 札幌分會一七四・三六 3 三笠山分會一七一・二八 4 室蘭分會一六五・六八 5 夕張分會一五六・〇八
◇第十八回石狩支庁管内青年團武道大会
(八月二十七日、札幌武徳殿)
◇剣道部 1 黒石(皇志) 2 安西(札二高)
◇剣道部 1 木間(原田) 2 登藤(四山)
◇相撲部 1 千成村(六點) 同

二部 千成村(三點) ▲相撲個人 1 且下部
(江別) 同 2 赤石(長路)
◇第二回全道青年學校相撲大会 (九月九日、札幌神社外苑土俵)
團體決勝 室蘭 2 1 網走
伊藤 1 前田
立野 1 村上
3 釧路市 4 上川
個人決勝 伊藤(空知) 古井(釧路)
3 室蘭(十勝) 4 高橋(空知)
◇第三回全道通信剣道段に第一回柔道大会 (九月九日、札幌武徳殿)
柔道決勝戦
○増村(小樽工務) 釣込腰 大場(帯広)
同三、四位戦
○小杉山(札幌) 拂腰 齋藤(札幌)
剣道決勝戦
○香藤(恵庭) メー 1 珍名(貯支)
同三、四位戦
○加藤(通信) メー 1 藤生(通信)
◇東北道中等學校相撲大会 (九月九日、十勝農学校土俵)
團體 1 網走(柏木、江田、千田、今川、淵野) 十三點 2 岩田(勝巻)
◇札幌局内對抗相撲 (九月十六日、倶楽部土俵)
團體 1 理理部 B 二十四點 2 個人 1 上木(総務)
◇全国通信體育大会のち号道戦に札幌優勝 (九月十六日、芝恩賜公園土俵)

札幌市
七段愛元 贈折 松崎太平 ▲六段中垣内輝、岩崎敏夫、相澤傳三郎、齋藤龍也 ▲五段五十嵐光夫、池田滿徳、畑長松、大和田誠、小田桐彌七、押田文明、若島正、金高勇男、高深安一、高橋照信、玉村勇之輔、常見誠雄、中山勇、桑原小十郎、久保島武夫、柳澤甚之助、松岡幸七、福岡濱市、江口一、安達保吉、島谷鐵五郎、島本勇義、島本吉兵衛、白澤幾太郎、芝木健秀、島田善徳、芝田久雄、鈴木醇、鈴木俊夫 ▲四段本郷良喜治、堂内内尚弘、積方寅雄、小野崎研造、小原昌之、小寺豊次、加勢親太郎、高木秀夫、中島武雄、中山豊士、成田忠正、上原雅一、上杉茂雄、磯井吉郎、桑島正、草野作次郎、安田耕三、遠藤昌、實吉安三、佐藤市郎、許士武敏、宮田忠一、重松正、庄司希光、久内武 ▲三段板橋政記、池信安、西村信幸、西野良孝、保坂良平、徳田信一、生越泰三、岡村治行、長田久太郎、小野行雄、若狭源太郎、柏岡清勝、高橋吉彌、瀧澤常雄、多田他一、田中博通、高橋郡夫、堀木善吉、堀木隆一、永森三郎、黒

二 武道有段者

柔道

沼昌教、山口松治、山口繁、山崎善尚、松本章六、松島敏雄、曲木恵、藤井喜一、藤谷存興、網七長四郎、冬木徳三、幸松義雄、嵯峨貞、木村新、目代平作、清水有之、清水巖、沖野金蔵、佐藤嗣治、佐藤五郎、佐藤一郎

函館市

六段大場三郎、五段本間與松、大石幸平、三浦滋雄、齋藤順吉、三田國衛、河野辰五郎、田村安博、坂垣周三、平田庄蔵、近谷忠平、内田正治、本間武勝、四段小島茂徳、小松日出雄、佐藤茂、安井烈夫、玉村義之輔、川島與忠治、伊藤田三郎、佐々木主馬、加藤俊治、及川英雄、三段高木修次郎、宮内啓郎、大川一郎、石堂純次、矢野秀次郎、松橋常丸、佐藤辰雄、大坂富男

小樽市

六段小森文雄、五段五十嵐喜三郎、吉米地英俊、千葉英男、竹岡徳雄、中上仁三郎、熊谷隼人、梶美藤雄、鎌谷嘉平、森久則、富田盛、櫻村實、四段稲田正一、金谷文雄、好川翠、黒谷重雄、牧野啓六、宮尾常次郎、森誠男、山崎重太郎、三段坂東清、坂東義雄、千葉成男、大橋雄雄、大矢盛太郎、大須賀清松、川崎清帆、金子健三、川内末太郎、高谷末太郎、夏瀬佛二郎、中村謙、内堀賢郎、氏家敬太郎、野口春次、則本定一、野中仁三吉、小杉善吉、木村正司、神勇太郎、門馬克郎、

旭川市

五段安住勇、石川勝一郎、井上俊馬、梅田茂芳、河原眞澄、小島政直、鈴木俊一、鈴木宇佐美、關口順昭、平通尊、富田正保、中田義雄、三好徳次郎、村田泰次郎、四段稲田正昭、上原種一、太田爲吉、木下冬太、久門弘、佐藤一廣、下村晴一、明原伊男治、鈴木幹雄、鈴木清、鈴木菊雄、宮岡康之丞、齋島清次郎、横島愛正、三段安保茂吉、阿部啓郎、伊藤孝、伊藤松蔵、石森俊雄、惠美、大内義雄、大藤武雄、表辰夫、太田金次郎、大和田敏、川保忠三郎、木村豊三、菊地昌一郎、越川喜久馬、齋藤正良、佐藤道徳、佐藤隆壽、清水時化雄、鈴木安敏、辻廣四郎、石坂富二、中崎子之松、酒崎衛、堀田都志夫、松尾良種、前田藤四郎、松本金治、三浦米八、森利作、藥丸佐市、八藤後劍造、山口一正、山田功

室蘭市

五段土居通次、武田文雄、沖野義夫、栗林友二、佐々木忠逸、四段平賀仙四郎、栗林徳一、西名正、相馬重蔵、北川賀信、三段藤浦三平、馬場正雄、小藤謙吾、小原金二郎、寺山敏彦、菊地四郎、田上彌八、永田三郎、馬場正、石川彌彌壯

釧路市

六段辻敏夫、五段長内丑右衛門、深澤増雄、四段鬼丸聖之助、小林清晴、三段大

場三郎太、渡邊清太郎、高橋正二、高橋頼治、棟方正臣、神政治、鈴木辰雄

帯廣市

五段河田繁、荻谷常咲、高田政助、三上實、四段渡邊嘉臣、今四方一、中野智隆、佐藤勇一、三段鈴木敏夫、佐藤友盛、工藤勉、立澤兼八

剣道

▲範士 大澤藤四郎(札幌) 砂金石之助(札幌)木間治助(札幌)富田喜三郎(札幌)高橋善三郎(札幌)竹村元道(小樽)黒澤造(野幌)今裕(札幌)今野馬之丞(旭川)阿蘇甚太郎(札幌)鈴木幹専(函館)

力士

伊達三蔵(札幌)猪岡敏也(札幌)石下孫四郎(岩見澤)市川清江(札幌)伊丸宗八(砂川)大岡元信(夕張)池田藤三郎(洞爺)井上喜一(函館)石田久三郎(帯広)石井健一(小樽)泉澤忠吉(札幌)林泉太郎(前田)馬場佐治(洞爺)橋爪求(帯広)西島太十(旭川)千葉吉兵衛(倶知安)千葉官二郎(函館)塚田源吉(札幌)藤田古吉(苦小牧)大塚義根(室)喜喜多幸一(小樽)太田平(由仁)小野田六郎(室蘭)太田初太郎(函館)和田勝太郎(小樽)上山幸七(角田)片

山朝士(札幌)藤見隆(室蘭)渡倉良二(小樽)四協公克(余市)加藤正雄(札幌)要齋留五郎(美幌)吉田義男(室蘭)吉村義彦(稚内)田中忠雄(留萌)田村兵作(札幌)館脇八郎(江別)竹内松吉(白石)高橋直理(函館)田中義孝(函館)高橋源四郎(札幌)長野角藏(函館)中島秀太郎(旭川)中田四太郎(三笠山)武藤要蔵(小樽)内山器蔵(函館)樺村太郎(函館)野田和三郎(小樽)柳瀬正光(美瑛)八島清(札幌)山下助太郎(函館)杉村武彦(瀧川)後藤日雄(札幌)小泉三三(札幌)今野清一郎(室蘭)駒井哲郎(小樽)傳法悟三(白石)河部友蔵(小樽)穴口辨一(旭川)赤城實(小樽)沢美誠一(稚内)佐藤登(旭川)佐藤寛(夕張)坂田省吾(札幌)佐藤熊雄(江差)坂井實(室蘭)佐々木兵衛(旭川)北見龍蔵(札幌)北谷誠之介(余市)木附愛次郎(函館)三木輝次(函館)三枝佐(留萌)宮津昇一(帯広)宮水榮一(札幌)鈴木道明(名寄)渡谷忠明(函館)鈴木幸吉(網走)榮雲眞道(小樽)杉田眞次郎(余市)久光源左衛門(網走)平井二郎(札幌)樋口金司(旭川)平田格雄(網走)森康(八雲)森下市太郎(旭川)關留之介(小樽)

▲五段 熊谷誠(札幌) ▲四段 伊藤茂治(岩見澤)伊藤久次郎(札幌)岩田繁作(岩見澤)石川勇(苦小牧)猪又徳三郎(池田)細間清志(余市)富田浩司(函館)小

野水蔵(函館)新室武彦(札幌)渡邊藤七(小樽)梶原武(洞爺)田中義男(函館)中林豊次(新十津川)中村和吉(新十津川)前部正(追分)中島山春(本別)武藤六郎(室蘭)植草義(洞爺)内山新(札幌)野崎勇(新十津川)野田虎雄(洞爺)栗川敏雄(小樽)山田源右衛門(洞爺)牧野謙蔵(札幌)堀田七郎(小樽)高田義一(札幌)河部文四郎(札幌)更田誠(新十津川)深井信雄(新十津川)室市郎治(名寄)宮尾突巳郎(應召中)新保善吾(岩見澤)菅原幸太郎(札幌)島田敏之(赤平)森義雄(札幌)瀧古退助(旭川)

三段

入谷留吉(札幌)石井光水(東旭川)井川常次(上磯)池田昌蔵(函館)石ヶ森繁次郎(函館)池田信雄(札幌)岩間勇太(風連)入江清基(苦小牧)石川英二(小樽)石井茂(壽都)江井全(函館)岩佐兵太郎(苦前)長谷川吉次(札幌)滝津本太郎(池田)原田一彦(浦幌)林良平(函館)西村行知(琴似)堀安一(函館)富原良雄(函館)滝井一彌(小樽)奥田秀夫(室蘭)太田哲四郎(札幌)奥山竹次郎(札幌)及川彌治郎(洞爺)大伴朝光(帯広)小川公也(新十津川)大西由美(白老)長内晴雄(小樽)岡本信雄(厚岸)小川幸五郎(洞爺)大内保雄(函館)大塚義孝(小樽)渡部七郎(小樽)和田正志(追分)角田寛太郎(函館)川修吉(室蘭)福倉周三(旭川)米光徳蔵(室蘭)横山留五郎(芽室)吉田謙吾(野付牛)高津誠(旭川)橋一男

ゴルフ

道内ゴルフリンク案内

◆函館ゴルフ倶楽部 リンク湯の川町(函館)より自動車で二十五分、コース九ホール、三一九〇碼(パー三六)入会金百圓、年會費三十六

札幌

△グリーンフキーII【正會員】日曜休日五〇錢、ウキークデー三〇錢【ウイジター】日曜休日三圓、ウキークデー二圓 △キヤデーフキーII Aクラス二五錢(九ホール) Bクラス二〇錢(同) △食事IIクラブ・ハウスに常備

小樽ゴルフ倶楽部

リンク朝早村字鏡海海岸(小樽市)より自動車二十五分、コース一八ホール、二二六碼(パー三六)入会金三十圓、年會費二十五圓 △グリーンフキーII【正會員】日曜休日五〇錢、ウイークデー三〇錢【ウイジター】日曜休日二圓、ウイークデー一圓 △キヤデーフキーII Aクラス二〇錢(九ホール) Bクラス一五錢(同) △食事IIクラブ・ハウスに常備

札幌ゴルフ倶楽部

リンク月寒二丁目(札幌)より自動車三十分、土曜日に限り翌平暮よりバス便あり、土曜日午後一時、日曜午前八時、コース一八ホール、二二六碼(パー三六)入会金百圓、年會費四十圓 △グリーンフキーII【正會員】日曜休日一圓、ウイークデー七五錢【ウイジター】日曜休日四圓、ウイークデー三圓

洞爺

△キヤデーフキーII Aクラス四〇錢(九ホール) Bクラス三〇錢(同) △食事IIクラブ・ハウスに常備

室蘭ゴルフ倶楽部

リンク室蘭郊外(輪西)より徒歩十五分、室蘭より自動車十分、コース九ホール、三〇七二碼(パー三六)入会金二十圓、年會費二十圓 △グリーンフキーII【正會員】一、ウイジター一五〇錢 △キヤデーフキーII Aクラス三〇錢(九ホール) Bクラス二〇錢(同) △食事II日曜休日のみクラブ・ハウスに設備あり

旭川ゴルフ倶楽部

リンク東旭川(旭川)より自動車二十分、コース九ホール、三三二〇碼(パー三一)入会金二十圓、年會費三十圓 △グリーンフキーII【正會員】一、ウイジター一圓 △キヤデーフキーII Aクラス二〇錢(九ホール) Bクラス一五錢(同)

公認競馬

我が國に於ける公認競馬場は宮崎、小倉、阪神、京都、横濱、東京、中山、新潟、福島、函館、札幌の十一箇所で特に北海道は馬産地だけにその中の二箇所を占めてゐる。本道でも日高國は輕種系の天惠的産地として全國各競馬に出走する駿足の約八割を生産してゐる關係上、札幌、函館の兩競馬はこれ等産駒の能力、制定を受ける場所であり、此所で優勝の折紙をつけられたのが直ちに關東、關西の檜舞臺に遠征して素晴らしい成績をあげるの意欲から全國ファンの見逃せない競馬場である。

星移り物轉ると共に一進一退、それが明治三十四、五年の頃には全く衰微の一途を辿るに至つたので茲に現馬政調査委員たる前會長持田壽也氏の願起となり百戰苦闘の上再興を見るに至り計開法人札幌競馬俱樂部として以來隆昌を續け、昭和十二年組織を變更して日本競馬會に統一されるに至つたが其の間明治十四年には異くも明治天皇の天寶を辱うした光榮を初として明治四十四年には大正天皇の東宮に在せし御時台覽の光榮に浴し更に昭和七年八月は澄宮殿下の台覽を奏する等由緒頗る深きものがある。札幌競馬はその施設或は計畫に於て常に全國各競馬をリードして來たもので、就中日本一の大競走たる「東京優駿」と同一計畫による「札幌ステークス」は昭和五年秋の開催で東京優駿よりは一季先んじての計畫である。更に又速歩及び障得競走は何れも明治の末年頃から率先して開催し、障得の如きは危険のため暫々たる非難があつて一時中止の已むなきに至つた程だつたが、近年は何處の競馬場でも盛に行はれてゐる事實に鑑みると今昔の感に堪へぬものがある。

から四百五十頭位、馬券の賣上高も漸増して百七、八十萬圓から二百萬圓近くに上つてゐる。競馬番組の統制 日本競馬會では競馬本來の目的を遂行する上において從來區々に行はれてゐた各競馬場の番組を統制し一貫したものを編成することに成り昭和十三年秋季競馬から實施してゐるが、これにより賞金一萬圓以上の競走が帝室御賞典競走を初め東京優駿大競走及び中山大障得競走を除くの外新に横濱農林省賞典四歳馬競走、阪神優駿牝四歳馬競走、京都農林省賞典四歳馬競走、中山牝馬特別競走等が行はれることとなり、従つて一體に各賞金額も増加、昭和十二年度には三百八十四萬圓程度だつたのが十三、四年度には四百三十九萬圓といふ數字を見せてゐる。

又調教師として帝室御賞典競走、農林省賞典競走及び三大四歳馬特別の第一著馬の調教師に、騎手賞も帝室御賞典競走、農林省賞典競走、三大四歳馬特別及び四千米を超える障得競走の第一著馬に騎乗した騎手に夫々賞金が交付せられる譯だ。尙昭和十四年度春秋兩季に於ける札幌、函館兩競馬の特別競走の記録その他は左の如くである。

圓、登録附加賞四百二十三圓、生産者賞三百五十圓、調教師賞百七十五圓、騎手賞百七十五圓
△函館四、五歳馬特別一八月二十五日、兩馬場不良一、四〇〇米(三頭立)第一著シマツ(二分五八秒)牝、内サラ(サラベリオン、渡サラ、フアストストツプ)群馬群産、高谷喜太郎氏所有、田中和氏調教、阿部正太郎氏騎乗、賞金二千五百圓、登録附加賞四百十三圓

道力力士一覽表

Table with columns: 力士名, 所属部屋, 現位置, 年齢. Lists names like 力土名, 名寄岩, 旭川, etc.

スポーツ

Table with columns: 函山助成, 我郎山廣治, 天榮山, 大雪山喜一, etc. Lists names and their details.

Table with columns: 穴田武義, 宇賀ノ里重信, 蝦夷錦大洲, 高輝正三, etc. Lists names and their details.

萬丈の氣吐く「相撲北海道」

大相撲十五日制長期戦最初の夏場所北海道出身力士が三段目と十兩陣の双方で優勝の榮冠に輝き「相撲北海道」のために萬丈の氣を吐いた。

坂本辰男(四)身長六尺一寸五分體重二十四貫、昭和六年五月初土俵を踏み十年五月十兩、左四つ吊出が得意で前名北海と言つた。今場所の優勝で來る春場所には幕内に躍進を約束されてゐる。これで北海道關係の力士は名寄岩を筆頭に旭川、巴湯、四海波の三力士が幕内となり郷黨の爲大いに振るふことになつた。

此の豪華の顔觸左の通り。【東方】双葉山、名寄岩、羽黒山、磐石、旭川、鶴ヶ嶺、大浜、小島川、巴湯、佐渡島、源氏山、矢筈山、二瀬川【西方】男女川、前田山、鏡ノ里、富士ヶ嶺、大瀬、高登、松浦湯、小松山、若浜、九ヶ嶺、富田湯、鶴谷、若瀨

磨齒ンオイラ

ライオン磨齒は磨齒の生命たる
吸着除去の點のみから
言つても、粒子の一つ一つが
約二百五十倍の細菌や汚垢を
吸着除去し、實に磨齒界最高の
能力であります。

1 対 250

尙粒子の均等、香味の
清新さこれ亦世界に誇
るべき點であります。

ンオイラ
鋪本磨齒



表取星士力身出棒道

(休や 敗戦不▲ 勝戦不△ 負● 勝○)

昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

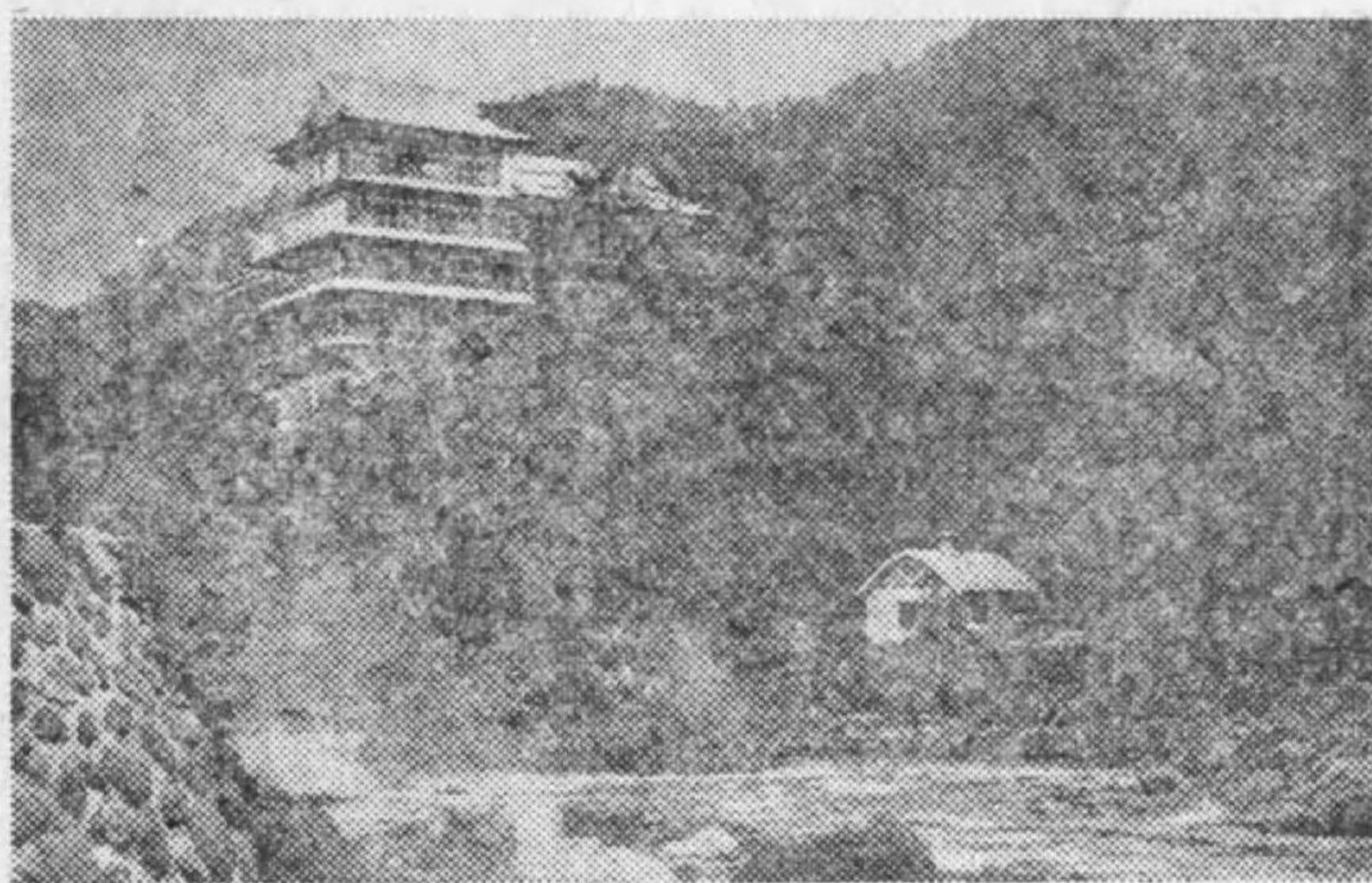
昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

昭和十四年夏場所									
若	鏡	海	四	濱	若	四	旭	名	巴
甲	崎	花	佐	川	古	古	海	寄	洞
川	崎	川	川	川	川	川	川	川	川

定山溪温泉 名所見晴丘

かお じらはみよしいめ んせんおいけんどうよじ



章月の特長は

各室共に座なげら

定山溪温泉町や

山岳溪流の美を

一望に集め又

浴場よりの見晴しと

温泉浴み気分の

良いので名高い

高級旅館

山見はら湯の章月旅館

電話二六四八番

觀光

國立公園

國立公園大雪山は昭和六年四月一日制定公布せられ、同年十月一日より施行の國立公園法により昭和九年十二月指定されたもので、旭川市の東方、蝦夷山系と千島火山脈と相交る本道中央高地で、東西三十二軒、南北二十四軒の地帯で、標高二千二百九十米の旭岳を主峰とし、北嶺、凌雲、白雲、小泉、比布、永山、黒岳その他十數座の火山群と、又多くのその側火山とよりなる。山頂の大きさに於て日本一と稱せられ、多くは火口或は爆裂火口を有し、温泉を湧出し、旭岳は現に噴煙してあるのを見ても活火山の末期にあるものと思はれる。而してこの火口爆裂火口、温泉の外、火口湖、火口瀨、熔岩流、濕原、泥炭沼

觀光

野、岩礫、岩壁等が到る所にあり、日本アルプスの二千五百米以上に於て初めて見ることの出来る雪溪、雪田、湖沼地、寒地(高山)植物、蝦夷雷鳥、タケガラス、寒地昆蟲等が千四、五百米の箇所にて之を見ることが出来る。中でも西比利亞バイカルアムール系統の我が國唯一の高山蝶ウスバキテフ、世界的珍動物ナキウサギ(ハツカウサギ)等學術上珍重すべき動物が棲息してゐる。

炎熱の眞夏なほ白雪を頂くこの靈峯は、長い間登攀困難とされてゐたが、今や山頂に石室あり、登山道が四方面より完成されて登山極めて容易となつた。

◆松山温泉登山口
南登山口は松山温泉より登山し、先づ大雪山の西南旭岳を極めるもので、旭川から電車で車川まで(約二十軒)更に徒歩かバスで發電所まで(約八軒)それより六軒にして上志比内に至り、峠の入口に到達する。此處には御料林監視事務所があり、必ずこゝで入山證を受けねばならぬ。上志比内より更に十軒にして松山温

泉に著く。

◆松山温泉から頂上へ

松山温泉から急坂を登つて天人ヶ原に出で、空見の池の畔にある石室へは八軒である。石室から旭岳頂上まで約二軒、温泉から頂上まで約七時間半を要する。

◆勇駒別登山口

松山温泉に至る途中、上志比内から約十軒、此の間隔に見る美しい原始林を通つて勇駒別温泉に著く。之より約三軒で旭岳の石室に辿り著くことが出来、南登山口に比し日程を一日縮める事が出来る。

◆層雲峽登山口

石北線土川驛で汽車を捨てて乗合自動車にて坦々たる道約二十四軒を五十分にして層雲峽温泉に達する。温泉の附近には閑院宮殿下の御命名になる朝陽山の中に遊神峯、映月峯、不忘峯、夏雲峯等が前後して連立してゐる。

◆層雲峽から頂上へ

層雲峽温泉から約五百米用筋を下ると登山口に出る。黒岳の頂上まで約五時間、比較的楽に登られる。頂上は所々に火山岩が散在し、眺望開闊、大雪山の峯々を眼前に見る。頂上から雲の平石室までは約一軒。

◆安足間登山口

表登山口とも謂ひ、愛山溪温泉から永山岳を經由するもので、各登山路のうち最も傾斜である。石北線安足間驛よりポンアンタロ川に沿つて、自動車で美しい原始林の中を行くこと約二十軒にして愛山溪温泉に至る。

◆愛山溪温泉から頂上へ

温泉から三十三曲を經、約四軒で永山岳の頂上に達するが、七合目附近から鉤欄目を奪ふお花畑がある。頂上から國立山及び比布岳を經て北嶺迄約五軒半、比布岳から愛山岳へ約一軒。

◆函館附近

稱名寺(函館市船見町)貞治の古碑(吉野朝正平二十二年に當る)高田屋嘉兵衛の墓あり。

五稜郭(函館市龜田町)我が國最初の洋式築城。

志苔館址(龜田郡鏡淵村)函館驛より東九軒(自動車の便あり)往昔小峠次郎重弘の築きし所といふ。

松前陣屋址(上磯郡清川村)上磯驛より西北五軒、安政二年松前藩の築ける陣屋。

森村より南側に向かはせ給ふ御途上のもの。南部藩長高部陣屋址(山形郡長高部村)長高部陣より西〇・五軒、安政二年南部藩の築ける陣屋。

福山附近

福山町 木古内驛の西南約五八軒、木古内驛より福山町を經、沿岸を通つて江差町に至る乗合自動車あり。探るべき史蹟名勝多し。福山城址 松前藩の築造にかゝり、安政元年竣工のもの。松前奉行所址 文化四年龜田より遷りたるもの。

江差附近

花澤館址(檜山郡上ノ岡村)上ノ岡驛より西南三軒、長元元年蝦夷ゴシャマインの來攻を蝦夷秀繁、武田信勝據守の地。藤山館址(檜山郡上ノ岡村)上ノ岡驛より西南二軒、享和二年蝦夷義興蝦夷タナサカンを誘殺せりといふ。

館神社(八幡宮)(檜山郡上ノ岡村)上ノ岡驛より西四一・五軒、松前家始祖武田信廣の創立といふ。熊神大神宮(江差町熊神町)江差町より北一・五軒、熊神の神として古來漁民のもの。

江差招魂社(江差町木町)江差驛より東北一・五軒、明治元年熊鷹の戦に陣歿した志士を祭る。社側に江差にて破壊した佐幕軍の旗幟開闢丸の端並に大砲あり。

館城址(檜山郡厚澤郡村)江差驛より東二五軒、明治元年松前藩此の地に新城を築造せる。工半半にして脱走軍に攻めざる。法華寺其の他社あり。門呂庵(備前郡石村)江差驛より北方三五軒(自動車の便あり)延寶六年(約三〇〇年前)松前知廣建立のもの。

小樽附近

忍路遺跡(忍路郡島村)島島驛より東一・五軒、楕圓形で南北約二八米、東西約二二米あり。標太日露國境制定會議室(小樽市手宮町)手宮驛より北〇・三軒、明治三十九年十一月近海郵船會社小樽支社樓上大廣間にて同境制定の商議を行ふ。

手宮洞窟(小樽市手宮公園)手宮驛より東北一軒、自然洞窟で奥壁に記號模刻を存す。札幌附近

明治天皇札幌行在所(豊平町)(札幌市大通)札幌驛より東南一軒、明治十四年八月三十日の行在所。明治天皇札幌御小休所(湯華亭)(札幌市北七條)札幌驛より西北約〇・七軒

北海道

青森まで

東京より上野青森間は約七百四十軒、急行列車十二時間の行程である。青森に著いてから函館行の連絡船が出る迄の時間は三十分乃至一時間位で、待合はせの爲に連絡待合所がある。連絡待合所は港内岸壁の上にて、洗面所、食堂、理髮場、賣店、電報受付所、鐵道案内所等總べての施設が完備してゐる。

大坂より

大阪青森間は北陸線、羽越線經由が最短路で約千五十軒、急行列車二一時間の行程である。青森に著いてから函館行の連絡船が出る迄の時間は三十分乃至一時間位で、待合はせの爲に連絡待合所がある。連絡待合所は港内岸壁の上にて、洗面所、食堂、理髮場、賣店、電報受付所、鐵道案内所等總べての施設が完備してゐる。

青森函館間航路

青森函館間は約六十軒、僅かに四時間半で到達する。而も其の大半は陸奥灣靜波上の航海である。此の航路は鐵道省の直營に係り、函館、青森兩港には共に鐵道省築造の岸壁があつて船車連絡は極めて便である。連絡客船は現在朝風丸、飛龍丸、松前丸、津輕丸の四隻で日に三往復してゐる。何れも三千五百噸の巨船で客室、食堂、無線電信其の他各種の施設が完備し、加ふるに特別の裝置を施してあつて貨物を満載した貨車二十餘輛を積込んで航海する

明治十四年九月行幸し給ひ士人の御誦を御覽せらる。明治天皇鳥松行在所(札幌郡廣島村)鳥松驛より西三軒、明治十四年九月二日の行在所。明治天皇千代行在所址(千代郡千代村)千代驛より南一・五軒、明治十四年九月二日の行在所。キウスの舊址(千代郡千代村)千代驛より東北九軒、五箇の圓形の舊址が集合し近くに堅穴あり。

室蘭附近

有珠普光寺(有珠郡有珠村)有珠驛より西北二軒、文化元年幕府の創設した三官寺の一である。元室蘭南部藩陣屋址(室蘭市陣屋町)本輪西驛より西四軒、安政二年幕命により南部藩にて陣屋を設く。

天都山

昭和十三年十月二十日文武部省にて開催の史蹟名勝天然記念物調査會で本道の三名所が指定された。景勝 天都山(北海道)天然記念物 根室車石(同) 同 中野別洞乳洞(同) 同 里東北九軒、五箇の圓形の舊址が集合し近くに堅穴あり。

其の他

東別路の貝塚(別路市貝塚町)東別路驛南側、長さ一〇〇米、厚さ二米半に及ぶ箇所あり。國泰寺(厚岸町)厚岸驛より南方二・五軒、文化元年幕府の創立した三官寺の一である。オキリカッブの遺狀石(空知郡普江村)

青森室蘭間航路

青森室蘭間は約二百軒、北日本汽船會社の經營する航路で省線と連絡運輸をしてゐる。現在三國丸(九百八十五噸)豊原丸(八百五噸)の二隻を用ひ、毎日夕刻一回函館を出帆する。航海時間は十時間半である。この航路は室蘭、青森とも港内の岸壁に横付になつてゐるから非常に便利である。

道内旅行計畫

觀光北海道を目指して來道する人が年々増加して來てゐるが左の三つのコースが最も快適である。

六日間の行程

第一日(午後) 上野(午後七時)一(車中泊) 第二日(午前) 函館(湯ノ川温泉(温泉泊) 第三日(湯ノ川温泉一(小樽) 定山溪温泉(温泉泊) 第四日(定山溪温泉一(札幌) 登別温泉(温泉泊) 第五日(登別温泉一(洞爺湖温泉) 第六日(洞爺湖温泉一(小樽) 第七日(午後) 上野(午後七時) 又は反對航路

厚生省指定ハイキングコース

厚生省昭和十三年指定による男女青少年徒歩旅行行程は全國四十コースであるが、北海道よりは駒ヶ岳山麓、忍路沿岸、室蘭街道、札幌郊外の四コースが

第七師團
鐵道局
横須賀鎮守府
日本旅行協會

御指定

茶代拜辭



山形屋旅館

札幌市停車場通

暖房浄化槽完備

電話代表 二〇〇二番
五二〇〇番
振替小樽 四七八〇番

純朴な温泉宿があり、心からの歓迎に心身を癒してくれることも嬉しいもの一つである。即ち北海道の山は特有の大地的豪壯さと自然相と、之を綾なす温泉が特徴である。

◇横津岳 (二五三米) (函館本線七飯駅下車) 無田平原の北東に屹立する渡島半島の最高峰で、大沼を挟み駒ヶ岳と対峙し、津軽海峡を隔て、雲の中に下北半島を望み、眺望雄大である。七飯からのコース途中にはヒユツテもあるから一泊がけで出掛けるにも適している。(要路地帯で地形図はない)

【七飯口】 驛から市街を通り抜け、鳴川に沿って約二軒の處に索道建設の休憩小屋がある。この邊りからだたらに登りつめると左手の尾根の上に前横津岳が見える。此處から南西スキー協會のヒユツテを右に眺め約五軒で頂上に達する。登り四時間半、降り三時間。

◇駒ヶ岳 (二四三米) (函館本線大沼、赤井川又は駒ヶ岳下車) 大沼公園の東に聳える活火山で、大沼の風光もこの山があつて初めて立體的な景観を展開していると同時に、昭和四年大爆發の爲全山

磐岩に包まれた其の怪異な風格は、一種凄惨の威を醸かしている。

【大沼口】 大沼驛から湖三軒(約四十分)を船で手島ノ瀨に上陸し、この登山口から馬の脊へ二五軒二時間半の行程で、登山路より下駄履でも楽に登れるが、途中水が無いから豫め準備することが必要である。

【赤井川口】 兩驛の中間にある登山口。道分はどちらからも約二軒で、そこから左手に駒ヶ岳の秀峯を見て磐石の中を約五軒で大沼からの登山道に合する。このから馬の脊へは約二軒で、驛からは三時間半を要する。

◇蝦夷富士 (二八三米) (函館本線比羅夫、俱知安驛下車) 本名を後方羊蹄山と謂ひ、土語名をマツカリヌブリと謂ふ。富士型の獨立活火山で、其の秀麗な山容は車窓からもよく眺められる。六合目附近は美しい森林で、上部は数百種の珍奇な高山植物に被はれ、天然記念物に指定されている。頂上には周回約二軒の噴火口があり、その火口内には盛夏でも残雪がある。眺望頗る雄達で、附近の群峯を脚下に眺へ、明礪洞湖、内浦湖を俯瞰し、有珠、駒ヶ岳、狩場山を指呼の間に眺むる景観は雄大そのものである。

務所に著く。これからは一本道で登山道も整正せられ、事務所から頂上迄約四軒、四時間の行程である。

【俱知安口】 驛から国道を六軒南行すれば前記島尻前に達する。以下同前。

【真狩別口】 この口から登る人は少い。たゞ洞湖湖に向かふ登山者が下山する場合に利用する程度である。

◇手稻山 (一〇三三米) (函館本線樺川驛下車) 敢へて高山と言ふ程の特徴を持つてゐる山ではないが、小樽、札幌に近いので日曜日には登山者で賑はふ。頂上からは石狩灣の弓状白波を隔て増毛の連山を望み、背後には余市、無意根、天狗、百松等の翠巒重疊として迫り即ち捨て難い趣がある。驛から小学校の傍を通り標高尾根について落葉松林の中の道を登る。約三軒行けば頂上は一旦鞍部に下り、これを過ぎて平な尾根を半軒程行けば丁字路に出る。これを右すれば二百米程でパラダイスヒユツテがある。登山路はこの丁字路を左に取り、幾許もなく深となるかこの深を水の盡きる所迄登ると再び小窪がある。そこを傳はつて左へ登れば八二七米の西の鞍部に出る。此處から尾根上の道を登つて頂上に達する。驛から約七軒、四時間である。

番・札幌岳等が指呼の間に迫り眺望に優れてゐると共に、附近一帯は濃密な樹林帯で登山の趣がある。登山路より、九〇〇米附近に無意根小屋もあつて一泊行程で出掛けるのも面白い。定山溪驛から約四軒の薄別温泉を眺め、それから約三百米程行くと左側に登山口の坊導標がある。これから道は一本で暫く静寂たる樹林の中を小川に沿つて進み、最後は二股から中間の尾根を登ると無意根小屋がある。登山口から約六軒。これから頂上へは二軒で、驛から四時間半の行程である。

◇空沼岳 (二二二米) (定山溪驛道標舞石切山又は藤ノ澤驛下車) 頂上から惠庭橋・支笏湖・樺前山等を望み眺望に優れてゐる。途中は清流を測り高計沼・眞藤沼等もあつて、軽い山歩きには恰好の山である。高計沼の邊には珠笈宮跡下の御下馬舎により建てられた立派な空沼小屋があり、宿泊も許される。

一、石切山から土場を経て湯ノ澤に、或は藤ノ澤から山越しに湯ノ澤に出る。湯ノ澤の最後の人家から小窪を谷川に沿つて登り、二股から尾根上を行く。小屋から空沼の邊を登つて頂上へは約三軒、一時間半位で達する。

二、藤野驛から同地市街を構切り、東御料農村地を通り、登山道路を辿り眞藤沼に出で、鞍部を越えて空沼小屋に達する。眞藤沼空沼小屋間約十二軒四時間。

◆有珠岳

(七三三米) (室蘭本線 有珠驛) 又は洞爺湖電鐵洞爺湖驛下車) 噴火湖と洞爺湖の間に横断し、火山學上世界的に有名な二重式活火山である。外輪山の周囲は六軒餘、内部には有珠・小有珠の二山があり、火山原には銀沼と稱する火山口湖がある。高山ではないが其の眺望頗る優れ、紺碧の色美しく中島を浮かべた洞爺湖が眼下に横たはり、對岸間近く秀麗な方丈山が迫つてゐる。背後は噴火湖の静かな波光を隔て駒ヶ岳の雄姿を望み、見れども飽かぬパノラマ式展望である。

【有珠口】 有珠驛から約三百米、蛇田寄りの二つ目の踏切から右の小道を登る。道は幾度四軒程行くと外輪山の一角に出る。此處から少し下つて金沼・銀沼の傍をぬけ北外輪山の高所に出るのである。又前記最初に登りつめた外輪山から南屏風を経て有珠の頂上及び洞爺湖に出る道がある。この少し手前の一寸した廣場から左手に大有珠の頂上へ登る小道があり、約三十分位で、驛から約八軒、二時間半の行程である。

【洞爺湖口】 温泉裏手から稍急坂を登り、新噴火口を経て外輪山の一角に出る。約六軒、二時間位である。

【松山口】 旭川驛から東川迄電車に乗り、更に自動車で忠別川に沿ひ上志比内村の終まで行く。後は徒歩約八軒(二時間)で松山温泉に著く。温泉から背後の急坂を登り尾根上に出て天人ヶ原、幣ノ瀧を経て旭岳頂上へは二軒、一時間半を要する。

【登山計画】 (一) 層雲峽温泉―黒岳―白雲岳(石室泊)―黒岳石室―北嶺岳―旭岳―旭岳石室―愛山温泉(又はこの道) (二) 層雲峽温泉―黒岳―黒岳石室(泊)―黒岳温泉(又はこの道) (三) 層雲峽温泉―黒岳―黒岳石室(泊)―黒岳石室―北海岳―白雲岳―北海岳―北嶺岳―黒岳

◆大雪山

(四三〇〇米) (函館本線 旭川、石北線 星間、上川驛下車) 大雪山とは本島の最高峯旭岳(三三〇〇米)を盟主とする北嶺岳・黒岳・比布岳・愛別岳・北海岳・白雲岳等一〇〇〇米前後の十數座による一犬山稜の總稱で、その山稜に於て、高山動物の豊富なる點に於て北アルプスに匹敵するものと云はれてゐる。其の名の如く盛夏に於ても到る所に雲田・雪帯を有し、神苑を思はしむる廣大な御花畑、澄微な幾多の湖沼、更に先住民族の此の山頂に於ける遺物等、登山には勿論學術的にも興味を以て進められてゐる。其の眺望に於ては本道中比なく、道内の主要山岳は殆ど指呼せられ、山麓を覆ふ蒼蒼たる樹林の原始相等を踏む人にして始めて其の眞價を語り得るであらう。登山道は完備し、山頂附近には石室もあつて、老幼婦女と雖も登るに難くない。

【層雲峽口】 上川驛から層雲峽温泉へ自動車約一時間、温泉の中腹に登山入口がある。道は最も完全で登山者の大部分はこの口から登る。人口附近一帶は天目湖を隔らさぬ程の原生林で、道は初は大迂回して温泉上の尾根に出る。最初は比較的緩やかであるが、樹林のたけが低くなるに従つて斜度を増し、樹林帯を抜けると所謂八十八曲の急坂となる。然し有名な黒岳の御花畑が展開し、ニセイカウシュベ連山が目前に現れて、威厳と興奮

◆暑寒別岳

(二九〇〇米) (留萌線 増毛驛下車) 日本海に面する山群中最も大なる増毛山塊の主峯で、小樽札幌間の車窓から北通かに聳え登行感を喫つてゐる。頂上は南から東北に平な廣い長楕圓形をなし、比較的平らであるが割合高山植物も多く、且眺望雄大なのである。非常に親しみを持たれてゐる山である。驛から暑寒別川に沿ひ道を山の神へ行く。約六軒で一時間半位である。これから更に約二軒の二段迄行つて左腹に沿ひ登山路を登る。道は割合立派で、暫くして左の臺地に出で、それから尾根を傳ひ一〇七五米の嶺を越して頂上に達する。山の神から約十二軒、四時間位で、降りには三時間

◆ニセイカウシュベ山

(二六〇〇米) (石北線 上川、中標驛下車) 上川驛附近の車窓から石狩川路谷を隔てて大雪山と相對峙する山塊の麗しい山がニセイカウシュベ山である。大雪山黒岳から見たこの山の姿の美しき、又この山の頂から見えた大雪山の高峯大に神する壯麗は本道隨一であらう。頂上は緩やかで高山植物に敷き詰められてゐる。

◆石狩岳

(二六〇〇米) (石北線 上川驛、士幌線 清水谷驛下車) 石狩岳は石狩山脈の主峯で、我が國第三位の石狩川を始め本道の大川は殆どこの山から源を發してゐる。本道の略、中央に位してゐるため平原からは全然眺められず、大雪山・十勝連峯・ニベソツ山等の高所からでなくてはその山容に接することが出来ない。斯く幽隠してゐる爲に未だ登山路なく、附近一帶の樹海は眞に千奇百怪の入り交る

◆トムラウシ山

(三三〇〇米) (トムラウシ山は十勝岳と大雪山山とを連ねる山脈の中央に位し、比較的丸味のある山容であるが、今尚高れる者は一年に一二のパーティーに過ぎず、依然として千古の謎を籠めてゐるかに思はれる。隨つて此處に踏入るには相當の日數とキャンプの準備が必要である。

◆ニベソツ山

(三三三三米) (士幌線 清水谷驛下車) ニベソツ山は石狩山脈の支脈に於て、標高は石狩岳より稍高く、東面は數百米の斷崖をなし、西面は又急傾斜となつて深く十勝川に落ち込み、激せた脊を南北に走らして豪然と聳えてゐる。

平原からはよく其の山容を望まれないが、石狩岳・十勝岳から眺められる偉大な山容には登行感を交れず居られない。高山植物の種類も多く、十勝・石狩・タマシリ・日高の山々等の眼前に波打つ景観は素晴らしい。登山道は標高が標から一日往復は困難で、途中露営する必要がある。大體三日を要する。第一日は清水谷から乗合自動車で約四十分、標平温泉との岐れ道で下車し、標平橋を渡ると其の後は歩道となる。登路は右岸で、メトセツ川を渡り二軒程行けば道が二つに岐れるから、その左に入りホロカ川に沿うて行く。歩道は六ノ驛附近で對岸に渡り、これから尾根上に付けられてあるから、この手前で露営するとよい。二、三軒約十六軒、五時間の行程である。第二日はホロカ川を渡り對岸の尾根上を登る。表地迄は約八軒、相當強引な登りである。表地から尾根傳ひに頂上に達する。露营地から十二軒、六時間降りには四時間位を要する。第三日には清水谷驛へ出る。

岩石帯であるが、山麓一帯は針葉樹の原生林に被はれ、幾多点在する湖沼と共に所謂阿寒特有の大地的雄大な風景を現出している。登山口の阿寒湖畔には温泉もあつて、山岳を味はふと言ふより、むしろ山を樂しむに適してゐる。湖畔温泉迄は各、乗合自動車(弟子屈のみ貸切)の便がある。温泉街から一軒北に登山口の指導標があり、道は極めて緩やかで且廣く、登山道としては立派である。八軒位迄は樹林帯で、それ以上は植物と岩石で高山らしい尾根も味はへる。頂上迄十二軒、四時間半の行程で、少年少女にも登行容易である。他に早寄口(五十五軒)ピリカネツブ口(十二軒)もある。

岩石帯であるが、山麓一帯は針葉樹の原生林に被はれ、幾多点在する湖沼と共に所謂阿寒特有の大地的雄大な風景を現出している。登山口の阿寒湖畔には温泉もあつて、山岳を味はふと言ふより、むしろ山を樂しむに適してゐる。湖畔温泉迄は各、乗合自動車(弟子屈のみ貸切)の便がある。温泉街から一軒北に登山口の指導標があり、道は極めて緩やかで且廣く、登山道としては立派である。八軒位迄は樹林帯で、それ以上は植物と岩石で高山らしい尾根も味はへる。頂上迄十二軒、四時間半の行程で、少年少女にも登行容易である。他に早寄口(五十五軒)ピリカネツブ口(十二軒)もある。

岩石帯であるが、山麓一帯は針葉樹の原生林に被はれ、幾多点在する湖沼と共に所謂阿寒特有の大地的雄大な風景を現出している。登山口の阿寒湖畔には温泉もあつて、山岳を味はふと言ふより、むしろ山を樂しむに適してゐる。湖畔温泉迄は各、乗合自動車(弟子屈のみ貸切)の便がある。温泉街から一軒北に登山口の指導標があり、道は極めて緩やかで且廣く、登山道としては立派である。八軒位迄は樹林帯で、それ以上は植物と岩石で高山らしい尾根も味はへる。頂上迄十二軒、四時間半の行程で、少年少女にも登行容易である。他に早寄口(五十五軒)ピリカネツブ口(十二軒)もある。

してゐるから注意を要する。一、山部驛から直ぐ南の踏切を渡り、十一線道路を一直線に進めば約四軒程で登山入口となる。道はユーフレ澤の沿ふ尾根上を登りつめるのである。驛から約十一軒、五時間位。降りには三時間位である。二、驛から直ぐ北の踏切を渡つて十九線を直線に進めば山麓に登山入口がある。始はユーフレ澤に沿ひ白鹿の滝から右の澤に入り、夫婦岩を右廻りして尾根上に出で、後はこれを傳つて頂上に達する。このコースは近來利用されないため橋が流失したり、道が不明になつてゐるところがある。驛から約二十軒、八時間位を要するから、このコースの一日往復は困難である。但し登りを一により降りにはこのコースを通ると面白い。

してゐるから注意を要する。一、山部驛から直ぐ南の踏切を渡り、十一線道路を一直線に進めば約四軒程で登山入口となる。道はユーフレ澤の沿ふ尾根上を登りつめるのである。驛から約十一軒、五時間位。降りには三時間位である。二、驛から直ぐ北の踏切を渡つて十九線を直線に進めば山麓に登山入口がある。始はユーフレ澤に沿ひ白鹿の滝から右の澤に入り、夫婦岩を右廻りして尾根上に出で、後はこれを傳つて頂上に達する。このコースは近來利用されないため橋が流失したり、道が不明になつてゐるところがある。驛から約二十軒、八時間位を要するから、このコースの一日往復は困難である。但し登りを一により降りにはこのコースを通ると面白い。

してゐるから注意を要する。一、山部驛から直ぐ南の踏切を渡り、十一線道路を一直線に進めば約四軒程で登山入口となる。道はユーフレ澤の沿ふ尾根上を登りつめるのである。驛から約十一軒、五時間位。降りには三時間位である。二、驛から直ぐ北の踏切を渡つて十九線を直線に進めば山麓に登山入口がある。始はユーフレ澤に沿ひ白鹿の滝から右の澤に入り、夫婦岩を右廻りして尾根上に出で、後はこれを傳つて頂上に達する。このコースは近來利用されないため橋が流失したり、道が不明になつてゐるところがある。驛から約二十軒、八時間位を要するから、このコースの一日往復は困難である。但し登りを一により降りにはこのコースを通ると面白い。

してゐるから注意を要する。一、山部驛から直ぐ南の踏切を渡り、十一線道路を一直線に進めば約四軒程で登山入口となる。道はユーフレ澤の沿ふ尾根上を登りつめるのである。驛から約十一軒、五時間位。降りには三時間位である。二、驛から直ぐ北の踏切を渡つて十九線を直線に進めば山麓に登山入口がある。始はユーフレ澤に沿ひ白鹿の滝から右の澤に入り、夫婦岩を右廻りして尾根上に出で、後はこれを傳つて頂上に達する。このコースは近來利用されないため橋が流失したり、道が不明になつてゐるところがある。驛から約二十軒、八時間位を要するから、このコースの一日往復は困難である。但し登りを一により降りにはこのコースを通ると面白い。

根の南側の澤、即ちエバナオマンドシムベツ川に沿ふ道を登る。約四時間程登れば澤は殆ど盡き、標高一二〇〇米附近に出る。此の邊りで露営するとよい。次の日は澤を切つた切分けの道を登り、頂上から車に走る尾根に出てこれを傳つて頂上に達する。約三時間位である。下山も登路を引返し六時間位で森林道迄登り、著く。尚夕張から登るコースもあるが登山道はない。

根の南側の澤、即ちエバナオマンドシムベツ川に沿ふ道を登る。約四時間程登れば澤は殆ど盡き、標高一二〇〇米附近に出る。此の邊りで露営するとよい。次の日は澤を切つた切分けの道を登り、頂上から車に走る尾根に出てこれを傳つて頂上に達する。約三時間位である。下山も登路を引返し六時間位で森林道迄登り、著く。尚夕張から登るコースもあるが登山道はない。

根の南側の澤、即ちエバナオマンドシムベツ川に沿ふ道を登る。約四時間程登れば澤は殆ど盡き、標高一二〇〇米附近に出る。此の邊りで露営するとよい。次の日は澤を切つた切分けの道を登り、頂上から車に走る尾根に出てこれを傳つて頂上に達する。約三時間位である。下山も登路を引返し六時間位で森林道迄登り、著く。尚夕張から登るコースもあるが登山道はない。

根の南側の澤、即ちエバナオマンドシムベツ川に沿ふ道を登る。約四時間程登れば澤は殆ど盡き、標高一二〇〇米附近に出る。此の邊りで露営するとよい。次の日は澤を切つた切分けの道を登り、頂上から車に走る尾根に出てこれを傳つて頂上に達する。約三時間位である。下山も登路を引返し六時間位で森林道迄登り、著く。尚夕張から登るコースもあるが登山道はない。

ね程獲せ細つてゐる。これを大別すれば北部、中部、南部に別たれ、北部の幌尻前を盟主とする獲るの阿寒湖に雲霞を走らす豪壯なる山岳は日高特有の景観である。各山岳には登山道全くなく何れも澤登りであるが、其の露営は亦急峻なるもの多く、簡潔の運送せる箇所が少なくない。山は何れも奥深く、損益の目数と準備を要するため今尙年数班が入るに過ぎない。歸つて本道登山興味の中心は此處に集り、眞に山を志す者の渴望止まざるところである。

ね程獲せ細つてゐる。これを大別すれば北部、中部、南部に別たれ、北部の幌尻前を盟主とする獲るの阿寒湖に雲霞を走らす豪壯なる山岳は日高特有の景観である。各山岳には登山道全くなく何れも澤登りであるが、其の露営は亦急峻なるもの多く、簡潔の運送せる箇所が少なくない。山は何れも奥深く、損益の目数と準備を要するため今尙年数班が入るに過ぎない。歸つて本道登山興味の中心は此處に集り、眞に山を志す者の渴望止まざるところである。

ね程獲せ細つてゐる。これを大別すれば北部、中部、南部に別たれ、北部の幌尻前を盟主とする獲るの阿寒湖に雲霞を走らす豪壯なる山岳は日高特有の景観である。各山岳には登山道全くなく何れも澤登りであるが、其の露営は亦急峻なるもの多く、簡潔の運送せる箇所が少なくない。山は何れも奥深く、損益の目数と準備を要するため今尙年数班が入るに過ぎない。歸つて本道登山興味の中心は此處に集り、眞に山を志す者の渴望止まざるところである。

ね程獲せ細つてゐる。これを大別すれば北部、中部、南部に別たれ、北部の幌尻前を盟主とする獲るの阿寒湖に雲霞を走らす豪壯なる山岳は日高特有の景観である。各山岳には登山道全くなく何れも澤登りであるが、其の露営は亦急峻なるもの多く、簡潔の運送せる箇所が少なくない。山は何れも奥深く、損益の目数と準備を要するため今尙年数班が入るに過ぎない。歸つて本道登山興味の中心は此處に集り、眞に山を志す者の渴望止まざるところである。

夕張岳

夕張岳は夕張山脈の主峰で、遠く札幌附近からもその山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。夕張岳は夕張山脈の主峰で、遠く札幌附近からもその山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。夕張岳は夕張山脈の主峰で、遠く札幌附近からもその山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

利尻山

利尻山は利尻山脈の主峰で、利尻島から利尻本島にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。利尻山は利尻山脈の主峰で、利尻島から利尻本島にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

日高山脈の山々

日高山脈は日高山脈の主峰で、日高山脈から日高山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。日高山脈は日高山脈の主峰で、日高山脈から日高山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

阿寒岳

阿寒岳は阿寒山脈の主峰で、阿寒山脈から阿寒山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。阿寒岳は阿寒山脈の主峰で、阿寒山脈から阿寒山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

斜里岳

斜里岳は斜里山脈の主峰で、斜里山脈から斜里山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。斜里岳は斜里山脈の主峰で、斜里山脈から斜里山脈にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

知床半島の山々

知床半島は知床半島山脈の主峰で、知床半島から知床半島にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。知床半島は知床半島山脈の主峰で、知床半島から知床半島にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

山小屋案内

山小屋案内は山小屋案内の主要な部分で、山小屋案内から山小屋案内にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。山小屋案内は山小屋案内の主要な部分で、山小屋案内から山小屋案内にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

道内山小屋案内

道内山小屋案内は道内山小屋案内の主要な部分で、道内山小屋案内から道内山小屋案内にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。道内山小屋案内は道内山小屋案内の主要な部分で、道内山小屋案内から道内山小屋案内にかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

山岳ガイド

山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

山岳ガイド

山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

山岳ガイド

山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

山岳ガイド

山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。山岳ガイドは山岳ガイドの主要な部分で、山岳ガイドから山岳ガイドにかけての山脈上に抜きんでて美しい層層の嶺が見える。山頂は平凡であるが、登路の露谷は頗る綺麗である。

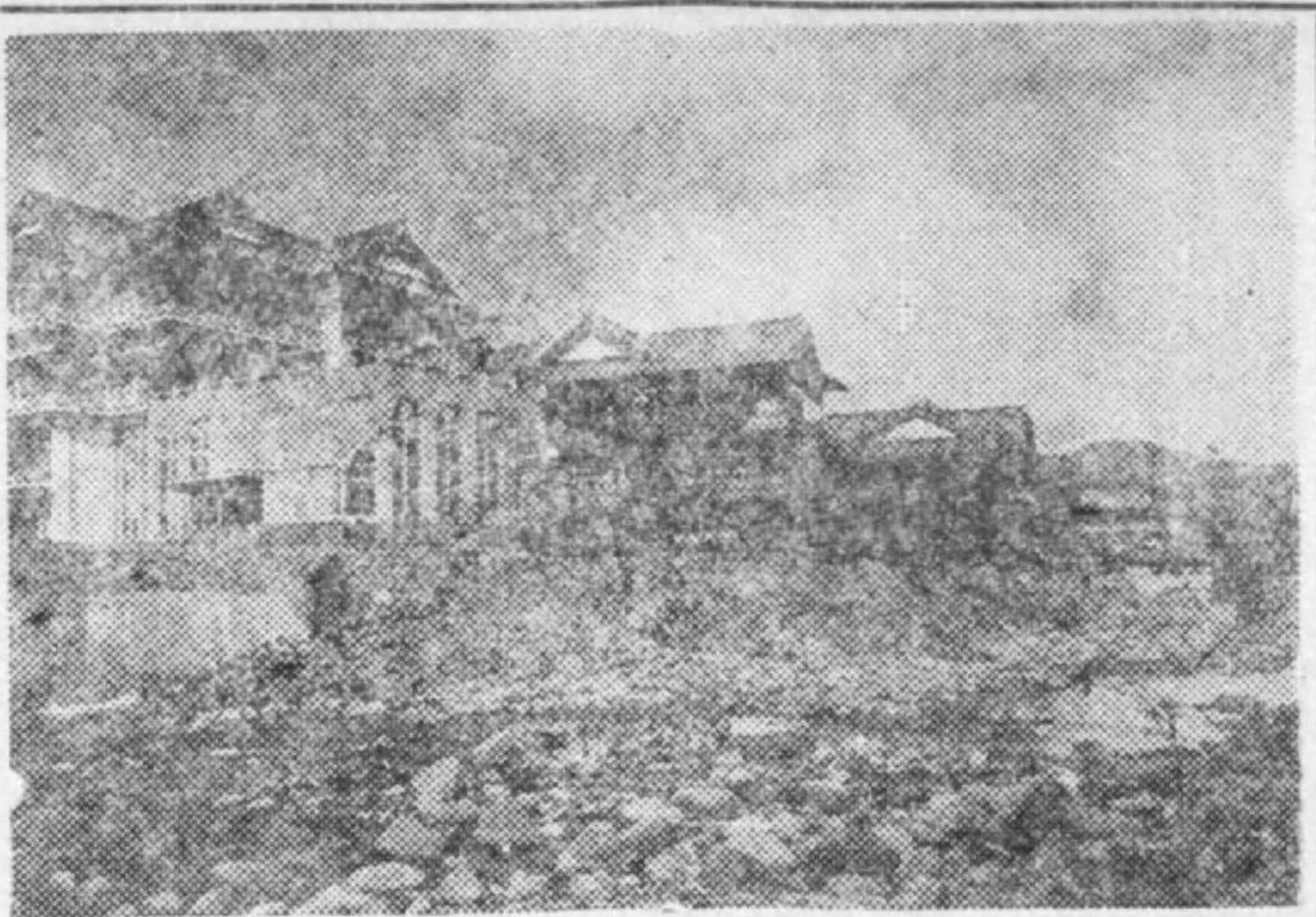
- ▲ニセイカウシユベ山 ニセイカウシユベ小屋13
- ▲大雪山 黒岳石室14 旭岳石室15 愛山溪遺林小屋16 ユコマンベツ温泉小屋17
- ▲上勝岳 音視小屋18 吹上温泉スキー小屋19 藤岳正20 美瑛別遊林小屋21 美瑛木流遊林小屋22
- ▲蘆別岳、夕張岳 奥蘆別遊視小屋23 左股遊視小屋24 カトオベツ小屋25 日暮遊林泊小屋26 瀧ノ泊小屋27 夕張岳休泊小屋28
- ▲小樽附近 天狗山ヒユツテ29 北海製糖ヒユツテ30
- ▲札幌附近 東日ヒユツテ31
- ▲手稲山 パラダイスヒユツテ32 右股小屋33 奥手稲山ノ家34
- ▲朝甲岳 銀嶺35 ヘルグエチアヒユツテ36 朝甲小屋37 白樺小屋38 長門ヒユツテ39 朝甲岳ヒユツテ40
- ▲無意根 無意根小屋41 無意根小屋42
- ▲空沼岳 萬計小屋43 空沼小屋44
- ▲豊平川 冷水小屋45 二俣小屋46
- ▲中山峠 中山ヒユツテ47
- ▲恵庭岳 恵庭登山小屋48
- ▲支笏湖 モーラップ遊視小屋49
- ▲ニセコアンヌプリ ニセコ山の家50
- ▲羊蹄山 羊蹄山石室51
- ▲函館附近 鳴川小屋52
- ▲室蘭附近 室蘭岳ヒユツテ53 オロフレ山スキー休泊小屋54

- 1 美幌越巡視小屋 (二〇〇米) 北見國美幌に通ずる道路より一軒、屈斜路湖畔(地圖五萬分の一屈斜路湖) 大正十五年、所屬帝室林野局弟子屈出張所、收容二〇、冬期使用可能、豫め所屬に交渉を要す。
- 2 尾札部巡視小屋 (四〇〇米) 尾札部川上流、屈斜路河口より約一〇軒、唯阿寒岳に通ずる徑路側(屈斜路湖) 昭和二年、所屬帝室林野局弟子屈出張所、收容二〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 3 阿寒越巡視小屋 (三〇〇米) 川上郡弟子屈村當別川大二股より約二軒上流、阿寒に通ずる道路側(弟子屈) 大正十五年、所屬帝室林野局弟子屈出張所、收容二〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 4 雌阿寒岳林野署番小屋 雌阿寒岳剣ヶ峯東方一軒、登山道北側、所屬阿寒林野署、番人夏期滞在、收容一〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 5 摩周湖巡視小屋 (五〇〇米) 川上郡弟子屈村屈斜路(摩周湖) 昭和八年、所屬帝室林野局弟子屈出張所、收容一〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 5 摩周湖巡視兼遊林小屋 (三〇〇米) 川上郡弟子屈村屈斜路(摩周湖) 昭和八年、所屬帝室林野局弟子屈出張所、收容三五、冬期使用可能、豫め當局の承認を要す。
- 7 天鹽岳小屋 (三〇〇米) 上川郡七士別村字ボンテシオ奥(石狩留邊志部) 昭和七年、所屬帝室林野局七士別出張所、收容二〇、冬期使用可能、察煙賞あり、交渉を要す。
- 8 雄鬼頭小屋 (三〇〇米) 上川郡七士別村字新奥士別雄鬼頭奥、昭和六年、所屬帝室林野局七士別出張所、收容二〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 9 似様小屋 (五〇〇米) 上川郡七士別村字似様奥、昭和五年、所屬帝室林野局七士別出張所、收容二〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 10 甲一線小屋 (四〇〇米) 上川郡七士別村字ペンケ甲一線奥、昭和八年、所屬帝室林野局七士別出張所、收容二〇、冬期使用可能、交渉を要す。
- 11 登和里小屋 (二〇〇米) 上川郡七士別村字登和里奥、昭和十年、以下前記同前。
- 12 吹來小屋 (三〇〇米) 上川郡七士別村字奥士別吹來奥、昭和十年、以下同前。
- 13 ニセイカウシユベ小屋 (三〇〇米) ニセイカウシユベ山中腹、層雲別登山口より約三十町(メタクカムウシユベ山) 昭和六年、所屬旭川林野署、收容二〇、冬期使用可能、察煙賞なし。
- 14 黒岳石室 (五〇〇米) 大雪山黒岳の西南約一軒(メタクカムウシユベ山) 大正十三年、所屬北海道林務課、經營旭川
- 15 旭岳石室 (二〇〇米) 旭岳西麓空見池畔(旭岳) 大正十三年、所屬北海道廳、管理旭川森林事務所、番人自七月下旬至九月中旬。
- 16 愛山溪遊林小屋 (一〇〇〇米) 愛山溪温泉附近(メタクカムウシユベ山) 昭和十年、所屬旭川市七條通上丁旭川森林事務所、番人常住、收容六、豫め申込許可を要す。
- 17 ユコマンベツ温泉小屋 (三〇〇米) 旭岳西南方ユコマンベツ川上流(旭岳) 昭和八年七月、所屬旭川森林事務所、番人自六月二十日至九月二十日、收容三〇、冬期使用可能、察煙賞なし、豫め申込を要す。
- 18 十勝岳看視小屋 (二〇〇米) 別稱白銀荘、吹上温泉東方五〇〇米の地點(十勝岳) 昭和七年、所屬北海道廳、番人常住、收容一五、泊(食事なし) 五〇、朝食二五、夕食二五、湯當二〇、冬期使用可能、察煙賞あり、旭川森林事務所又は道廳林務課の許可を要す。
- 19 吹上温泉スキー小屋 (四〇〇米) 十勝岳西麓吹上温泉流下流スロープ南下(十勝岳) 所屬空知郡上富良野村吹上温泉飛瀨湯次、收容七〇、冬期スキー用休泊小

- 屋にてストーヴ及び燃料の備付あり。
- 20 勝岳荘 (一〇〇〇米) 瀧ノ湯(吹上温泉) 東北方二〇〇米(十勝岳) 昭和八年十二月、所屬石狩國空知郡上富良野村十勝保勝會、番人不定期滞在、管吹上温泉、收容五〇、泊一〇、使用料五〇、休二五、湯當二〇、冬期湯、察煙備付あり、食料は吹上温泉にて供給す、番人常住は上富良野村山木運送店又は吹上温泉にて使用券を求めること。
- 21 美瑛忠別遊林小屋 美瑛忠別、昭和七年、所屬帝室林野局旭川支局、收容一〇、番人常住、冬期使用可能、交渉を要す。
- 22 美瑛本流遊林泊小屋 美瑛川上流、昭和四年、所屬帝室林野局旭川支局、收容一〇、交渉を要す。
- 23 奥蘆別遊視小屋 (三〇〇米) 空知郡蘆別川(蘆別川) 流下約二軒上流(蘆別川) 昭和四年、所屬帝室林野局上蘆別出張所、收容六、冬期使用可能、交渉を要す。
- 24 左股遊視小屋 (三〇〇米) 幾春別川支流左股流合より約四軒上流(幾春別川) 所屬帝室林野局岩見澤出張所、收容六、冬期使用可能、交渉を要す。
- 25 カネオベツ休泊小屋 (三〇〇米) カネオベツ川筋、南大夕張より登り約二時間の箇所(大夕張) 昭和二年、所屬帝室

- 林野局夕張出張所、收容一〇、燃料代として若干徴収することあるべし、冬期使用可能、交渉を要す。
- 26 日蔭澤休泊小屋 (四〇〇米) 夕張郡夕張町夕張川流域奥二股(大夕張) 昭和六年、所屬帝室林野局夕張出張所、收容三〇、冬期湯、察煙代として若干徴収することあるべし、交渉を要す。
- 27 瀧ノ澤休泊小屋 (四〇〇米) 夕張郡夕張町夕張川流域地夕張岳西方、ペンケモユエロ川上流、右岸標五九九米の南方(大夕張) 昭和九年、所屬石狩國夕張町旭谷帝室林野局夕張出張所、收容二五、冬期使用可能、燃料備付あり、交渉を要す。
- 28 夕張岳休泊小屋 (六〇〇米) 夕張岳御料地夕張岳西南、白金川上流左岸標六二五米の北方(大夕張) 昭和十年、所屬石狩國夕張町旭谷帝室林野局夕張出張所、收容二五、冬期使用可能、燃料備付あり、交渉を要す。
- 29 天狗山ヒユツテ (三〇〇米) 天狗山東北麓、小樽より約三軒(小樽西部) 昭和六年、所屬小樽スキークラブ、收容六、泊三、外五〇、一日貸切一〇〇、冬期使用可能、察煙賞あり、備付あり、使用手續朝甲岳ヒユツテに同じ、但し毎土、日曜、祭日開放。
- 30 北海製糖ヒユツテ (三〇〇米) 瀧谷丸山東麓、在助湯より丸山頂上に至る途中(小樽西部) 昭和十二年、所屬小樽市北濱町北海製糖會社健康保險組合、收容二〇、使用料會員無料、會外三〇、冬期湯、察煙あり、豫め申込を要す。
- 31 東日ヒユツテ (四〇〇米) 碓氷山麓(澤ノ澤) 昭和九年一月、所屬札幌市役所内札幌スキー聯盟事務所、番人自十一月一日至四月三十日、收容二〇、泊(自六月至十月) 二〇、休五、冬期湯、察煙賞あり、市電旭山温泉賣店へ申込のこと。
- 32 パラダイスヒユツテ (五〇〇米) 手稲山麓瀧川の支流、瀧ノ澤の左股の澤頭(鏡湖) 大正十五年、所屬北海道帝國大學(鏡湖) 大正十五年、番人自十二月中旬至四月中旬、收容三〇、使用料泊一學内二〇、學外二五、入場料 學内一〇、學外一五、冬期使用可能、察煙備付あり、食料なし、上記期間中旭川市北大スキー部休泊所又は札幌市北一條西三丁目ロバパンにて徴、使用券、泊券を受くること。
- 33 右股小屋 (三〇〇米) 札幌市手稲村字右股(鏡湖) 所屬北海道廳人事課内右股小屋、番人なし、冬期シーズン中管理人をして毎日曜日に限り特に世話せしむ、收容二〇、泊五〇、察煙あり、尙近くに管理人居住し物資供給す。
- 34 奥手稲山の家 (三〇〇米) 奥手稲山(三〇〇米) の南方エトビヤ(九島米) との間(鏡湖) 昭和五年、所屬札幌市北
- 五條西四丁目札幌鐵道局(電話三〇) 番人常住(但し自四月十六日至十月十五日間土、日、祭日のみ開設) 收容四八、冬期使用可能、察煙賞あり、備付あり、宿泊料五〇、食費 夕食五〇、朝、昼食二五、湯當一五、休一〇、泊一五、使用券は札幌鐵道、小樽、南小樽の各駅にて發賣す。
- 35 銀嶺荘 (三〇〇米) 鏡湖西北方香山麓(鏡湖) 昭和十年、所屬札幌市北海タイムス社河合櫻石(電話三〇) 番人自十二月一日至四月三十日、夏期毎土、日曜、收容一泊五〇、休一〇〇、使用料一泊五〇、休一五、冬期使用可能、申込先鏡湖スキークラブ、切符制、小屋内に公衆電話あり。
- 36 ヘルグエチアヒユツテ (五〇〇米) 小樽内川上流白井岳の北麓(鏡湖) 昭和二年、所屬北海道帝國大學文武會山岳部、收容一三、冬期使用可能、察煙備付あり、使用料二五、申込みの上使用許可證と鏡湖の交付を受くること。
- 37 峠の小屋 (三〇〇米) 小樽定山溪バス道路境の峠(鏡湖) 昭和八年、所屬小樽市小樽定山溪自動車道會社、番人なし、收容一五、使用料日一泊五〇、一泊五〇、冬期湯、察煙あり、食料なし、冬期間小樽山岳スキークラブ管理、豫め申込。
- 38 白樺小屋 (六〇〇米) 小樽定山溪バス道路沿線ヘルグエチアヒユツテ西方一軒(鏡湖) 昭和八年、所屬上記に同じ、番人

- 冬期滞在、収容三〇、使用料一日五二五
一泊五〇、冬期滞、寝具あり食料なし、
寝具中込のこと。
- 39 長門ヒユツテ (三〇〇米) 白井川上
流長門橋跡山跡(定山溪)昭和六年、所
屬北大文政會スキー部、収容七、冬期使
用適、寝具あり、使用料一日五〇、札幌
市南一俣西三丁目富貴堂運動具部に中込
み寝具の交付を受けること。
- 40 朝里岳ヒユツテ (三〇〇米) 朝里岳
北麓朝里川上流最後の右二股上流、毛無
山麓ノ澤道六五五米地盤の北方五〇〇米
(鏡湖)昭和四年、所屬小樽市小樽山岳ス
キー倶楽部、番人自十二月至四月下旬、
収容二〇、泊一員三〇、會員外五〇、
冬期使用適、寝具及事務用具の備付あり、
中込みの上使用料と寝具の交付を受けるこ
と。
- 41 無意根小屋 (二〇〇米) 豊平川上流
(定山溪)昭和六年、所屬札幌市北大路學
部産婦人科學教室大野精七、管理費同所
給本重雄、収容二〇、冬期使用適、寝具
備付あり、使用料(自十一月至六月三
十日)一泊五〇、二泊七五、三泊一〇
〇。
- 42 無意根小屋 (二〇〇米) 薄別川上
流奥ムイネ山麓(定山溪)昭和七年、札
幌市外山六丁目有原豊平、収容二〇、
使用料一日二〇、泊四〇、二泊六〇、三
泊八〇、冬期使用適、寝具あり食料なし、
- 一週間以前に定山溪鐵道豊平駅又は札幌
市北五條西十九丁目芳賀スキー場芳賀
左衛門方(電話六〇)朝山町南大通五丁目芳
賀恒太郎方(電話五五)へ中込を要す。
- 43 萬計造林小屋 (八〇米) 札幌橋御
料地内萬計沼の下空沼小屋附近(石山)
昭和四年、所屬帝室林野局札幌支局、収
容二〇、冬期使用可能、冬期のみ少量の
燃料を備へ付け其の實費として五錢宛納
めること、交渉を要す。
- 44 空沼小屋 (五〇米) 空沼岳中腹萬計
沼畔(石山)昭和三年、所屬秩父宮家、
管理者北大スキー部長、収容三〇、泊自
七月一日至十月三十一日一泊二〇、二
泊三〇、三泊四〇(一日に付一〇を加算)
自十二月一日至六月一日一泊五〇(同
上一日に付二五を加算)冬期使用適、寝
具備付あり、管理者に中込み許可を受く
ること。
- 45 冷水小屋 (二〇〇米) 札幌橋冷水源上
流(石山)昭和八年、所屬札幌市豊平町
定山溪鐵道株式會社、番人自十二月至四
月、収容四〇、使用料(自六月至十月)一
泊三、休養一〇、冬期適、寝具あり
食料なし、泊(自十一月至五月)五〇、
休養一五、豊平驛、瀧ノ澤驛、定山溪驛
に中込のこと。
- 46 二股造林小屋 (五〇米) 豊平川上
流空沼八ノ澤との合流點豊平川左岸(定
山溪)昭和三年、所屬帝室林野局札幌支
局、収容一五、冬期使用可能、燃料、ス
トーツの備付あり實費として五錢を納む
ること、交渉を要す。
- 47 中山ヒユツテ (三〇〇米) 中山峠南
側、水車標高點(八〇〇米)の南約五〇〇
米の橋より三〇〇米下流(定山溪)昭和
三年、所屬札幌市北海道山岳會、収容三
〇、番人自十二月至四月、泊二〇、冬期
使用適、寝具あり、管理人虹田鹿喜彦別
字黒橋三上喜六に交渉すること可とす
(黒橋驛邊の宿泊當付八〇一・五〇)
- 48 惠庭登山小屋 惠庭岳六合目(樺
前山)収容一五、寝具食料供給なし、登
山口に帝室林野局本事務所あり。
- 49 モーラツツ巡視小屋 (三〇米) 支
笏湖畔千歳村モーラツツ(支笏湖)大正
八年改築、所屬帝室林野局小牧出張所、
収容不明、冬期使用可能、寝具なし食料
供給す市價と大差なし、尙尙小屋に接続
して約二十人を収容し得る人夫小屋あり
交渉を要す。
- 50 ニセコ山の家 (七〇米) ニセコア
ンペリ西方ニセコ温泉附近(岩内)昭
和十二年、所屬札幌鐵道局、収容一特別
室四、一般室四〇、番人常任、物資供
給す、使用料一特別室一〇〇、一般室六
〇、食費一員三〇、中食二五、夕六〇、
休養料一〇、冬期適、温泉浴室あり、使
用券四日前より發賣(兩階、小樽、南小
樽、札幌各驛)
- 51 羊蹄山石室 (二〇〇米) 羊蹄山九合
目(留壽都)大正十年、十五年、所屬北
海道山岳會、管理者虹田郡俱知安町森林
事務所長、番人自七月一日至九月三十日、
収容五〇、物資供給す、泊九五(食費六
〇、石室費一〇、毛氈一枚二五)自秋一
〇、冬期不適(但し俱知安町登山口半月
湖畔に山小屋遺跡あり)小屋番常任、
一泊二食料當付一・五〇、燃料費の備付
あり、五合目に休養所を設く。
- 52 鴨川小屋 (三〇米) 渡島國龜田郡七
飯村横津中腹、昭和七年、所屬函館市
日魯漁業會社曙光會スキー部、収容一五、
番人自一月中旬至四月下旬、冬期使用適、
寝具備付あり、寝具中込のこと。
- 53 室蘭岳ヒユツテ (四〇米) 室蘭市
香川町東室蘭驛又は輪西驛より八軒(ヒ
ユツテ)より室蘭岳頂上迄二軒、昭和六年、
所屬室蘭市公園町室蘭市役所内室蘭宣傳
協會、収容一休養一〇〇、宿泊三〇、番
人自一月至四月中の祭、土、日曜日滞
在、燃料備付あり、使用料一休養一〇、
宿泊二〇(子供半額)
- 54 オロフレ山スキー休養小屋
(八〇米) 釧路國有球那村オロフレ山
西南方球那山の西方(徳島別)昭和九年
一月、所屬室蘭市港町室蘭保線事務所、
収容三〇、冬期燃料備付あり。



近代式建築を誇る各室スチーム付四層樓落成 御客室百餘室
廣間 二百疊(舞臺付) 八十疊 四十疊(舞臺付)
三十疊 其の他完備

開祖定山坊より継承の温泉旅館
定山溪ホテル
電話※ (特長一冊) 三十三番
(四十五番)

浴場 温泉大プール 長さ 五〇米 巾 十五米
新浴場、蒸風呂、砂湯、瀧の湯、薬湯數種
娛樂室 舞臺付八十五疊、オンドル式暖房を装置し嚴寒と雖も常夏の氣
分、娛樂用具種々
スキー乾燥室の用意あり

札幌の創建と共に生れ

札幌の発展と共に歩める

皆様のデパート



井 今 井

家庭

國歌「君が代」の由来

明治五年の夏、明治天皇が龍驤に召されて九州地方へ御巡幸遊ばされた際に、供奉した佛國の艦隊から國歌を尋ねて來たので、海軍大輔川村純義は古歌から「君が代」の一首を選び、これを宮内省の雅樂所に呈示して、一等伶人林廣守に作曲せしめ國歌に假用したが、これは和樂本位であつたので、更に當時の海軍軍樂隊の教師エツケルトが洋樂器による伴奏に適するやう、之に洋風の和聲を附し四重唱に直し、明治二十三年になつて文部省がこれを國歌に公定したものである。「君が代」の歌は、古今集に讀人知らずとして「我が君は千代に八千代に……」

家庭

とあるのを公任卿が和漢朗詠集に收めるとき「君が代は千代に八千代……」と改めたのに據つたのである。

國旗「日の丸」に就いて

一、國旗の制定
日の丸の旗印は日本で隨分古くから用ひられてゐた。後醍醐天皇が笠置山へ行幸遊ばされた時に官軍に賜はつたことや、其の後上杉謙信、武田信玄等の武將がこれを戰場で使つたことは人のよく知るところである。又船印としての「日の丸」はずつと昔から用ひられ、徳川幕府時代には、安政元年七月十一日に「日の丸」を大船御國總印とする旨の幕命を出してゐる。「日の丸」が正式に國旗にきまつたのは明治三年正月二十七日の太政官布告第五十七號であつて、この御布告で商船規則中に初めて日本船舶に掲げる國旗が制定せ

られ、次いで同五年に陸軍國旗章、同十月には海軍國旗章の制定を見た。同年三月に開港場所在の縣廳に國旗を掲揚すべきことが布達された。

二、民家の國旗掲揚

一般民家で國旗を掲げるやうになつたのは明治五年十一月二十八日、舊曆を廢して新・太陽曆を用ひることになり、其の改曆のお祝として、東京市中の毎日に日の丸の國旗を掲げてはどうかと、時の東京府知事大久保一翁に伺ひ出たものがあつた。そこで大久保知事は政府へ何書を出し、政府は協議の結果「何の通り區々戸長に下々方申し合はせ日章旗の懸形を相掲げ候は苦しからず」といふことになり、其の指令が東京府に來た。そこで明治五年十一月二十八日、東京市の各戸には開闢として「日の丸」の國旗がはためいたのであつた。

三、國旗に表徴さるゝ國體の精華

わが國は昔から神の國、日の本、日出づる國であると自他共に稱へてゐて、國旗に太陽を象どつて、長くも、皇祖天照大神の玉影を彰してある。清淨無垢の白地は正義と公平といふ意味

で周圍を包んである。この「日の丸」國旗程わが國體と國民性とを如實に現したものは實に世界に類似なく、絶對唯一のものである。懼れ多いことであるが萬世一系の 御皇室はわが肇國の昔より、天つ御祖として下萬民をわが子の様に思召され給ひ、一視同仁の温い大御心を以て慈しみはぐくみ給ふのであつた。國民は又齊しくこれに應へ奉り、融合一體となり、御皇室を中心にしたすべし御鴻恩の萬分の一に報い奉らんことを期してゐるのである。日章の赤と周圍の白とは、君臣の別と大義明分の明らかなる如く鮮かに截然たるものがある。またこの「日の丸」は國民の義勇奉公の表徴であつて、一旦緩急あれば一死以て報國の赤誠を表し、皇恩の爲には身を鴻毛の輕きに比して水火をも辭せない忠魂義膽そのものである。白地は潔白純直を意味するもので、平和勇武を尙ぶ心と

謂へる。斯ういふ風に、我が國旗には實に護國の大精神と、わが民族の生命と大理想が打籠つてゐるのである。太陽の萬物をはぐくむ大慈悲と温い生命の光は凡ゆる民族を差別せず、一切平等に八紘に輝いてゐる。これぞわが皇國日本の一貫した大理想であり、「日の丸」國旗に現れた日本精神の大勲姿である。わが「日の丸」國旗こそ常にわが國體の精華であつて、世界に比類なき國體と共に萬邦に冠絶する所以なのである。宏大無邊の皇恩に謝し、尊嚴限りない國旗を護るお互は、國旗の精神に恥ぢない大理想に生き、益々皇運を扶翼し奉り、盡忠報國の赤誠を效さなければならぬ。

四、國旗はどんな場合に掲揚すべきか

第一は日本の國權と存在を知らしめることである。平時ではわが國と外交上の條約を締結してゐる國々の大使館、公使館、領事館等の屋上に掲げ、又無人島を發見した場合には掲げる。戦争の時には敵の陣地を占領した時その場所に必ず國旗を掲げる。軍艦や汽船は國籍を示すために掲げ、飛行機、飛行船も其の機體に國旗を印しつける。又國際的の競技大會に當り日本選手が優勝した時、「君が代」の奏樂中に「日の丸」を高く掲揚する。それから國民全體が同じ氣持を表す時は國旗を必ず掲げなければならぬ。即ち國家の祝祭日をはじめ行幸、行啓は勿論のこと、兵士の入隊、出征、凱旋の時、學校、組合、團體の記念日等には國旗を掲揚する。それから高貴の方々がおいくなつて哀悼の意を表する時とか、又國家に功勞のあつた人が薨去された時も國旗を掲げなければならぬ。前の場合は表旗、後の場合は形旗といふことにな

五、正しい國旗の寸法

正しい國旗は地色は白、日章は赤で、縦横の寸法は二と三の割合である。日章の徑は縦の五分の三で、必ず旗の中心に置かねばならぬ。旗竿の段々の染分は神武天皇が熊襲を御東征遊ばされた時用ひさせ給うた御弓をかたどつたものであり、竿の尖の金の球は御弓の尖にとまつた金鶏をかたどつたものと謂は

七、國旗の取扱

國旗の尊嚴を保つためには國旗の濫用を慎むべきで、營利の廣告に用ひたり、場所柄を辨へぬ裝飾や玩具用にしてはいけぬ。國旗の掲揚や降下は成るべく主人の手でなすべきであつて、又夜中や翌朝迄出し放しになつてゐることがあるが、之はよくない事である。國旗の保存には特に意を用ひ、一定の容器

を用ひるか或は清潔な場所を選んで保存して置かねばならぬ。萬一國旗が破れたり皺になつた時は其のままにして置かず直ちに修理すべきで、煤けたり褪色の著しいものは早速洗ひ、又は綺麗な國旗に取替へなければならぬ。最近國旗の中に文字を書くことが問題になつてゐるが、明治天皇は御製に

神のみいつをあふけ國民

と仰せられてゐる。國旗研究の權威者松波仁一郎博士も、國旗の中に絶対文字を書くなど言うてゐる。

八、國旗掲揚運動

國民精神總動員中央聯盟では昭和十三年二月十一日の記念節から始つた國民精神總動員第二回強調週間に「祝祭日には必ず國旗を掲揚せよ」と全國に國旗掲揚運動を起してゐる。國旗を敬び國旗を愛することは即ち國を愛することであり、皇室を敬び國恩を忘れぬ印に祝祭日には日本中一軒も残らず國旗を掲げ、國民自らの赤誠を彰して大いに日本精神を掲揚することに努めなければならぬ。

國旗の掲げ方

文部大臣官房文書課長が、國旗の掲げ方に關して内閣書記官長に照會したところ、次の要領に依るを妥當とする旨昭和五年十二月二十六日關係方面に布達があつた。

度量衡略換算

【度】一米は三尺三寸
米を尺に 一割加へて三倍す
尺を米に 一割引いて三で割る
寸を尺に 六で割り五倍す
時を寸に 五で割り六倍す
時を米に 四〇で割る
米を時に 四〇倍す
【衡】一匁は三ツ、一ツは二二吋
斤を里に 四で割る
里を斤に 四倍す
斤を里に 八で割り五倍す
里を斤に 一・六倍す
斤を里に 二倍半す
里を里に 〇・四倍す

體力章檢定標準

Table with 4 columns: 級別 (Grade), 米歩走 (Rice walk), 走幅跳 (Long jump), 手榴弾投 (Hand grenade throw), 懸垂 (Pull-up), 回轉 (Rotation). Rows include 初級 (Elementary), 中級 (Intermediate), 上級 (Advanced).

【量】一立は〇・五五四五升
石を石に 二で割り一割加ふ
石を石に 二倍して一割引く
石を方ロ(米)に 二〇倍して三割加ふ
方ロ(米)を石に 五分引いて〇・四倍す
方ロ(米)を石に 五〇で割り五分加ふ
石を方ロ(米)に 五〇倍して五分引く
(米方ロは二升一合弱、英方ロは二升五合二勺)

【地積】

方軒を方里に 〇・〇七倍して七分引く
方里を方軒に 一〇倍して五割加ふ
方里を方里に 六倍す
方里を方里に 六で割る
方軒を方里に 〇・四倍す
方軒を方里に 二・六倍す
方軒を町歩に 一分加へて一〇〇倍す
町歩を方軒に 一分引いて一〇〇で割る
方里を町歩に 三割引いて二〇〇で割る
町歩を方里に 四分加へて一五〇〇倍す
町歩を方里に 四分引いて一五〇〇で割る
町歩をヘクトアルに 一分引く
ヘクトアルを町歩に 一分加へて
エーグルを町歩に 一〇で割つて四倍す
町歩をエーグルに 一〇倍して四で割る
(一町歩は一〇段、一〇段は一〇〇畝、一〇〇畝は三〇〇〇坪)

△其他

馬力をキロワットに 三倍して四で割る
キロワットを馬力に 三で割り四倍す
カラットを瓦に 五で割る
瓦をカラットに 五倍す
ワットを燭光に 八倍して一〇で割る
燭光をワットに 八で割り一〇倍す
メートル法冠稱
キロ(千) ヘクト(百) デカ(十) デシ(十分一) センチ(百分一) ミリ(千分一) ミクロ(百萬分一)

家庭常備薬

○アスピリン 本名をアセチルサリチル酸といふ白色の細かい結晶性粉末...

八七分をよく混和して足汗、濕疹等に撒布する。
○アムモニヤ水 蚊やその他の昆蟲類や蛇に刺された時に中和劑として用ひる。

グラム位用ふ。
○過酸化水素水 オキシフル又はチオキシソとして市場で賣られ、無色液で消毒薬として用ひる...

○苦味チンキ 廣く用ひられる薬で、赤褐色液、健胃薬となる。消化不良、食慾不振の時には重曹を溶かした水の中に、胃液の少ない人は補強液を水で薄めたものに一日二乃至三グラムを混合して服用する...

栄養の知識

栄養素 (有熱栄養素) 蛋白質、炭水化物、脂肪 (無熱栄養素) 礦物質、ビタミン、水
▲蛋白質 肉内の蛋白質は主に筋肉や内臓等身體の基礎を構成し、成長及び維持に缺くことの出来ない重要な成分である...

缺くことの出来ないアミノ酸は何れも動物性蛋白質に多いので、動物性蛋白質の栄養価が高く、植物性蛋白質よりも重要視されるのである。日本人の矮小なのは動物性蛋白質の不足に原因すると言はれる位である...

化物に比して二倍以上の働きがあるから、僅少の容積でよく機能を維持することが出来る、寒い地方の人や激しい労働に従事する人には極めて重要な栄養素である。脂肪は七種類があるが、生脂、豚脂の如き動物脂肪及び一般植物性脂肪にはビタミンは含まれてゐない。脂肪を必要以上に過食すれば脂肪自身の害と、脂肪中に含まれる有害成分の害を受ける。肝油はビタミンDとしては有効であるが、多量に用ひると其の中の二、三の有毒成分の害を受ける。脂肪の適量に就いては的確な標準はなく、大體總熱量の約三割程度と言はれるが、營養研究所では二十瓦を吾々の標準としてゐる。

食物選擇上の心得
一、穀物 熱量と蛋白質の給源として經濟的であるが、鹽類とビタミンに乏しい。
二、豆類 蛋白質、鹽類、ビタミン等に富み、又多量の脂肪を含むから熱源としても極めて經濟的な營養食品である。
三、砂糖、油脂 これは熱量の根源としてのみ役立ち、又動物脂肪の或ものはビタミンA及びDの給源として極めて有効である。
四、肉類(鳥獸魚介) 良質の蛋白質に富むが一般に鹽類とビタミンに乏しい。

家庭

五、野菜、果實、鹽類とビタミン類の給源として最も重要である。

六、乳、卵、蛋白及びビタミンの給源として食品中の王座を占める。

標準献立(日本人)

食品	数量	蛋白質	熱量
主食	米
副食
油
計

單位式献立

主食は一日分を三等分して朝、晝、晩に配當し、副食物は一日分を四等分して朝及び晝には其の一單位を、夕食には其の二單位を配當する。即ち前記標準献立の副食物の蛋白質合計四十五瓦と、熱量合計六百六カリロリーを四分して配當するのである。

患者食餌の注意

△腎臓炎患者の食餌 急性腎臓炎では發病の初期一、二週の間は最も嚴重な食餌の注意をして腎臓の病状を避け、又其の負擔を軽くする方針をとらねばならぬ。1. 香料例へは酒類、生薑、芥子、山葵、胡椒、山椒、カレー粉、大根おろし等、又は濃い茶、コーヒ、ココア等

を嚴禁する。2. 食鹽を能く制限制限する。即ち食鹽、味噌、醬油、漬物、梅干其の他醃漬類一切を禁じ、味つけには理研無鹽醬油を用ひる。3. 水分即ち湯茶類を能く制限する。牛乳も初の間は制限する。4. エキス成分例へは肉汁、肉スープ等を禁じ、蛋白質を體重一キログラムに付一日一グラムに制限する(豆類、穀類、薯類等に含まれる植物性蛋白質を用ひる)是等の方針に従ふ時は急性腎臓炎患者の用ふべき食餌は含炭素(米飯、粥、パン、餅、葛湯、オートミール、砂糖、馬鈴薯等)及び菓子類、蔬菜類(苜蓿草、キャベツ、人參、西瓜、メロン、茄子、胡瓜、葱、にんにく、にら等は避ける)其の他諸果實類、脂肪(卵黃、無鹽バター等)である。斯くして病勢が良好に向かつた際は尿の検査を受けつ、漸次食餌を改めて行くのである。

△糖尿病患者の食餌 糖尿病は腎臓が分泌するインシュリンといふホルモンが減少し、含炭素が體內で十分利用されず、葡萄糖として尿中に排出される。病氣故、此の患者の治療方針は含炭素(糖類及び澱粉)の攝入に制限を加へ、蛋白質及び脂肪を以て代へて之を補給して休養を興へ、後徐々に含炭素量を増して見るのである。糖尿病患者の食餌は其の體重に應じて必要最小限度をあまり超過せぬ程度の熱量、即ち體重一キログラムにつき三十五乃至四十カリロリーの熱量を計算

蛋白質の含有量とその比較表

品名	一斤(市價)	一斤(市價)
牛肉(ヒレ)	110.0	100.0
同(小間切)
豚肉(ロース)
...

し、先ず嚴重な病状によつて此の熱量を減るのである。嚴重な病状は米飯、パン、麵類、芋類、砂糖等を全く排し、鳥獸魚肉、貝類(牡蠣を除く)、卵、豆腐等の蛋白質、バター、牛脂、豚脂、胡麻油、肝油、油揚げ等の脂肪と、含炭素量の少い野菜例へば葱、芹、莖、菊、白菜、苜蓿草、みつぱ、ちまき、蕨、大根、かぶ、胡瓜、茄子、トマト、南瓜、アスパラガス、花野菜、セロリ等、粒に果實類例へば苳、夏蜜柑、西瓜、まくわ瓜、びわ等から成るものを食し、調味料は食鹽、醬油は差支ないが、砂糖の代りにはサツカリンを用ひる。斯かる嚴重な病状を守つて尿糖が消失したならば、毎食時米飯十グラムを、米飯に含炭素量の増減を計るのである。然し重症の糖尿病者は勿論醫師の監督を受くべきである。

△脚氣患者の食餌 脚氣患者の食餌はビタミンBの補給を目的として行はれる。第一、主食に依る法として、白米にはこのビタミンBが無いから之を玄米、半熟米、胚芽米、糠飯に變更すること。第二、副食物はこの日をよく含むものを選擇すること。之を多く含む食品は米糠

驛名の讀方

函館内港間

【函館内港間】 函館(はこだて)五稜郭(ごりようかく)桔梗(きぎや)七飯(なないほ)木野(きの)仁山(にやま)軍川(ぐんがわ)大沢(おほしずみ)赤井川(あかいはら)駒ヶ野(こまがの)棚川(たながわ)石谷(いしがや)野田追(ののだお)八雲(やぐも)山崎(やまざき)黒松(くろまつ)熊野(くまの)上目(かみめ)野田(ののだ)比羅夫(ひら)小澤(こざ)仁木(にき)岩倉(いわた)藤谷(ふじや)色内(いろない)小樽(こぞう)小樽築港(こぞうけんこう)朝里(あさり)藤崎(ふじま)小樽(こぞう)小樽(こぞう)厚別(あつべつ)野幌(のほろ)江別(えべつ)幌見(ほろみ)上幌向(かみほろむ)美里(みや)茶志内(ちやしない)茶井江(ちやいはら)澤川(さわがわ)たきかは

江部乙(えべおつ)妹背牛(もせうし)深川(ふかがわ)納内(のうない)神居古潭(かむいこたん)伊納(いな)近文(ちかぶみ)旭川(あさひがわ)新旭川(しんあさひがわ)永山(ながやま)比布(ひつ)留(る)樺野(しほかり)和寒(わかつか)洞(どう)風連(ふうれん)七別(しべつ)多寄(たよ)智恵文(ちえぶん)美深(みやふか)紋内(もんない)思根内(おんない)映来(えいらい)神威(かむい)佐久(さく)藤平(ふじへい)宇内(うない)間栗(まがし)とひか(とひか)雄内(おの)安牛(やすうし)上幌延(かみほろのぼ)幌延(ほろのぼ)下沼(しもぬま)豊富(とよとみ)徳浦(とくみ)芦川(あしかは)兜沼(かぶとぬま)明知(あきち)披田(はつかい)権内(けんない)権内港(けんないこう)

【函館江差間】 函館(はこだて)五稜郭(ごりようかく)七重(ななえ)久根(くね)上磯(かみいそ)茂邊地(もへぎ)渡島(わたりま)栗山(くりやま)泉(いづみ)札別(さつべつ)木古内(きこない)吉原(よしはら)湯ノ内(ゆのち)桂岡(かづの)上ノ内(かみのち)江差(えさし)

【木古内渡島知内間】 木古内(きこない)森(もり)知内(ちち)渡島(わたりま)

家庭

メンザイ、蕎麦、小麦、玉蜀黍の胚芽、中等量を含むもの大豆、大豆粉、豌豆、大豆粉、南京豆、腰元豆、豆、もやし、燕麥、裸麥、パン、鉄、蕎麥、玉蜀黍、馬鈴薯、甘藷、キャベツ、菊、人參、サトウ、トマト、葱、苜蓿草、アスパラガス、セロリ、綠茶、檸檬、レモン、ザボン、林檎、梨、胡桃、バナナ、栗、牛蒡、牛心蕪、牛肝蕪、豚肉、豚心蕪、羊肉、鱈皮、白身魚、牡蠣、卵黄。第三ビタミンB製劑による方法。尙毎年脚氣を起す傾向のある人は三、四箇月前から豫め此の製劑を服用して居ればよい。

飯盒による

野外炊事心得

野外炊事の目的を達する爲には飯盒によるのを最も可とする。殊に防空法が布かれてゐる我が國民一般はこれの正しい使用方を心得、尙各家庭では是非幾箇かの飯盒を備へる要がある。飯盒は現在陸軍で用ひてゐるものは飯も炊け、副食物も調理することが出来る。

飯盒の容積は本盒約一升、掛子一合七勺、蓋盒二合である。本盒の内側面に二

つの目盛があつて、上方の目盛は米四合(二食分)を炊く水量を示し、下方の目盛は米二合を炊く時の水量を示す。炊方は焚火を用ふる時は蓋を飯盒の底を紙めて僅かに側に出るから内に飯盒を吊し、炭火又は携帯燃料を用ふる時は飯盒の底より約一寸位離す。普通四合炊の場合は約十分から二十五分間で沸騰を止せ、蓋の間から水蒸氣と泡を噴き出す。内部の沸騰する音を止むを認めれば火からおろし、倒さまにして置き、そのまゝ十七、八分間煮す。

蓋の造り方は割立式、支柱三脚式、三脚式、壕式、堆積式、斜面式等である。二人以上の時は一つを副食物用とし、四人以上の際は一つを湯専用とすることが出来る。副食の場合には六人を一組とし、これを當番一人で炊事するのが能率的である。更に大きな團體の場合には六人分宛を一組とし、當番十名、監督一名で一次事を作る。其の任務は次の通りである。

- △第一次(炊事準備) 炊事場準備二名、飯盒水筒運集二名、食料品受取六名
- △第二次(炊事準備) 白米分配三名、副食物分配三名、燃料分配一名、焚付準備及び催役一名
- △第三次(實施) 主食掛六名、副食掛三名、火焚及び湯沸かし一名
- △第四次(分配及び跡始末) 主食六名、副食三名、跡始末一名

りうち

【國縫瀬間】 國縫(くんにひ)を縫川(うやがは)...

【俱知安方間】 俱知安(くつちやん)...

【小澤岩内間】 小澤(こざは)...

【札幌石狩沼田間】 札幌(さつほろ)...

【深川朱鞠内間】 深川(ふかがは)...

【岩見澤長萬部間】 岩見澤(いわみざ)...

【深川増毛間】 深川(ふかがは)...

り

【岩見澤長萬部間】 岩見澤(いわみざ)...

【深川増毛間】 深川(ふかがは)...

【滝川根室間】 滝川(たきがは)...

【幌延遠別間】 幌延(ほろのべ)...

の

【山郷(やまご)】 下山(しもかな)...

【名寄遠軽間】 名寄(なよ)...

【池田銅路間】 網走(あみぞ)...

【帯廣尾間】 帯廣(おびひろ)...

の

【苦小牧様似間】 苦小牧(くるこま)...

【旭川下富良野間】 旭川(あさひが)...

【帯廣尾間】 帯廣(おびひろ)...

【帯廣舞平間】 木野(きのの)...

【興部雄武間】 興部(おこつべ)...

【渚滑北見瀧ノ上間】 渚滑(しよこ)...

【中湧別中佐呂間】 中湧別(なか)...

【厚床中標津間】 厚床(あつと)...

【標茶根室標津間】 標茶(しべちや)...

西春別(にししゅんべつ)...

家庭

【音威子府稚内間】 音威子府(おと)...

【幌延遠別間】 幌延(ほろのべ)...

【名寄初茶志内間】 名寄(なよ)...

【滝川根室間】 滝川(たきがは)...

【池田銅路間】 網走(あみぞ)...

【帯廣尾間】 帯廣(おびひろ)...

二畫

一畫

三畫

読み難き氏名

Table with columns for name, reading, and classification (e.g., 戸, 一宮, 乙骨).

六一五

家

Table of names and titles for the 'Home' (家) section, organized by drawing count (e.g., 己斐, 小歳, 子子子, etc.).

庭

Table of names and titles for the 'Garden' (庭) section, organized by drawing count (e.g., 美努, 茂木, 建陽, etc.).

道名流選抜棋戦

本社主催道名流選抜棋戦各地對局者下の如し。

Table of names and titles for the 'Tournament' (道名流選抜棋戦) section, organized by drawing count (e.g., 湖海, 若藤, 結城, etc.).

家庭

一級、星野喜一郎一級△種内井上照隆二級、中澤浩一郎三級
鈴木三段應召 日本棋院棋士三段鈴木五良君(札幌市出身)は宮本都隊の一員として日下大陸に奮戦中。

道樺有段者一覽

(昭和十四年一月現在)
(在日本棋院所屬)

- △四段 沼倉清人(函館市)若狭勝治(小樽市)風間松太郎(函館市)河村武男(三笠山)澤田守徳(札幌市)
△三段 今井順一(札幌市)小川正(豊原市)大崎秀英(泊町)加藤清一郎(豊原市)伊田伊右衛門(夕張町)根木藤重(旭川市)福山末吉(札幌市)宮澤四郎(帯廣市)疋田三三(真岡町)
△二段 岩淵日昭(厚岸町)井上肇資(小樽市)林清太郎(同)西島民雄(室蘭市)大沼廣(小樽市)横田秀次(内田村)宮上光光(厚岸町)堀江英一(豊原市)姫野亨(野付牛町)杉本忠(旭川市)鈴木喜喜(小樽市)
△初段 石川清三郎(函館市)石川健吉(真岡町)石崎清廣(旭川市)早瀬藤夫(同)東郷修二(同)馬木好清(札幌市)戸澤春治(室蘭市)戸澤要(函館市)土肥兼次郎(札幌市)富森利雄(室蘭市)落藤謙吉(札幌市)大井孝石(東根知安村)岡村新一郎(函館市)奥井直吉(下川村)恩賀徳之助(函館市)

将棋

△棋界消息 一月 北海道將棋聯盟主催新年全道大會は八日札幌市中島公園西の宮で開催、岩城國助三段優勝。函館新年大會は七日白土五段宅で開催、山崎四段優勝。二月 旭川將棋大會は十九日開催、木村國助初段優勝。函館初段りり夕戦は十二日より六日間互つて白土五

段以下の審判で開始、永山久蔵初段優勝二段に昇進。三月 山崎松四郎四段昇段授賞式、地方將棋大會は常陸常陸信濃櫃上で開催、小西平兵衛勝。四月 本社瀧川支局主催第四回室田管内町村對抗戦を三日越中屋敷で開催、奈井江(中島)初段優勝。札幌將棋好會結成會は三日開催、太田義人初段を幹事長に推薦し毎月一回(第三日曜)競技會を開催することに決定。五月 第十三回青森函館優勝旗争奪戦は十四日湯ノ川地前で開催、三十四對十六で函館軍勝つ。函館のメンバー△函館軍白土五段、外山、松浦、高麗、林各三段、鳥井、宇内、藤山各二段、水野、古田、伊藤各初段、栗原三級△青森軍杉野六段、藤林三段、唐平、吹田、玉熊、鶴岡、奥内各二段、久保、伊藤、星、秋谷、奥崎各初段、伊藤三級。六月 本社瀧川支局主催第一回中部北海道選手権大會を十七日三浦華園で開催、清水利初段(室田村)出身優勝。八月 坂口允彦八段段に塚田正七段は八月初旬来道、函館、札幌、小樽、旭川等各地を巡遊、歓迎會に臨席した。

道樺有段者一覽

(十四年八月現在・印は格)

- △六段 福井資明(札幌市)
△五段 田子晃三(札幌市)白土誠太郎(函館市)
△四段 栗橋弘藏(札幌市)小熊幸一郎、長谷川一朗、中上關三郎(以上函館市)稻吉忠三郎(小樽市)山崎松四郎(釧路市)近藤一郎(旭川市)
△三段 高谷茂、草野芳男、岩城國助、

六一八

段△瀧路將棋研究会 師範山崎松四郎四段△十勝將棋研究会 副會長中尾恒雄二段△室蘭將棋研究会 會長栗林徳一初段△旭川將棋研究会 會長近藤一郎四段
本道出身大成會棋士
八段花田長太郎(函館市出身)△八段坂口允彦(日高國樺村出身)
本道出身大成會新進奨勵會員
二級山内水信(開根名人門下、十九歳、後志國岩内町出身)札幌福井六段門下△四級五十嵐豊一(開根名人門下、十六歳、札幌市出身)同七△六級藤原十郎(塚田七段門下、十七歳、函館市住吉町出身)函館白土五段門下△六級中村行雄(坂口八段門下、十七歳、函館市千代ヶ谷出身)同上

家庭

坂本魚太郎(以上札幌市)外山平吉、松浦義雄、林誠一郎、高柳三郎、折藤啓次郎、木山重太郎、一ノ戸象三(以上函館市)上藤彦三、十層興一(以上小樽市)大平正敏(釧路市)今村定雄(帯廣市)善忠好(芽室村)小野吉吉(室蘭市)新井安衛(旭川市)
△二段 木田芳晴、伊藤好道、鳥居温次郎、土田出来蔵、池上吉蔵、奥田耕村、長谷川久太郎、田所直一、池野善一、田中爲藏(以上札幌市)向井盛之助、藤山友郎、永山久蔵、山本嘉七、島井興三郎、宇内義江、大津芳蔵、岡部直次郎、高野金之助、高橋忠次郎、中村市雄、田島力雄、沖田西雄、田中豊治、田島清、山形才次郎、佐藤源平、加藤健、清水孫三郎(以上函館市)中川儀三、淺原寅男、富樫徳太郎、瀬戸辰蔵、峯尾隆、宮村健治、柳澤善之助、藤井字一(以上小樽市)中尾恒雄、梅田孫一、谷川俊二、赤石富太郎(以上帯廣市)楠木久次郎、松橋喜代治、中島勇、中村清三郎、田中潤一、高橋愛次郎(以上釧路市)横内一重(雄別炭山)佐藤興助(苫小牧町)遠藤源雄(栗山村)・利國實(栗山村)・川畑晋次郎(魚田村)・加納宇平(増毛町)・小野啓三、近沼源造、廣瀬大柱(以上野付牛町)・鈴木彌三郎(滝ノ上村)・武良翁壽、小池一郎(以上網走町)・山本保太郎(函館郡古釜布市街)・竹内孝四郎、池田勝郎(以上野付牛町)・野瀬幸一、鈴木晴助(以上豊原市)・越澤悟(大泊町)・井崎兵作(真岡町)

△初段 岡田信、岩田彦二、納谷信造、村田不二三、中村一俊、氏家孝、太田兼志、志賀亮、中村清治、下川清吉、田村謙次郎、片山政治、岡田三武郎、岡島盛三、山口素文、村井末治、水野銀治郎、井上節男、林勇次郎、林茂、佐野良造、淺野朝吉、原常吉、池邊秀郎、兼井孝一、伊藤貞吉、伊藤常吉、加島節、中村勝治、松尾廣次、北川佐太郎、山下秀之助、杉本昇三、山口喜一、前田源、藤原四郎、土肥兼次郎、佐藤水、辻小三郎、三浦繁一、西塚平、平原修、富島貞、小高次市、荒川作正、小村光二、森下繁、佐々木治夫、鈴木猛市、太田義人、阿部博、岩崎通、宮前野吾(以上札幌市)水野忠作、古田晋三郎、廣瀬慎一、伊藤勝太郎、吉村要蔵、津藤銀太郎、水野儀作、村上大三郎、赤岩一郎、増田悦、大澤源次、古川榮八、佐藤健三、小西浩之助、細野清太郎、三上菊三、大瀧長松、佐々木喜太郎、甲州谷福藏、坂谷爲吉、喜多村幸吉、松浦捨次、枝干彌吉、稻川菊造(以上函館市)稻田繁三(森町)小杉安次郎、富山芳富、水野啓造、武田由太郎、平野清嗣、富樫武夫(以上小樽市)針間金藏、小川正治郎、干場仁八郎、池野千代松、三上朝雄、小原精造、瀧澤平治、岩倉民治、佐藤健一、三股藏次郎(以上釧路市)栗林徳一、西坂嗣次郎、水上長次郎、上林重雄、伊部連一、青柳富士彦、田村晴太郎、伊藤三三、石川貞吉、酒野多喜好(以上室蘭

市)伊藤利孝、島田利吉、七條増蔵、石原源四郎、平野岩吉、木村國助(以上旭川市)千葉約論、大窪正太郎、岡崎象之助、加賀谷正直、高井俊夫、谷川利三、滑川春松、岡久節雄、折藤福男、崎一郎(以上帯廣市)矢野榮三、松下竹次郎(以上江別町)水野逸郎、岸和雄、日時直作、吉田一雄(以上野付牛町)中島嘉、五木木直作(以上奈井江)石丸隆夫(滝川町)白木想二(赤平村)吉田幸吉(新十津川村)坂本繁治(岩見澤町)清水利信(室蘭)今井平治郎(栗山村)下出長義(追分)池田忠信(魚田村)藤島四郎、伊藤芳五郎(以上俱知安町)柴田長五郎(東根知安村)堀田大助、安宅無次郎、大場泰三(以上岩内町)高野潤平(豊頃村)清水浩樹(野付牛町)疋田平三、土岐藤一(以上真岡町)

映畫

道樺映畫關係者

- △高峰 秀子 東京東宝撮影所女優
本名平山秀子(大正十三年生) 出身地函館市、現住所東京市世田谷區成城町一七六
△高勢 實業 東京東宝撮影所女優
本名能登谷新一(明治三十年生) 出身地函館市、現住所東京市右京區太秦東峰ヶ岡町一番地

- △早坂 文雄 東京東宝作曲家
大正三年生、出身地札幌市
△水上 恰子 東京東宝撮影所女優
本名橋本セツ(大正八年生) 出身地後志郡野付、現住所東京市右京區太秦多蔵町四十五番町原野四郎方
△石田 吉男 日活東京撮影所脚本家
出身地札幌市、現住所東京市中野區新山通三ノ三、一アサヒ荘、日下禮召中
△比佐 芳武 日活東京撮影所脚本家
本名武久猛、出身地室蘭郡江部乙村、現住所東京市右京區東安寺町宮町二一
△香川 良介 日活東京撮影所女優
本名山口英雄、出身地旭川市、現住所東京市右京區太秦南堀之内町七
△楠 三郎 日活東京撮影所女優
本名萩野直治、出身地函館市、現住所東京市東山区東大路安井神社西八月見町
△佐分利 信 松竹大船撮影所女優
本名石崎由雄(明治四十二年生) 出身地室蘭郡歌志内村、現住所神奈川縣高座郡藤澤町橋通五丁目二二一七
△近衛 敏明 松竹大船撮影所女優
本名楠崎敏一(明治四十四年生) 出身地岩見澤町、現住所神奈川縣鎌倉郡大船町岩瀬五二七
△富田重太郎 松竹大船撮影所現像主任
技師 出身地札幌市、現住所東京市左京區下鴨中川原町四六

家庭

高松錦之助 松竹京都撮影所男優
本名渡部綱雄(明治三十三年生) 出生地札幌市、現住所京都市右京区花園路毛町三

院西町七
東明 喜子 新興京都撮影所女優
本名樋口喜子(明治三十六年生) 出生地抄部郡抄部村、現住所京都市右京区石垣町三一

新興 東京撮影所(京都市板橋區東大泉町一〇三四)所長六車修(京都市右京區太秦蜂ヶ岡町九)所長水田雅一

七市主要映畫館及劇場
(數字は入場定員數)
札幌 東寶映畫劇場(株式會社)九九九名、社長植村泰二、支配人古川晴彦

日滿撮影所一覽

日活 多摩川撮影所(京都市北多摩郡調布町布田小島分六〇三)所長菅田勝至

極東キネマ 古市白鳥園撮影所(大阪府外大藏沿線古市)所長小林祐藏

函館放送局 局長大畑正助、業務係長野野崎太郎、技術係長杉山沙

映畫界メモ

我が國事變下の映畫界は日覺しい躍進を續けてゐる。國際文化振興會では映畫によつて眞の日本を海外に紹介すべく大

ラヂオ

子供の時間放送資料入選
昭和十四年三月子供の時間放送資料原稿を一般から募集、応募原稿百八十通の多數に上り嚴選の結果左の入選を見た。

旭川放送局 局長一瀬前光、業務係長萬政一郎、技術係長下山留治

本道出身歌手

山本麗子 (ピクタト) 大正十一年六月二日函館市に生まる、現住所京都市西町區「メノコ可愛いヤ」(松前道分)等代表的のもの

家庭

五九三名、支配人横山正義(日活演藝部(貸貸契約)四八六名、經營者田村正夫)
大和館 三三八〇名、經營者樋口義次郎

東寶の「リボンを結ぶ夫人」ロケに來道
東寶東京で本道出身の小説家森田タマ原作の「リボンを結ぶ夫人」を山本麗子主演、カメラ宮島義男によつて北海道の大自然をバックに明治四十年代の若き日本の息吹を描かんとする新鮮雄大な企畫の下に入江たか子、大日方傳、嵯峨善兵、丸山定夫等のスターが昭和十四年九月來道、札幌を中心として約一箇月間にわたり江別の本道隨一の町村牧場を背景に大勢の牧夫も應援して北海道一の大牧場ロケを完成した。

道内各放送局職員
札幌中央放送局 局長船水喜幸、庶務係長福島老一、總務部長和里田庄之助、會計係(兼)福島老一、契約係長吉泉清八、料金係長板垣乙三郎、周知係長村井道三郎、放送部長落合守平、學務係長中村重尚、業務係長(兼)技術部長岡田壽久、現業係長加藤基、試験係長(兼)「アノウンサー」熊野五郎、吉田良三(應召中)藤井重雄

家庭

在東京女高師助教授、大阪音楽院教授、現住所東京市澁谷區程田三ノ一七三

その他

とくさ會主村屋六清堂(札幌南十四九)若葉會主村屋六清堂(札幌南十四九)美香會主村屋六清堂(札幌南十四九)

高野(札幌南八四五)金子謙敏(札幌南八西)高橋操秀(札幌大通西七)新田佐美代(札幌南二西一)吉田早苗(興路黒金町)

狂言

坂東傳七郎(札幌南八四十一)鈴木晴月(江別町)今井登山(江別町)酒井敬丸(小樽山田町)

み(札幌北六四六)哥澤(札幌南四四六)常盤津(札幌南三三三)常盤津(札幌南三三三)清元(札幌南六四六)

小唄

長生一壽(札幌南四四六)瀧湖伊代(札幌南六四三)瀧湖伊代(札幌南六四三)

川町(梅ノ木橋裏小樽港町)原景水(登川)佐々木喬俊(岩内町)【筑前】岩手地蔵(小樽花園町西三ノ二八)

獨唱、合唱

△獨唱 工藤典子(札幌)東末吉(札幌)中川則夫(小樽)小川友子(札幌)山口禮子(札幌)

管絃樂團

札幌シンフォニーオーケストラ、北大文武會オーケストラ、札幌サロコンオーケストラ

ピアノ、オルガン

鈴木清太郎(札幌)工藤富次郎(札幌)千葉日出城(札幌)

吹奏樂團

北海製菓吹奏樂團(小樽)札幌師範吹奏樂團(札幌)

義太夫

豊澤若登女(札幌)三谷彦三郎(森川町)

詩吟

大谷雄三郎(札幌)堀内賢(札幌)大坪陽村(札幌)

家庭

ラヂオ・ドラマ

エトアール・クラブ(札幌)北辰クラブ(札幌)

音曲、俗曲

今井登山(札幌)高橋操秀(札幌)中村富士枝(札幌)

漫談、物語

五條楓登(札幌)照谷晴風(札幌)勝見榮峯(札幌)

落語

翁家さん馬(小樽)三遊亭若洲遊(定山溪)三遊亭小圓遊(小樽)

本道釣魚案内

(昭和十四年六月調) (括弧内は最寄駅)

函館線に沿うて 大沼、小沼(大沼)鮎、鮎(黒松内川)鮎、鮎(黒松内川)

室蘭線に沿うて 新野海岸(新野)鮎、鮎(新野)鮎、鮎(新野)

石北線に沿うて 生田原川本流(生田原)ヤマベ、イワナ(無加川)

美利別川(本別)イトウ、ウグイ、アママス、ヤマベ△勝龍川(上利別)イワナ、ヤマベ△トヤマ川(越別)同△常呂川(塩野)ウグイ、ヤマベ△古川(野野)ウグイ、ウグイ△ポント、古川川口(女別)同

◇網網線に沿うて 古川(五十石)同 △美和川、網路川(美和)ウグイ、イトウ△斜里川、札内川(札内)イワナ、ヤマベ△斜里川、猿間川、秋の川(猿間川)イトウ、アママス、ヤマベ、イワナ△チツブトマリ(斜里)ガヤ、ソイ、コマイ、ハゴトコ、鯉、アブラコ△猿間川、斜里川(斜里)アママス、イトウ△日ノ出岬(興部)△ハゴトコ△釣魚岩(沙留)鯉、ハゴトコ△於將海海岸(網走)鯉、ハゴトコ、ウグイ、鯉

◇留萌線に沿うて 雨川(築紫)同 △留萌(石狩沼田)同△留萌川(倉敷)同 △鶴沼、ビラ沼、トイ沼、石狩川(浦白)ウグイ、鯉 △沖内十五沼沼(小平)鯉 △小平沼川、小平沼(小平)ウグイ△大機沼岸、乳沼沼岸(大機)ウグイ、アブラコ、ソイ△古丹別川、三毛別川(古丹別)ウグイ

◇根室線に沿うて 峠ノ下川(金山)ヤマベ△佐幌川(新内)ヤマベ、イワナ、アママス、△十勝川(十勝)鯉、鯉、ウグイ、イトウ、アママス △遠藤沼△(下頓部)同 △直別沼岸(直別)ウグイ、鯉、アママス、コマイ△琵琶沼川(茶内)ヤマベ、イワナ△結別川(苗中)ヤマベ、アマ

マス△オイチヤンベツ川、美瑛川、湯別川(湯別)ヤマベ、ウグイ△土曜川、音更川(中士)ウグイ、ヤマベ△札内川、遠別川(中札内)同△廣尾海岸(廣尾)ウグイ、コマイ、キウリ△重太郎川(春別)イワナ、アママス△春別川(同)アママス△樺津川、樺落川、ボシマタオチ川(中樺津)ヤマベ、イトウ、アママス△思願川、富樫川(同)ヤマベ、アママス△オシヨロコマ、然別湖(瓜幕)イワナ△十勝川(瓜幕)イトウ、アママス

◇宗谷線に沿うて 蘭留川(蘭留)ウグイ、鯉△蘭留川(蘭留)鯉、ウグイ△天鹽川、多寄川(風連)鯉、ウグイ△山縣神社沼(名寄)鯉、鯉△天鹽川(智東)イトウ、ウグイ、鯉△小車川、オトリコッペ川(思根内)ヤマベ△上物内川、富別保川(富別)同△サクコタン川、チラシナイ川(佐久)ヤマベ、ウグイ△パンケ沼(下沼)ウグイ、イトウ△パンケ沼(同)ボラ△兜沼(兜沼)ウグイ、イトウ△日梨別川(同)鯉△防波堤(稚内港)ウグイ、チカ

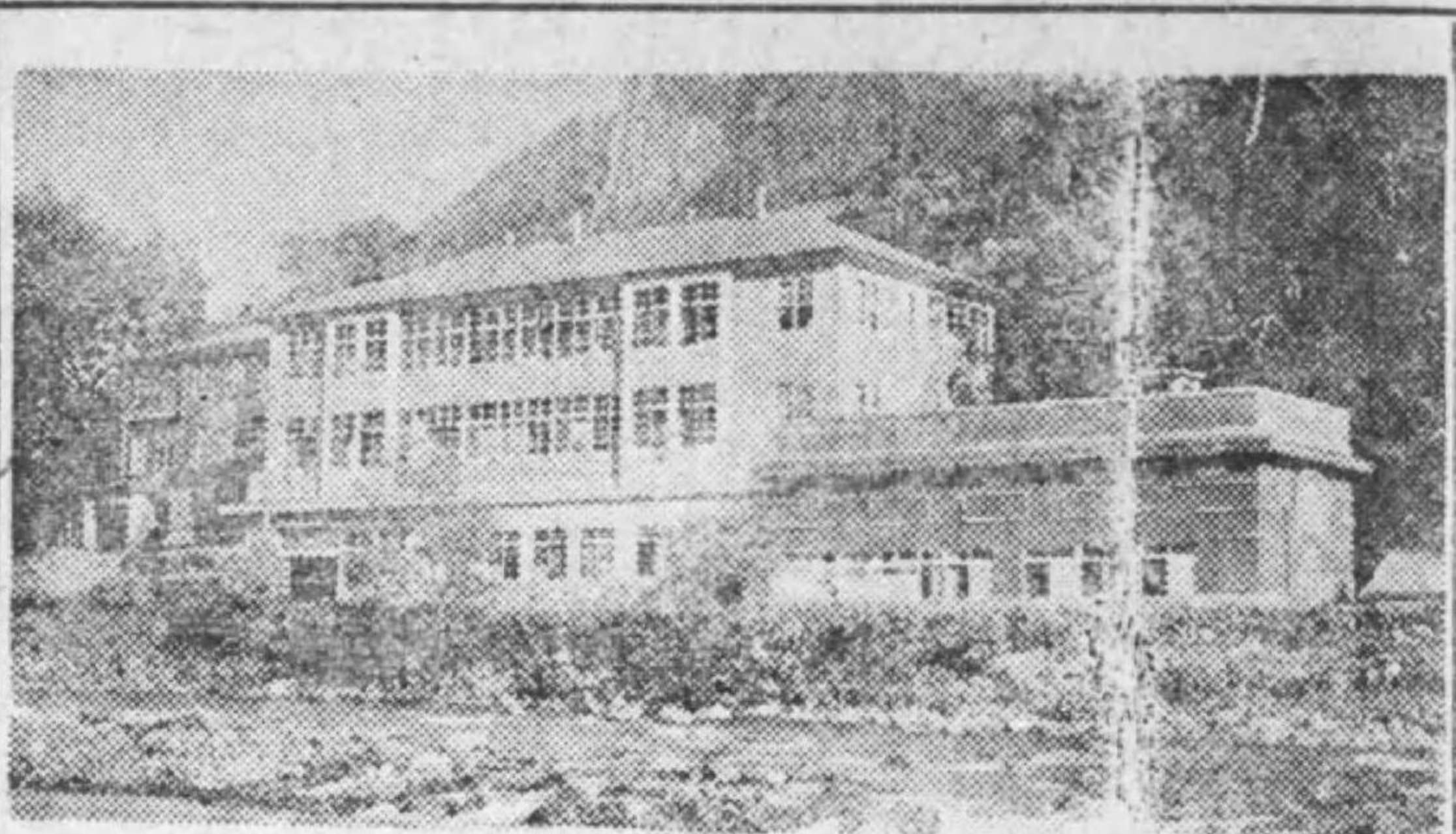
酒の生理學

酒を飲むと何故酔ふか。之は生理學の問題である。アルコールの種類にはメチル・アルコール、ブテル・アルコール、プロピル・アルコール、エチル・アルコール等がある。そのうち一番味と匂のよいエチル・アルコールが酒の中に含

まれてゐる。エチル・アルコールは軽い麻酔薬である。酒を飲めば軽い麻酔にかゝつた状態、即ち酔の現象が現れる。この酔の現象は、中樞神経系統に存在する制止作用を除くから、一般的に興奮状態と考へられる。而してこの制止作用が除かれると意識的には愉快な感情になり、身体的には活動が盛になり新陳代謝も昇進する。

酔の程度は血液の含むアルコール量による。第一期 血液一瓦の中に一ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第二期 血液一瓦の中に二ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第三期 血液一瓦の中に三ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第四期 血液一瓦の中に四ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第五期 血液一瓦の中に五ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第六期 血液一瓦の中に六ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第七期 血液一瓦の中に七ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第八期 血液一瓦の中に八ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第九期 血液一瓦の中に九ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：第十期 血液一瓦の中に十ミリ瓦のエチル・アルコールを含んでゐる時期：以上によれば、酔の程度は血液中のアルコール量に比例するもので、酒を飲んだ量には関係がない。従つて酒に強い人は大酒をすまで血液内のアルコールが増加せず、酒に弱い人は極く少量飲んでもすぐに血液内のアルコール含量が増加

する。換言すれば、酒に強い人はアルコールを胃腸が吸収するのが徐々で、相當の量を飲んで初めて吸収されて血液の中に入つて行くことと、一旦血液に入つたものが速に消化せられ、又速に腎臓から排出せられて、血液内に存するアルコール量は常にさしたる量に保たれる。酒に弱いといふことは、其の人の胃腸がアルコールを吸収する程度が迅速で、然も排泄の極く遅徐なることである。酒を飲んで顔が赤くなるのは、顔面の血管が擴張して血液の量が多量に顔の皮下表面に現れてくるためで、これは交感神経と副交感神経の作用による。酒を飲んで主として交感神経の刺激作用の現れて来る場合は顔面は蒼白くなり、副交感神経の刺激作用が現れて来ると顔面は紅潮する。そこで酒を飲んで顔が赤くなるから弱い、蒼白くなるから強いと言ふことはあたらない。要は各人の消化系統のアルコールの吸収能力と腎臓の排泄能力とで定まる。酒に酔ふと、酒の中に含まれてゐるアルコールが、眼珠を動かす筋肉を麻痺させるので、二つの眼珠が同じ方向に向かないから、兩眼揃つて一物を凝視することが出来なくなる。二重に見えるのは、兩眼が別々に見たことを眼に報告するからである。酔くと急に酒が臭めると言ふ。これも酔程度まで飲酒で、酒のために急に元に戻るためである。二人で酒を飲んで一方が泥酔してしまふと、一方はいつても泥酔すべき量を取らぬで、相手を手を案ずる心が制止作用となつて終まで酔からぬのである。



精神修養 體位向上

大雪山國立公園

温泉 旅館

層雲閣

電話 層雲峽 一番・二番

層雲峽乗合自動車合資會社

傷病兵御慰問に御利用を乞ふ

上川驛前 電話 一三番 旭川營業所 三條四丁目 電話 二二二六番 代表社員 鹽谷忠

土木建築 請負業 荒井合名會社 代表社員 荒井寛三

本社 旭川市一ノ六 電話 二二二五番 支店 東京(大阪ビル) 札幌、室蘭

誇の北海道観光

近代的な味の大ホテル
のデパート



札幌グランドホテル

御宿泊 (御食事別)

洋室 (40室)
浴室無.....¥ 3.50ヨリ
浴室付.....¥ 5.00ヨリ
和室 (11室)
浴室無.....¥ 4.00ヨリ
浴室付.....¥ 8.00ヨリ

○御二人様以上御同室の場合は御二人日より五割増
○御心付は御勘定の一割取

御食事

和洋華定食
朝...1.20 晝...1.80 晩...2.50
喫茶とランチ }地下食堂
おでんと寿司 }1階
グリルとバー1階
關西料理 }3階 日本間
北京料理 }3階 日本間
關西即席料理 } 6階
天ぷら・鍋物 } 7階 日本間
牛壽喜焼 } 7階 日本間



札幌市北1條西4丁目 電話 5001-5007番
振替口座小樽 23627番

七 市

札幌市



明治四十四年八月制定。結晶型を圖案化したる白雲の外観、中央に北斗星を抱いた「札幌」の字を現した大札幌を象徴す。

二 位置及び地勢

北海道の中央に於ける石狩川支川の集水區域が石狩國であつて、札幌は石狩川の沖積層沃野幅二十軒、長さ百五十軒の大平原の西半部凹地帯中に位し、西南には手稻、藻岩の群峰を負ひ豊平川は市の南東を貫流してゐる。四圍は豊平、白石、札幌、琴似の各町村に擁せられ、豊平川の南には凹地帯中の高臺があつて遙かに西南に延長して山鼻圓山の階段地を爲し、幅は狭いが磧礫があつて往昔海底であつ

七 市

たことを偲ばせる。北東は大平野に連なり、北に直線十二軒で石狩灣へ達する。

市街は井然たる區劃を存して、東西五軒七四八、南北八軒五五〇、周圍三十一軒八二五で面積二十九方軒二七四を占めてゐるが全平野であつて坂がない。市の中央で東西に互る幅廣い街道地を大通と稱し、之と交叉して南北に通ずる疏水を創成川と云ふ。町名は大通を基準として街道の順を追うて南北に各何條と稱へ南は三十條、北は二十五條に至り、又創成川から東西に數へて各何丁目と呼ぶので、東は十五丁目、西は二十一丁目に及んでゐる。其の他豊平は一條より十條に至り、一丁目より十三丁目、豊平河岸は一丁目より五丁目、白石河岸は一丁目より六丁目まで、外に苗穂町、樺來町がある。道路は其の幅廣くして廣く、大通は百五米四五、停車場通三十六米三六、其の他は二十七米二七乃至十米九〇で、アカシヤ、イテフ、ナナカマド等の街路樹多く、綠の老樹、ボブラ等其の間に多數點在してゐる。

停車場通のアカシヤ並木は明治十八年札幌縣時代に植付けたものである。氣候温順平均攝氏七度四分で本道の中位に屬し、春季開花の期は例年五月中旬で

梅、櫻、桃、李、一時に研を競ふの盛觀を呈する。

一 沿革

往時蝦夷地統治の中心地の選定を急ぐことは屢々中央の有司間に論ぜられてゐたが、天明五年藤原山田鐵五郎、文化四年近藤重藏、明治元年には箱館裁判所總督清水谷卿等相繼いで探検の結果石狩平野を鎮府の適所として建言し、同二年開拓使を箱館に設置せられた時、東久世長官は施政重要事項中に「石狩に北海全道の本府を建設すべき經營に著手すべき事」と明らかにし判官島義勇は其の任に選ばれて箱館にて長官と別れて同年十月陸路錢函に著して假役所を設け鬱蒼たる原生密林中の札幌を選定し、騎馬にて通ひ、十一月十一、二兩日本府の地區綱張を行ひ、積雪中苦心工營に當つたが、翌三年判官岩村通俊が交代した。開拓假職舎は四年四月落成し、五月東久世長官は札幌

に移つた。其の位置は今の北四條東一丁目に該當する。岩村判官は同月市街を測量して地割を行ひ、創成川を改修し今の碁盤目區劃を定めたのは島判官の設計に則するものと見做される。長官は同年六月一日令して札幌を以て政務總攬の地に統一し、衣冠を著して勅裁社(後の札幌神社)に參詣され此の日を以て札幌が全道の首府となつた。

札幌選定當時の住民は豊平川を挟んで和人が二百餘戸を占めて居り、樺土人も亦僅少であつたが、此の年商賈其の他の移住者を募つて來たので戸數漸く二百餘戸に及び、南市街の開設を爲した。爾來開拓使は盛に土木の工を起し、又自ら各種の工業を營み、學校を設立する等鋭意諸般の施設に努めたので、本道に於ける政治及び教育の中心地として發達し、翌五年十月札幌郵便局を開設、同七年九月札幌小樽間の電信受功、同十二月小樽函館間が竣工したので札幌から小樽迄幹線が連絡した。同十三年三月札幌區役所が開かれ、六月札幌新聞發行されたが二十六號で止み、十一月に手宮札幌間に本道最初の鐵道が開通した。同十四年八月三十日 明治天皇本道に行幸海路小樽に御

六二七

入港、機關車運送の幸く開拓使列車で札幌に御着豊平前に御駐遊はされ、十五年二月開拓使廢され札幌縣を設け、十九年一月札幌縣を廢して北海道廳を置かれ、岩村通使初代長官となつて開發の機運益々熱し商工業も亦奮々勃興し、市街の膨脹、戸口の増殖年毎に著しく、二十四年十一月北海道電燈會社の開業を見る等自治の機能漸く備ふるに至つたので、同三十二年北海道區制の施行を見、翌三十二年二月電話交換局置かれ、三十四年八月北海道タイムス合資會社設立、三十八年八月小樽函館間の鐵道と炭礦鐵道と連結成り、札幌東京間は三十六時間で達し得ることとなつた(現在は二十四時間)四十二年には豊平町、白石、札幌、藻岩各村の一部を其の區域に編入した。四十四年八月、皇太子嘉仁親王殿下行啓あらせられ、大正十一年市制施行、同年、皇太子裕仁親王殿下行啓あらせられた。同十二年都市計畫法の適用、十五年市街地建築物法適用せられ、昭和三年六月札幌放送局開設、同九年札幌村の一部を市に編入した。同十一年十月、今上陛下御統監の下に陸軍特別大演習あり、其の前夜地方行幸あらせられた際、本市に大本營を設け行在所を置かれたのである。

轄する主なる官衙及び銀行會社の本支店を網羅し、從來政治上の首府であり教育上の淵藪地であつたのに加へて、工業地、景勝地として本邦有数の地位を占むるに至つた。サツポロはアイヌ語サツポロベツ「甚だしく乾燥せる河」の義に起つてゐる。初代判官島義勇の碑は札幌市外圓山公園に初代北海道廳長官岩村通使の銅像は市内大通西十一丁目にある。

二 歴代區長、市長二

- ▲區長
1 對島嘉三郎 明三、三、三ー同、五、六
2 加藤寛六郎 明五、六、一ー同、六、四
3 青木 定謙 明五、二、一ー同、六、二、九
4 阿部守之八 大、三、八、二ー同、八、八、〇
5 佐藤 友照 大、八、三、〇ー同、〇、三、六
▲市長事務管掌
前田守治郎 大、二、八、一ー同、二、三、二
馬場 義也 大、二、三、一ー同、三、三、三
▲市長
1 高岡 直吉 大、三、三、一ー同、三、三、三
2 高岡 直吉 昭、三、三、一ー同、三、三、三
3 橋本 正治 昭、三、三、一ー同、三、三、三
4 三澤 寛一 昭、三、三、一ー同、三、三、三

二 戸 口

昭和十三年十月一日現在
世帯數 人口
男 100,818
女 101,155
計 201,973
男 100対 女 100.18
前年に對する増減數三、〇六七(減)

二 財 政

(昭和十四年八月現在)
昭和十四年度歳出豫算
市税附加税 2,216,630
市税特別税 7,315,030
其他稅收人 1,475,100
合 計 11,806,760
昭和十四年度歳出豫算
經常部 1,510,961
臨時部 1,040,840
合 計 2,551,801
特別會計歳入豫算 3,898,833
特別會計歳出豫算 3,253,375
市有財產(昭和十三年十二月現在) 11,236,800,996
一般財產計 101,245,848,826
特別會計財產計 4,925,951,970
雜、寄附金 4,925,951,970
合 計 111,172,799,796
市債借入金元金 1,100,000,000
市債元金償還額 1,100,000,000
市債元金未償額 1,100,000,000 (昭和十四年六月現在)

二 教 育

(昭和十四年八月一日現在)
市内に於ける學齡兒童の數は三萬六千一百一十人で、市立の尋常小學校十六、高等小學校三、計十九校、教員數は各校を通じ五百八十九人、在學兒童數は尋常科二萬七千八百八十八人、高等科四千七百四十二人、計三萬二千五百五十八人、其の一學級當り兒童數は尋常科六十八人五、高等科五十七人八を示し、學齡兒童の就學歩合は百分の九十九・六二となつてゐる。又市立の青年學校は十一校で其の内商工學校、實業女學校各一校があり、外に私立の青年學校が八校ある。尙市立になる高等女學校一校あるが昭和十二年に校舍の一部を残して燒失したので工費二十四萬二千餘圓を以て昭和十三年八月新築した。由來本市は道内教育の中心を以て目せられ、明治八年既に札幌農學校の設立を見、後分科大學となり、綜合大學と

なり、漸次醫、工、理の各部を増設し著々綜合大學の組織を整へ豫科、農學實科、林學實科、土木専門部等を附設し創立以來多數の卒業生を出して本道拓殖の進運に寄與するところ甚だ多い。その他市内に總立師範學校一校、中學校は總立二校、私立一校、高等女學校は總立一校、私立二校及び之と同等の私立宗教的女學校一校、總立工業學校一校、商業學校は私立二校、私立女子職業學校二を存する外各種學校十七校、官公衛の講習所、幼稚園等其の數多く、又本道唯一の神學校としてカトリックの札幌像備神學校がある。圖書館は大學附屬、總立を初め市教育會、各學校等にある。又市内青年團は男子聯合一、加盟團十三、女子一、分團十四、團員男二千四百三十二人、女一千七十五人、計三千五百七人、少年團は男子二、團員二百人あり、孰れも相當の成績を擧げてゐる。市立體育所は明治三十年六月設置した日本體育會北海道支部を大正九年四月市立體育所に改めたもので、劍道、柔道、弓道等の演武場に充つる外各種體育の施設を攻究指導し、陸上競技聯盟、スキー競技聯盟、スケート競技聯盟等の私設體育運動團體との連絡を保つてゐる。

二 社會事業

市營の社會事業の主なるものは公益質屋、診療所、靜療院、療養所、診療院等にしてその成績は孰れも見ざるべきものがある從來社會事業だつた職業紹介所は國營移管となり、又公設市場は市役所の機構改革に依り所管が厚生課より經濟課に移され同時にその經營は一般市場として行はれてゐる。公益質屋は工費一萬圓を以て昭和四年十月設立以來庶民金融機關として大いに利用されてゐる。十三年度中の成績左の通り。
貸付口數 二、〇三三 金額 三、三三〇,〇〇〇
貸付口數 一、〇一七 金額 一、八三〇,〇〇〇
貸付口數 三、〇五〇 金額 五、一六〇,〇〇〇
元利 六、一六〇,〇〇〇
札幌療養所は結核豫防法に依り昭和五年十月市外琴似村に工費十二萬四千圓を以て設立、取扱量の増加に伴ひ十三年九月増築した。
收容定員は八十五、昭和十三年度取扱患者數は無料患者延人員一萬四千四百十四

人、有料患者延人員二千六百三十一人、委託患者延人員四千四十人、計二萬一千八十五人。

診療所は工費三萬圓を以て昭和三年十月開所以來輕費の診療を行ひ入院及び外來患者を取扱ふ外往診を爲し、夜間も開業してゐる。
病室十一、收容定員六十八、昭和十三年中の取扱患者は外來延人員二萬一千九百二十人、入院延人員二萬一千八百八十三人、計四萬三千七百零三人を數へてゐる。
靜療院(精神病院)は市外豊平町大字平岸村に工費二十萬圓を以て昭和九年十月設立されたが、風光明媚と設備の充實と相俟つて快癒率の高いことは全國有數である。
收容定員百四十一、昭和十三年度の取扱患者數は前年超百二十人、入院二百六十三人。
市立圓山傳染病院は明治四十四年設立以來傳染病療養に好成績を擧げてゐる。
病床六十四で昭和十三年中の取扱患者は延人員八千四百十六人。
診療院は昭和十三年六月七日

厚生大臣より花柳病豫防法に依り設置を命ぜられた花柳病専門診療院で十四年二月七日開院せるが、開院當日失火で一部燒失復舊の上二月二十日再開院、接客婦人を始め一般市民の診療にも當つてゐる。

十三年度中の患者取扱數は一千六百七十六人である。
窮民救恤(昭和十三年度中)
救護法に依るもの
生活扶助 人員 金額
助産 二名 三、四四
助産 三名 八、四四
移 送 一名 五、三三
移 送 一名 三、三三
母子保護法に依るもの
生活扶助 人員 金額
養育扶助 一名 一、六三
養育扶助 三名 六、八五
醫 療 三名 六、八八
移 送 一名 三、三三
市救助現程に依るもの
移 送 一名 三、三三
移 送 一名 三、三三
細民救済(昭和十三年度中)
計 人員 金額
計 七 二、二二

世帯数 六名 家族数 三六
銃後援後は銃後奉公會が置かれ長期戦に對應益々保護慰藉に努め、出征若しくは應召軍人をして後顧の憂なからしめてゐる。十三年中の扶助状況次の通りである。

Table with 2 columns: 世帯数 (Household Count) and 家族数 (Family Count). Rows include 定期扶助, 臨時扶助, 其他扶助, 計 (Total).

軍事後援施設として銃後奉公會が軍事後援相談所を設け、各種の相談に應じてゐるが、十三年度中の成績は次の如し。

- ▽扶助及び援護手続九〇六
▽借家問題三四〇
▽戸籍整理五八
▽家業の維持維持七六
▽子弟の教育一九三
▽就労斡旋八八
▽その他一、〇〇六
▽計二、六六七

この外市内には有志の組織した方面事業助成會があつて法令の適用範囲外の貧困者、疾病者等の救済並に教化、防貧施設を

行つてゐる。

又私設團體としては恩賜財團濟生會診療所、北海道社會事業協會附屬札幌病院、公教同窓會、札幌無料宿泊所、愛隣宿泊所、札幌養老院、札幌青児園、札幌保育園、苗穂養育園、隣保團及び少年の感化を主とする札幌恩賜財團、奉天保護を目的とする北海道海濱青年會、札幌大化院、貧兒の教育を併せ行ふ道立夜校其の他官立野原夜校あり、市は之等に相當補助金を交附し、助成に努めてゐる。

二方面委員

方面委員は大正十一年四月道廳に於て設定せる北海道保護委員規程に基づいて設置され、時代の進みと共に漸次擴充強化を圖り、昭和十四年九月現在に於ては全市を十一方面に別ち委員定員百三十名(内婦人委員二十二名)とし、各方面毎に正副常務委員各一名を配置、常に生活状態調査をなし、救護及び救助人事相談、兒童保護、教化事業、社會施設の促進等諸般の社會事業に従事、市民の福利増進に専念努力してゐる。

如くである。
▽生活扶助九〇七
▽醫務助産一、一六三
▽生活扶助二〇〇
▽埋骨五四
▽兒童保護三四
▽相談指導三五八
▽戸籍整理八四
▽職業其他紹介幹旋三二二
▽計二、九三二
小賣市場は大正八年創設以來六箇所に増設され、昭和十三年末に於ける店舗數九十一、同年中の總販賣高六十七萬四千七百圓九錢、一店舗一日平均賣上高二十一圓六錢を示してゐる。尙薄野市場は昭和十一年に於て工費三萬五千餘圓を以て改築した。

二職業紹介

市營であつた札幌職業紹介所は昭和十三年七月一日を以て國營移管となり、一般部は狸小路八丁目民家を借入れ改造の上開業、また労働部は労働紹介所として大通東八丁目に開業した。

Table with 2 columns: 求人數 (Job Seekers) and 就職者數 (Employed). Rows include 少年職業紹介成績, 婦人職業紹介成績, 日僱労働紹介成績, 労働官制維持費支拂, 二市役所首領者.

二市會議員(四〇名)

(昭和十三年十月三日改選、十四年八月現在)

議長本間久三、副議長石坂中次郎、竹森竹次郎、三浦才三、中山豊士、金野誠介、澤田利吉、齋藤義太郎、中垣内輝、職務吉田豊吉、梅津藤吉、井川伊平、村川嘉一、高田富興、村七六松、佐藤一二、岡田往一、石川剛三、村岡勝恵、菅原謙之助、有部多三郎、香藤俊次、吉野勝次郎、上口外吉、小笠原楠彌、津沼孝威、柏野忠八、添田宗源、村田不二三、關根倫次、谷口善作、淺野一夫、小谷義雄、福島利雄、許七善太郎、佐野春吉、小山良明、佐藤介治、正木清

二商工會議所議員(四〇名)

(昭和十一年二月改選、十四年九月現在)

會頭大澤武太郎、副會頭新田啓次郎、小笠原楠彌、村川嘉一、菅原謙之助、上井源藏、松岡諒吉、小林禮介、上口外吉、田井直治、藤石中、上田良次、青木榮吉

二方面委員(定員一三〇名)

赤塚元平、關根仙次、竹内勤七、村岡勝恵、星野健作、白井喜藏、坂井新三、小川常吉、齋藤幸太、小竹文次郎、松本菊次郎、石垣開一、向島清一、勇崎健次郎、岡田往一、中澤隆太郎、富澤長吉、南多三郎、梅津藤吉、佐久間安作、藤安五郎、竹野竹次郎、岡本善雄、數井善吉、高城乙三郎、金子久吉、金野誠介、小笠原榮治

二方面委員(定員一三〇名)

藤石中、上田良次、青木榮吉、山藤治、吉野勝次郎、宮澤幸福、田中博

函館市



制定の年月不明。函館は巴形をなせるを以て市の紋章とせるもので、同様の圓筒を意味する。函館といふ地名の縁起は、箱形の館といふところから由来したものであつて箱館と稱へられたるが、明治二年國都劃定の

時から函館と改められたのである。箱館と呼ばれる以前は、アイヌ語でウシヨロケシ(灣の端の意)と呼ばれ、更に之が轉訛してウスケシとなり、舊記には之を宇須岸若しくは白岸と書かれてあつて、それが地名として可成り長期の生命を保つてゐたが、足利時代の中葉に津輕、南部に兵亂起り、津輕の安東氏敗戦して松前に渡り、幾何もなく亦享徳三年(紀元二千百十四年)安東氏の臣武田信廣、相原政胤河野政通が幼主を奉じて遁れて蝦夷島に渡つたが、康正二年(紀元二千百十六年)安東氏は更に秋田に引揚げるに際し、臣下を各地に分封して後事に當らしめた。この時は既に河野政通が宇須岸に居つたので、茂別(現在の磯部茂別村)にあつた下國家政を輔けて現在の函館灣を繞る一地域の治安に當らしめた。そこで河野政通は宇須岸に定住

することとなつたので此處に館を築造したが、その形が恰も箱の如しといふところか、いつとはなしに箱館が地名として呼ばれるやうになつた。

北海道和人の定住した最も古い史實は現在の磯谷郡から函館市へかけての津軽海峡に面する一地域であつて、既に鎌倉時代に奥州藤原泰衡の一族が幕府の攻略に導き、海を渡つて蝦夷島に上陸したといふに始り、日蓮の高弟日持も函館附近より松前(現在の函館市)に多くの史跡を残してはるが、和人としての集團的移住は前記の安東氏一族武田、相原河野氏等の渡來が最も古い。

舊記によれば、河野氏の箱館以前に於て若狭より毎年三回宇須岸の港へ商船が來航し、蝦夷開墾の家の柱に繋ぎ交易をしたといふから、函館の経済的行動は既にこの當時から始つたものとみられる。徳川時代に入り八代吉宗の寛保元年(紀元二千四百一年)箱館番所(現在市内)を箱館に移し、船泊旅人出入の検査及び徴税等を行ふに至り人口も次第に増加し、天明五年(紀元二千四百四十五年)の頃は戸數四百五十餘、人口二千五百餘を算するに至つた。寛政十一年(紀元二千四百五十九年)頃幕府は東蝦夷を直轄區域とし、各漁場に於ける直割の方法を改めてその産物は之を箱館に於て拂ひ下

けることとなつたので、貨物の集散儀に増加し船舶の來往繁く、箱館の経済的行動は愈々本格的となつた。嘉永六年(紀元一千八百三十二年)幕府は箱館に奉行所を開き、更にその翌年より蝦夷地一帯を幕府の直轄とした。五稜郭砲臺、辨天砲臺等を築造して外艦に備へたので蝦夷地政治の中心地となつたと共に漸く市井の形態を呈へ來つた。箱館は、安政六年(紀元二千五百十九年)貿易港として開港するに至り商業地として發展を極むるに至つた。

明治元年には有名な五稜郭戦争があつて市街地も兵火に罹り被害を蒙つたが、翌二年平定と共に漸次復興し、三年には郵便電信の事務が開始され、同九年には明治天皇奥羽地方御巡幸の御特に行幸を仰ぎ、上下齊しく聖恩の厚きに感激した。同十三年に至つて函館區役所が置かれ區會の開設となり、三十二年北海道區制施行せらるゝ頃には戸數一萬四千餘、人口八萬二千餘に及び、更に大正十一年市制が布かれてより人口二十三萬餘を算する今日の函館市が築き上

げられ、全國有數な都市として内外に認めらるゝに至つた。地勢と風位の關係上度々の大火に見舞はれたため、これに刺戟され水利、消防の施設も全國屈指のものとなつた。昭和九年三月二十一日、風速實に四十三米といふ稀有の大暴風中又もや災禍の襲ふところとなり、二萬六千餘の戸數と二千餘の人命を奪はれたが、全國的同情と、政府の積極的助成と、市民の精力的意氣とは「函館復興」の渾然たる一大計畫を樹立し、總經費六百餘萬圓を以て大火の直後より再び焼けることなき更生函館の建設が營まれ、新都大函館の建設へと邁進しつゝある。

昭和十三年末に於ける函館市の世帯數は四萬一千七百五十一人口は男十二萬一千五百七十七人で前年末に比し六千二百九十六人の増加、女は十萬九千三百六十七人で前年末に比し六千二百

十二人の増加、合計二十三萬八千八百四十八人で前年末に比し一萬二千四百十八人の増加となつてゐる。これは湯川町を合併したためであるが、一世帯あたり人口は男は二・七九人、女は二・五〇人、合計五・二九人となつてをり全道第一位である。

一財 政二

昭和十四年度當初豫算は二百八十八萬三千圓にして歳入歳出其の他の状況次の通りである。

- ▲歳入の主なるもの 役所費二四六、四五七、土木費六六、一五八、教育費六八五、〇四八、衛生費二二九、八五八、社會事業費五九、五二四、警備費一五三、六六二
- ▲特別會計 水道費七三〇、三〇四、復興事業費七一、〇九〇、函館病院費

四四〇、五二九

二湯ノ川町合併二

豫て要望されてゐた函館市と湯ノ川町の合併は昭和十四年四月一日を以て實現し、これによつて函館市は一躍人口二十三萬八百八十四人となり、全國第十二位の大都市となつた。この合併により湯ノ川町多年の懸案であつた上水道敷設、教育、衛生等の諸施設が促進されるものと大いに期待され、市としても都市計畫その他の諸施設を統一し一路大函館市の建設に邁進してゐる。なほ合併實施と共に四月一日より舊町役場に函館市湯ノ川出張所が開設され、元辻松町長は初代の所長となつた。

二歴代市長二

- 臨時代理 1 西岡 實太 大二、八一、一、同二、三、三
- 2 小濱 次郎 大三、七三、同三、八、七
- 3 佐藤 三郎 大三、一、同三、二、三
- 4 木村 英俊 昭四、一、六、同四、八、七
- 5 坂本 森一 昭四、三、七、同三、三、天
- 6 齋藤 一郎 昭三、五、六、現 在

二市役所首腦者二

市長齋藤一郎、助役河部平三郎、収入役宮本一郎、衛生課長井上金之助、社會課長川南三郎、總務課長持木金太郎、稅務課長三浦國夫、産業課長兼港灣課長羽賀果、兵備課長兼警備課長三、市會書記兼警防課長河井一、教育課長田中三郎、視學工藤亮造、土木課長兼都市計畫課長木島正輔、水道課長吉谷一、湯川出張所長辻松新左衛門、函館市復興事務局長木島正輔、同庶務課長持木金太郎、同工務課長坂垣、市立函館圖書館長岡田健藏、市立函館病院院長山崎正次、市立函館療養所長伊藤晃彦、市立木病院長富田恭、市立康生病院長櫻野純夫

二市會議員二(四六名)

(十四年九月末現在) 議長登坂良作、副議長菊池洲二、上出源次、長岡清三郎、恩賀徳之助、三上嘉六、折居義一郎、小河勇松、郷塚彌三、杉崎那作、櫻井水吉、河合繁、大黒三三郎、田村芳信、富永格五郎、鎌田武造、清水一郎、並坂照次郎、齋藤忠、寺尾庄藏、高橋大、花光春之助、山崎松次郎、大島寅吉、白木豊壽、厚谷厚、出村喜作、西島儀助、高木直行、島井小次郎、秋尾浩、入江精一、森信、岡村春風、大坪孝一、田代正治、木島松藏、高村善太郎、小野將造、高瀬重之、野崎竹治郎、木内幹、

成田健次郎、坂田作治、三瓶萬吉、岡田幸助

二函館の新市議二

函館市との合併による湯ノ川地區選出市會議員二名増員の特別選挙は九月二十日執行され、二十一日開票の結果次の如く當選。

投票數八百三十四、有效八百十八、無効十六。

當選 三百七十二票 坂田 竹治 二百四十四票 三瓶 萬吉

二商工會議所議員二

(十四年九月一日現在) 會頭岡本康太郎、副會頭齋藤三郎、小黒信一郎、林康三、片桐由男、神永貞助、並坂照次郎、石畑實治、竹内新太郎、渡邊博助、有賀松夫、大坪孝一、石塚彌太郎、廣田元次郎、牧村久廣、小杉啓太郎、黒田久、水野一策、今井久吉、桶正義、寺尾庄藏、高村善太郎、辻才次郎、佐野鎮次郎、澁谷善吉、山崎松次郎、杉崎那作、河合繁、岡野作、佐々木忠七、三上純次、水間生太郎、青勇太郎、堀文吉、酒谷小三郎、木島松藏、杉村大造

二方面委員二

【第一方面區】石川吉太郎、柳澤福郎、熊本官作、黒坂直次郎、佐々木岩郎、高

原藤吉、宮田正作、能登谷彌太郎、和田治五郎、島海武夫、齋藤五一郎、濱邊堅治、小川彌四郎、堀川常次郎、木内幹、佐谷マサ、木内優子、高橋ワカ

【第二方面區】山田竹次郎、佐々木耕作、井上利三吉、森久平、安達新作、石井東一、伊藤時百、高橋善吉、佐藤常治、齋藤秀二、四ツ柳亮策、古西直藏、石戸重三郎、杉村タミ、間瀬いよ

【第三方面區】大黒三三郎、木島松藏、前岡木松、日里徳次郎、岡松源右衛門、岡部多助、中根朝造、鶴田長吉、和田芳治郎、加藤久太郎、安達登次、石塚彌太郎、宮崎善四郎、古川榮八、五香他次郎、齋藤子、井ヒタツエ

【第四方面區】杉崎那作、藤山四郎、鈴木定衛、酒井福十郎、小沼景義、菅谷健司、櫻庭作治、高橋藏松、大島留吉、外山はつ、神永カセ

【第五方面區】坂井與三三郎、栗西伸治、進士正、木村友七、大沼平五郎、久慈慎一郎、輪島良作、小林房太郎、益谷水吉、前田健次郎、西島儀助、大西茂次郎、寺谷庄太郎、及能千松、合田きよ、中田ヨシ

【第六方面區】濱田健之助、清野儀之助、直理文之助、高橋登次郎、平田水吉、澤井房記治、手坂盛一郎、松原良夫、青木京一郎、藤浪新太郎、竹浦重太郎、遠藤幸次郎、石山キヨ、小幡ミツ、渡邊キヨ

【第七方面區】石野廣藏、秋尾清、林與一郎、島野政治、工藤吉蔵、宮田誠一、岡本藤太郎、山上從市、三谷四季、松谷初喜、只野寛、高木直行、前田正三、山崎マヂノ、久保トヨノ、齋藤ソノ、磯前ミサヲ

【第八方面區】宮崎大四郎、川内源吉、佐々木術松、草野芳男、野田元次郎、片桐辰二、岩田富次郎、石澤太郎、岡島徳松、長岡清三郎、外山治平、木村定藏、佐々木ツ子、伊藤ミツ、高田リツ

【第九方面區】渡邊源太郎、小川勇松、竹林中次郎、奥村泰八、熊谷一郎、高橋友次郎、竹田作彌、佐藤銀三、田原秀吉、川島善藏、堀野千代、山岸コメ、伊藤梅菊地忠男

【第十方面區】石田岩太郎、小池信次郎、廣瀬幸吉、工藤多右衛門、小林初藏、坂田竹治、松浦文蔵、立花喜代作、渡部藏藏、笠井卯之助

小樽市



明治三十四年十二月二十八日制定。外郎は六花の雲を模し内帯は小樽の頭文字「小」を圖案化するもの。

一 沿革

アイヌ語のオタルナイ(砂だ)

らけの澤)これが小樽の語源であり前名である。中古のころアイヌ族が和人の壓迫にたへかねて奥羽から渡島半島を経て漸次奥地へ移動するにおよび、この地にも水草を返うて部落が形成された。今から百三十年前、即ち文化四年、幕吏近藤重藏が手宮港を西蝦夷第一の要港なりと幕府に建言したことに開發の端を發してゐる。このやうに小樽市の港灣としての素質は古くから認められてゐたが、松前藩の政策上、文化の曙光を仰ぎ得ず埋れてゐた。「忍路高島およびもないが、せめて歌葉磯谷まで」この有名な追分は松前藩の政策によつて女人の渡航を禁じたことにより後に残された女人の心情を唄つたものである。その後露人の北海侵略策に對抗すべく幕府は安政二年蝦夷地を直轄し警備をかため、移民を招來して大いに富源の開發に努力した。この開發政策は埋れてゐた

小樽をして今日あるの素因をなしたものである。かくして明治二年オタルナイは小樽と改稱され今日への一步を踏出した。十三年には小樽札差間の鐵道が開通し手宮に鐵道が架設され、海陸の連絡漸次整ふとともに集積物は増加し、それに伴つて銀行、會計、倉庫その他の經濟諸機關も増設され、二十七年には取引所、二十八年には商會會議所の設立をみるに至つた。三十年五月には防波堤の築造に着手し大正十年竣工、その間三十二年には區制がしかれて自治體となり、翌三十三年には開港場となつた。三十七年小樽商會間の鐵道全通し、三十八年小樽太がわが區となるにおよんで運輸交通の便著しく増大するとともに商標はますます擴張され、北門における一大商港として内外に注目せらるゝに至つた。大正十一年八月には市制を施行、また大正三年著工した市港灣の修築は、鐵道第一期工事の昭和七年海陸連絡設備の完成を見小樽の面目を一新するに至つた。

線を以て港界とした天然の良港で、其の水面積二百七萬坪、防波堤内百三十萬坪、本邦有数の港灣である。 港灣設備は逐年充實して延長一里に互る海防波堤、之に附設した燈臺を始め汽船埠頭、高架棧橋、物揚場、水陸貯水場、貯炭場、上屋船渠、船舶給水石炭積込、倉庫地帯等海陸連絡の設備が整備されてゐる。鐵道省が上級の貨物と約八百萬坪の巨費を投じて著工中の鐵道省立地の諸設備は昭和十二年三月竣工を告げ、近代科學の粋を誇る諸機械は港小樽の輪郭を益々大ならしめてゐる。而して吞吐貨物は年一年と激増しつゝ、あるのでさらに修築の工を施し、拓殖計畫に依る突堤式橋形埠頭三基の築造を行ひつゝあつて、今や名實共に其の國際港小樽の完成に邁進してゐる。

二 財政

▲昭和十四年度豫算 一般一、九二九、五一九圓 特別一、四〇八、五二九圓 ▲基本財産 五八、五〇五圓 基本財産 四八、四〇〇圓 小學校同 四八七圓 窮民救助 八八圓 慈善事業基金三一圓 火災準備金 九、二一九圓 合計三、三三八、〇四八圓 ▲市債 數 借入額 現在額 一般會計 元 二、八六、六〇〇 元、三、〇九、九元

二 商工會議所議員

(十四年九月末現在)

合頭杉江仙次郎、副合頭松川嘉太郎、藤原外吉、林松藏、須川外次郎、柴野仁吉、藤田三郎、井林清介、前川傳次郎、河路高吉、山本廣藏、兼田清吉、稻葉林之助、白方興次郎、池田市造、村山善生、藤井平作、富岡重次郎、進藤好照、恒川三三、荒井規、酒井正七、新谷専太郎、内藤松之助、木岡勘次、猪股孫八、廣谷敏藏、佐藤吉平、始野喜太郎、土肥順太郎

二 方面委員

本間勝太郎、山本長造、小池木藏、北原郡治、廣本水太郎、小林初太郎、澤田信太郎、小林安太郎、前野留治郎、山木力松、山下巳之吉、近藤トミ、浦田長吉、坂田政義、竹居田新三郎、梅島鏡太郎、大竹徳太郎、石垣時太郎、三谷清松、東清藏、中井榮松、星野ちか、高作作、西浦寛次郎、清水吉藏、松村興三吉、與水伊代吉、吉田和吉、山崎自治、三上市太郎、鎌倉辰二、遠藤嘉造、吉川秀松、南野三郎、白勢清藏、大岡泰三、荒川市松、橋田芳明、八木豊吉、丹保忠三郎、佐久間島五郎、吉田次作、福田照治、金子藤三、中村松次郎、渡邊吉太郎、新妻明資、堂城秀明、竹内威次、堤廣吉、品田登士、小林吉五郎、中川七造、杉江米吉、荻野

旭川市



明治四十四年六月二十九日制定。北斗星で象どり中央に赤色日章を配し旭川を表徴す。アイヌ語のチユパ「太陽」ベツ「川」を圖案化するもの。

一 沿革

旭川市は石狩國上川郡に在りて東經四十二度二十二分、北緯四十三度四十七分に位し、東は永山村及び東旭川村に接し、西南は忠別川を隔てて神居村並に神樂村に隣し、北は東鷹栖村及び鷹栖村に界し面積一方里三

九六四、周圍六里三十五町四十一間にして廣袤東西一里三十六間、南北一里二十九町三十一間である。

本市は其の語源に於ける、如くチユツベツ(水源東方地の出づるところ)に散在せるアイヌに依つて開拓され和人の此處に足跡を印せるは寛政十年徳川幕府日付渡邊久藏、使番大河内善兵衛、勘定吟味渡邊三藏等石狩門等を蝦夷地に派した際部下三名に命じて天鹽川を溯らしめて石狩川の上流上川の地に入つたのを嚆矢とす。次いで文化四年近藤重藏幕府の命を受け本道西海岸を巡歴し、天鹽川を溯つて上川に入り、踏査を遂へて江戸に歸るや將軍家實に蝦夷中央道路の開闢を進言せり。然もこれと前後して開宮林蔵の踏査あり、文化八年にはアイヌ對交易場所たる石狩元場所請入村山喜右衛門此の地に來りてアイヌの獵獲物と交易せり。更に安政四年石狩在勤足利松田市太郎上川に至り石狩川を溯つて旭岳を踏破、或は松浦武四郎の上川踏破に依つて上川開拓の聲が告げられた。斯くて明治五年開拓使の命を受けた高畑利宣上川土人の戸口に教育其の他の生活状態を調査した。此の報告書に非常な興味を感じた英國公使パークスは自ら探險を政府に申請明治六年夏、軍醫ホルトと共に上川の探險をなさんとしたが、パークスは横濱か

水道會計 一六、七九、六〇〇 六八、〇〇〇
港灣會計 一、三九、六〇〇 三、七〇、〇〇〇
都市會計 五、五〇、〇〇〇 五、〇〇、〇〇〇
病院會計 二、八六、〇〇〇 六、〇〇、〇〇〇
合計 六、八〇、〇〇〇 二七、〇〇、〇〇〇

一 市役所首腦者

(十四年九月一日現在)

市長河原直孝、助役岡崎幸吉、收入役會計課長小林肇、教育課長小野橋平、産業課長藤谷竹藏、稅務課長菅野力藏、兵備課長出崎善吉、厚生課長渡邊藤七、庶務課長佐藤美人治、秘書課長平尾吉之助、土木課長兼港灣事務所長山岡信吾、水道課長松信治夫、視察課内車雄、商工技師荒朝、港灣技師松村英夫

一 市會議員

(四〇名)
(十四年九月末現在)

議長新谷専太郎、副議長吉田善太郎、林貞四郎、田中市太郎、坂田政義、辻喜四郎、頭崎富藏、奥村泰吉、鈴木源重、野中伊之吉、竹田助太郎、松川嘉太郎、前島八郎、本間保太郎、佐守善七、秋山常吉、藤原外吉、荒川清藏、市村市郎、内藤松之助、眞島倉吉、西川岩吉、岸邊大治、坂吉次郎、杉江仙次郎、藤室次郎、井林清介、林松藏、高橋敏、紫山澤吉、高橋源次郎、藤田幸彦、寺本寅作、木村松太郎、桑原喜切、西浦又吉、丸山正義、島野一二、岩谷靜衛、田邊新一

らの急電に接してホルドのみ來道、アイ...

され、川上操六中將の視察、市...

大正三年には區制を布き、大正十一年...

旭川市は郊外に水田或は蔬菜類...

土木建築用機具製造...

明治二十五年一月札幌警察署旭川分署...

旭川市は郊外に水田或は蔬菜類...

▲町長 1 本田 親美...

▲市長

- 1 岩田 恒 大二三、六五、昭三〇、五...

一 旭川市雜錄二

▽昭和十三年十一月國策パルプ會社の第...

二 市役所首腦者二

市長足立富、助役(産業課長兼務)田中節...

二 市會議員二 (三六名)

議長前田善治、副議長長田岩吉、佐藤門...

二 商工會議所議員二

會頭岡田誠、副會頭松家同次郎、岡野...

二 商工組合二

(括弧内は事務所所在地及び理事長)...



室蘭市

昭和十二年一月一日制定。六ツのロ(ムロ)は工業都市の表徴...

二 沿革

市名室蘭の原名はモルランナイ、繪鞆會所の附近を流れる小...

藩主の直領とし、運上屋を今の輪崎におき、またその小部分であるテバイベツはオサルベツ、ウスとらに有珠場所に属し、藩士は給地で運上屋をムカにおいた。その後幕府が東蝦夷地を直轄するやうになつて寛政十一年蝦夷奉行これを管し、運上屋を會所と改め、輪崎會所は現在の元室蘭に移され、有珠場會所は文政四年またまた松前氏の領地となり、安政二年再び幕府の直轄に歸じ、恵山御より別荘までの藩領を南郡藩に命じ、同六年南郡藩の統治に歸した。たゞモロランのみは箱館奉行が管轄してゐた。

かくて明治元年箱館裁判所、箱館府相ついでこれを管し、翌二年今の室蘭市の地域は室蘭郡に編入され、石川源太(舊仙臺藩の一族)の支配下におかれ、四年開拓使の所管に屬した。大正七年二月一日従来の室蘭町、輪西町、元室蘭町、千舞籠村即ち室蘭郡の全地域を一行政區劃となし、同十一年八月一日市政を實施した。

二戸口と廣表二

室蘭市の人口は維新前は殆ど算するに足らず、明治三十年千

舞盤、元室蘭に農民の移住を初とし、同五年室蘭渡海場の決定により移住者を招來、爾後戸口年と共に増加、同二十年、二十年の二回に互り屯田兵の移住あり、同二十五年室蘭線の開通同二十六年室蘭、函館、青森間の定期航路の開始、同二十七年特別輸出港の指定により益々戸口の増加を來したが、急激な増加を見るに至つたのは同四十年日本製鋼所並に輪西製鐵所の創設による結果で、昭和十三年十月一日現在調査による戸口は一萬五千二百八十八戸、八萬六千七百七十八戸で人口の増加著しく、十四年末には早くも十萬に接近した。

今や日本製鐵の一大増産計畫に基づき輪西製鐵所の増産計畫に日本製鋼所の増産計畫等により劃期的膨脹時代に際會、昭和十五年度末までに約五萬の人口を増加し、少くも一躍十三萬乃至十五萬の大都市を建設せんとしてゐる。市の廣表は東西三英里、南北三英里、面積四六、四〇、〇〇〇平方メートル、面積四万九二二である。

一港 二

室蘭港は市全體が包む灣内にあり、港の入口は西北に向かつて開き内浦灣(噴火灣)に面する。其の幅約一里、東西一里二十六町五間、南北一里十町四十間、港内面積三百六十一萬二千餘坪の廣大なもので、横濱、小樽、函館等の二倍に當り、文字通り天然の良港である。

燈臺は地球岬燈臺と大黒島燈臺とがある。地球岬燈臺は室蘭の代名詞となつてゐる。太平洋に面し突出した斷崖上に一等燈臺がある。石油蒸發白熱燈三十萬燭光、光達二十五哩半の遠き

一財 政二

室蘭市昭和十三年度當初豫算は一般、特別兩會計を通じ三百十三萬八千九百三十六圓で、前年に比べると實に百四十四萬五千餘圓の膨脹である。これは急激な市勢の發展に應へる水道施設其他各種の土木事業の影響で、この財源は市税と自然増収とによる。市税は大衆税である戸數割を徵收せず家屋税による間接税制度によるが、政府の税制改革に伴ひ市税の改革を如何にするか注目されてゐる。

市税率は本税一圓に付所得税十六錢、營業收益税七十三錢九厘、家屋税私法人十圓、個人三圓五十錢、各會計豫算の概要は次の如くである。

Table with financial data: 一般會計 1,151,757.00, 水道會計 1,100,000.00, 病院會計 1,100,000.00, 公益質屋會計 1,100,000.00, 普通基本財産會計 1,100,000.00

Table with financial data: 學校基本財産會計 5,000,000.00, 恩賜基金會計 5,000,000.00, 慈善基金會計 5,000,000.00, 國民資金會計 5,000,000.00, 病院基金會計 5,000,000.00, 火災復舊資金會計 5,000,000.00

Table with financial data: 市立病院會計 1,000,000.00, 公益質屋會計 1,000,000.00, 公有財産會計 1,000,000.00, 預金 1,000,000.00, 有價証券 1,000,000.00, 土地 1,000,000.00, 建物 1,000,000.00

躍進をた躍進の室蘭市は目下所謂建設時代で、膨脹市勢に伴ふ諸施設のため経費も自然膨脹の餘儀なき状況にあり、昭和十三年十月現在市債總額は二百七十八萬八千八百六十六圓、前年と比べると百七十七萬三千餘圓の増で一戸當り百八十二圓七十三錢の負擔となる。一方市有財産も好況に伴ひ土地家屋の價格は著しく昂騰、總額三百三十四萬七千餘圓に上つてゐる。これを前年と比べると高等工業の敷地寄附を初め各種の敷地用地に提供したものであり、十六萬一千七百餘圓の減で一戸當り二百十九圓九十錢に當り、内課は次の如くである。

政府が十三年秋非常時下生産擴充の國策として全國に七校の高等工業の設立を發表するや、高工業地としての室蘭はその最適地として猛運動を開始、市會、商工會議所を初め市民一致協力期成同盟を結成如何なる犠牲も辭せずと決議目的達成に邁進遂に最後の榮冠を獲得した。これに要する費用總額百五十餘萬圓、日本製鋼所、同製鐵所計五十萬圓を初め地方有力會社、工場事業家の寄附を仰ぎ市も亦四十萬圓を寄附創立を協賛した。

天然の良港と石炭の集散に伴ふ海陸連絡地としての物資の集散多く、膨脹、日高地方への商權も漸次擴張されつつあり、殊に近年軍需インフレーションの影響を受け各産業の活況著しく、生産額も五千萬圓を超える盛況を見せ

- 市役所首腦者: 市長土居通次, 助役横田一二, 庶務課長大發敬二郎, 財務課長岡村金太郎, 學務課長中川助五郎, 兵備課長藤岡治夫, 土木課長池邊盛松, 水道課長長初島貞江, 都市計畫課長森良介
- 市會議員: 議長田中義高, 副議長徳中祐満, 佐々木英雄, 島義治, 大野孝英, 村田佐一郎, 甲村伸二, 結城竹治, 加藤藤太郎, 安彦正雄, 關來助, 美勇三, 近藤光治, 吉本謙吉, 岡原敬一, 吉川市次, 三門淺吉, 織田將一, 有馬良助, 古道直治, 富田作市, 小林登三, 高橋多々勢, 山田守一郎, 三枝守壽, 宇賀金男, 添田龍男, 西村寅松, 猪狩孫三郎, 山中日露史, 田邊虎三郎, 大岡助太郎, 藤田次郎, 山口定吉, 櫻庭數男, 大友文三郎
- 二方面委員: 第一方面 橋立辨次郎, 瀬戸浩次, 松岡兼次, 吉田金治, 葛西清人, 石原榮一, 小林登三, 木村富吉, 下村學

善次郎、川原長藏、久保田修吉、高村志良、澤見和三郎、森原伊平、風間千代吉、久保花五郎

釧路市



中央の輪は「シロ」を意味し、星は北海道をかたどる。

沿革

凡そ三百年前松前藩では釧路川上流クツチャルの土人を當地に移し、漁場を開いて久壽里(クスリ)漁所と稱し、こゝに開拓の端を發したと謂はれるが、クスリはアイヌ語で「越ゆる道」の意味である外異説が多い。當時は白砂の間に漁家點々たる一部落にすぎなかつたが、明治三年四代目佐野孫右衛門、奥州および函館地方より移民二百三十五戸を募集して入地せしめ、初めて市區の體裁をなすに至つた。明治十年ころ數年間にわたつて鹿狩が行はれ、行商人の店舗を構へる者など來住者や

うやく多くなつたが明治十四年大火があり、現在の橋南一帯は殆ど灰燼に歸した。同十八年春採炭山で採炭事業が開始されるに及んで逐年人口激増し、米町の遊廓もこのころより始つたと傳へられるが、三十四年再び大火あり、荒涼たる燒野原と化した。間もなく釧路函館間の鐵道が全通するに及んで町勢は一躍橋北方面に伸展し、諸官衙が續々設置された。しかるに大正二年橋北の樞要地帯は三たび灰燼に歸したが忽ち復興され、同一年には市制の施行を見るに至つた。同時に第二期拓殖計畫による釧路港修築計畫の擴大實施及び釧路川治水工事の完成を初め市に於て施行の繫船岸壁の竣成、上水道の完成その他釧路線の全通、私設雄別及び臨港鐵道の開通、釧路川護岸工事の竣成等により面目一新、大釧路の建設へ一躍進してゐる。

り、目覺しい發展振りである。屈指すれば三井の太平洋、三菱の雄別、この二大炭山をはじめ、所謂釧路炭田とも稱せられる地域には大小の炭礦十數餘に及び、何れも年と共に採炭量の激増を示しなから石炭王國の觀を呈してゐる。且之に加ふるに王子製紙工場があり、極東煉乳工場、北海道製糖、木材防腐、製糖工場、北海道信用購買販賣組合聯合會精選工場、昭和乾物等相繼いで大規模の工業が企畫され、あることは固より見逃されぬが、それよりも以上に力強いのは、後方三千里に亘る無盡の資源を商團とする釧路は、港灣施設の完備と相俟つて世界に誇るべき大釧路へ飛躍せんとする輝かしい發展を約束されてゐることであるが、更に背後に無限といはれる大小無數の石炭山を持つ釧路は、従後につて強固なる工業港として發展せんとしてゐる「貿易の釧路」から「工業港釧路」へ一大飛躍せんとしてゐる。

千二百十三・八平方軒、廣表は東西二一・一軒、南北八・四軒である。土地を有租地、無租地に別つと左の如くである。

- ▲有租地 畑五三六・四町、牧場五六町、山林六一四・三町、原野一、三六〇・七町、宅地二〇四・三町、海産市場雜種地七八・三町、合計二、八五〇町
- ▲無租地 學校用地二六町、官公衛用地二・二町、病院及び臨睡病會用地〇・九町、神社地一・八町、墳墓地一六・四町、道路四・八町、噴道噴道用地二六・八町、その他四九・八町、合計二、二八七町
- ▲公園 豫定地二三六・六一坪、完成地三、五〇〇坪、未著手地二、三三三・一一坪

二 市役所首腦者

(十四年十月現在)

市長佐藤國司、助役佐藤安平、収入役兼出納課長葛西吉松、庶務課長高橋照太郎、産業課長伊藤繁、學務課長(視學)大西正一、土木課長(技師)柴崎末吉、稅務課長石塚英右衛門、市立釧路病院院長瀧本庄藏、市立湖畔病院院長(兼)瀧本庄藏

二 市會議員

(十四年十月現在)

議長白井拾、副議長栗瀬長太郎、上野次

帶廣市



昭和五年十二月五日制定。片假名「オビヒロ」の四字を圖案化したもので、中央「大」と見えるのが「オ」輪郭の「北」のやうに見えるのが「ヒ」と「ヒ」の背中合はせて輪郭の下部が「ロ」と「ロ」で要するに大帯廣を象徵するもの。

帯廣市は年産三百萬俵、此の價格四千萬圓に達する全道屈指の農産物出廻りの中心市場である外、更に年産駒一萬三千頭を算ふる本邦唯一の馬産中心地帯であるのみならず、我が國に於ける甜菜製糖の始祖地であつて豊饒を誇る十勝國の中央部に位

し、約二百八十餘年前の寛文年間十勝一帯を廣尾場所と稱し松前藩士蠣崎藏人の給地となつたのが抑々北海道史上に帶廣が抱擁する十勝國が登場した最初である。寛政十一年幕府の支配に屬し、文政四年再び松前藩に復したが安政二年又復幕府の支配下に入り、更に同六年には仙臺藩領となる等目まぐるしい變轉を経て王政復古と共に明治二年北海道開拓使が置かれるに及んで十勝國が劃された。而して帶廣市に和入地の嚆矢は明治十六年四月靜岡縣人依田勉三が十勝の郷黨を率ゐて來勝「晩成社」を結成し開拓に従事したものでこれが帶廣の創始である。

明治二十五年釧路國標茶葉集計監の十勝分監がこの地に設置されるに至り、四人の手によつて大津から一條の刈分道路が開闢され、斯くて初めて陸路交通の便が開かれた。超えて二十六年戸長役場設置、三十五年二級町村制施行、三十八年釧路より鐵道開通し、四十年には此の鐵道が獨資本線に結ばれ、次いで四十三年釧路線の全通により本道各都市或は各輪

二 戸口

帶廣市の戸口の急激なる膨脹振りは注目し價する。即ち大正四年初めて一級町村制實施當時は僅かに戸數一千九百五十、人口八千四百五十七人であつたが、周圍地帯の開發と相俟つて人口は一箇年に一千から三千程度を算ふる増加を示し、大正十四年には四千七百七十五戸、二萬二百八名、昭和六年には五千九百七十五戸、三萬五千九百三十三となつて茲に市政施行への人口要件を具備し、十二年には七千五百七十五戸、三萬八千九百人となり、十四年十月には遂に七千八百九十戸、人口も四萬五百

二 商會議所議員

(十四年九月現在)

會頭兩角榮治、副會頭金井重喜、村上祐二、高木泰藏、國松太四郎、鈴木康樹、池藤毅、淺野善作、佐藤兵吾、松田學次郎、松本敦雄、岩下良治、橋本文平、瀧澤喜由三、齋藤藏、太田芳市、高橋有一、池田保次郎、岩城兵康、千葉功、橋本辰之助、深谷助太郎、中西六太郎、金澤定市、馬場佐治、小松傳三、栗瀬長太郎、大久保行雄、奥田藤松、森島靖雄、宮地米造、奥村利藏、杉浦正賢、正置富藏、宮本正吉

二 方面委員

顧問一新田八郎、丹波藤次郎、土谷實、前田正晴、間瀬三郎、佐藤國司、磯根久理事一成田正徳

人を示し、新興都市として隆々たる増加振りである。

一財 政二

昭和十四年度当初の一般会計歳入豫算は六十二萬一千九百五十五圓で、此の中の過半三十一萬二千二百六十二圓が市税で、歳出は經常部豫算三十五萬五千九百七十九圓、臨時部豫算二十六萬五千九百七十六圓、而して歳出經常部の主なるものは教育費十四萬五千三十一圓、役所費八萬一千八百八十五圓、社會事業費四萬五千六百圓、警備費二萬四千九百七十七圓、土木費一萬六千六百圓等であるが、いづれも市勢の急激なる發展により逐年膨脹を餘儀なくされてゐる。

二市政要項二

◇道路改良工事進捗 十五萬二千九百餘圓の工費を以て昭和十二年度より三年間繼續事業の市内主要道路コンクリート舗装二十二段(十四軒百四十三米)改良工事は順調に進捗し、豫定の如く十四年度末を以て竣工の見込。
◇火防用水路工事順調 前記側溝工事と併行して費費用を水源とする三軒八百三十三米の新水路を昭和十二年度より三年間繼續事業として六萬九千七百七十圓の工費に依る工事も豫定の如く進捗十四年度中に竣工する。
◇市營火葬場完備 三萬八千圓の豫算を以て札幌市内昭和十二年九月竣工した市營火葬場は昭和十四年七月完成、一切の設備を整へ本道屈指の火葬場として其の機能を發揮してゐる。
◇消毒所開設 一般市民のため衛生陣強化を目的に八千八百圓の豫算で西五條帯廣川畔に昭和十三年十一月竣工された消毒所は同十四年五月竣工、市民に利用されてゐる。
◇十勝農業校獸醫科新設 十勝農業校の獸醫科新設に伴ふ校舎増築費は

市が二千五百圓補助、一般二千五百圓の寄附に依つて十月竣工した。

二市役所首腦者二

市長 佐藤 守治、助役 大江 啓一、収入役 山本 謙吉、庶務部長 柴田 慶藏、産業部長 星 萬吉、教育部長 寺本 博文、税務部長 井内 強、出納部長 (兼) 山本 謙吉、市立圖書館長 平野 辰雄、市立託児所長、市立救護院長 (兼) 寺本 博文、市立公営住宅事務長 (兼) 大江 啓一、市立旭病院長 (兼) 土田 其之助

二市會議員二(三〇名)

(十四年十月現在)
議長 佐藤 守治、副議長 小川 肇次郎、田中山 十郎、古澤 勲三郎、酒井 章太郎、藤 森 登喜、小泉 啓、喜多 儀太郎、櫻井 貞一、栗山 伊三郎、柴田 幸七郎、小松 昇、小澤 保良、堀井 彌吉、幾人 彌次郎、佐野 繁一、高橋 太郎、曾根 文市、村瀬 秀松、瀧本 幸吉、岡上 勝太郎、伊藤 隆治、森久 彌市、江口 芳作、藤谷 精吉、中村 兼一、野崎 吉、安倍 隆義(缺員二名)

二方面委員二(三三名)

渡邊 万太郎、愛須 信男、神林 倉藏、高島 可一、坂井 トク、藤澤 泰一郎、酒井 京太郎、黒澤 武三郎、伊谷 半三郎、伊藤 義三郎、高橋 仁兵衛、白田 ウタ、幸西 義三郎、小原 保三、柴田 幸七郎、桃井 貞一、工藤 重助、宮内 浩、赤澤 本吉、堀内 利 佐、及川 武三郎、奥瀬 義雄、木村 信、吉 田 隆、中村 兼一、菅原 三郎、田中 松千代 森山 正道、早苗 清藏、西村 喜太郎、關谷 重太郎、岡枝 文八、水上 傳作



だん撰が様客お

- 天 正 天
- 廣 島 正
- ちよっ 車
- 伊 中 壽 司
- 福 本 店
- 新 高 砂
- 千 雨

農業移民

樺太廳では産業其の他各種事業の發展と相俟つて十四年度より農業移民の招來に積極的に乗出し、農業移民規程を改正、家屋建設補助一戸當り三百圓を五百圓に増額する外、島外よりの移住補助三百圓以上四百圓迄を特殊事情に依つて増額、更に島内農家の獨立移民に對しても百五十圓の補助金を交付すること

戸數、人口

領有當初に於ける樺太の人口は信ずべき調査資料がないので其の數は詳でないが、土人、露西人等は別として本邦人は漁

撈のため出稼ぎに来る者があつた程度で、未だ定住者といふ程の者はなかつた様である。然るに明治三十八年八月本島の占領と同時に軍政の施行に次いで民政署が設置される様になつてから、内地人の渡來者が漸次増加し、従つて定住者も多くなつた。民政署の調査に依ると同年末には一千九百九十人、翌三十九年末には一躍一萬八百餘人に激増し、新領の地に雄圖を抱いて運命を開拓せんとする日本人の氣魄が窺はれる。

次いで明治四十年四月樺太廳の設置と共に諸制度が確立して居住、移轉、出生及び死亡に關する届出規則等も公布され、今日の樺太廳庶政の基礎が出来るに及んで定住者が漸次増加し、爾來三十年間多少の消長はあつたが、大體に於て順調に増加の趨勢を辿り、拓殖の進展と共に今日の如き盛況を見るに至つた。昭和十三年度末現在に於ける各市町村別戸數、人口、種族別、本籍地別、産業職業別人口動態は左表の通りである。

Table with columns: 市町村名, 戸數, 總數, 男, 女. Lists municipalities like 豊原市, 豊原支廳, 川上村, etc., with their respective population statistics.

Table with columns: 種族別, 戸數, 總數, 男, 女. Lists ethnic groups like 編城出張所, 編城村, 惠須取町, etc., with their respective population statistics. Includes a sub-table for '戸口累年比較' (Annual Population Comparison).

人口動態

(市、支廳、出張所)
(別十三年末現在)

種族	出生	死亡	出生率	死亡率
總數	二、八七五	一、三六〇	一、〇七	〇、四八
樺太市	一、三六六	六五五	一、〇七	〇、五二
豊原支廳	一、二二五	五五五	一、〇七	〇、四七
大泊支廳	一、五二五	六五〇	一、〇七	〇、四八
留多支廳	一、〇〇〇	三三〇	一、〇七	〇、三三
出張所	九六〇	四七〇	一、〇七	〇、四八
本斗支廳	一、八〇〇	七〇〇	一、〇七	〇、六四
真岡支廳	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇七	〇、三〇
泊居支廳	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇七	〇、三〇
鶴城出張所	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇七	〇、三〇
元泊支廳	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇七	〇、三〇
敷香支廳	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇七	〇、三〇

土人

樺太に居住する土人はアイヌ、ニクブン、オロツコ、キリン、サンダー、ヤクーツの六種族であるが、彼等は従順にして其の智能概して低く、同化の程度稍高きアイヌ族すらも内地人社会の競争場裡に伍し自立し得ざる状態に在るを以て、農業、漁業其の他に關し特殊の制度を設けて之を保護し、其の生活

活の基礎を安固ならしむると共に農耕を奨励して自活思想を養ひ、子弟に教育を授くるの外彼等の風習を毀げざる範圍に於て自由の文明の惠澤に浴せしむる等専ら其の保護に努めてゐる。

種族及び戸口

アイヌ族 往時は廣く樺太全島に居住してゐたが、大正元年より同三年に亘る三箇年間に於て東海岸は落帆、白濱、樺保、新開及び多摩加の五箇所に、西海岸は多摩泊、登富津、智來、小支白の各地に遷居させたが、後樺保は住民の希望で新聞に轉住させた。白濱の土人部落は昭和八年山火の厄に遭つたので其の一部を富津に轉住せしめた。アイヌに對する戸籍法は昭和八年一月樺太施行令の特例を改正して實施した。

ニクブン族 太古に於ける亞細亞人の殘存者にして北部樺太内川流域に居住し、先住民たるオロツコ族内に雜居してゐる。近視婚を嫌ひ他民族と雜婚するを以て其の體格漸次優良となり能く困苦に耐へ、他種族の如く夏季情狀を食ふことなく夜々として常に冬準備を怠らぬ。オロツコ族、キリン族に比し優越の位置を占む。

て其の人口アイヌ族に次ぐ。北部樺太内川流域に居住す。訓鹿を飼育すると共に、二月は山に入り鹿、貂を獲り、三月より五月には海岸に出で魚を捕らへ、六月より七月までは鮭、鱒漁に従ひ、特に八月の鮭漁の潮河するに至れば川を遡り之が漁獲を爲す等、一定の居所を定めず山野水草を遡つて天幕内に居す。一般に無智無味且怠惰にして、年少にして煙草を好み酒に耽り嗜む者あり。生活難に迫れば他を恨み、或は同族互に反目するの狀態なるが、教育所設置以來面目頗る革りたるの觀ある。

漁撈に従事し、冬季は狩獵又は勞働によつて生活の資を得つゝありしも、半農半漁の方針に依り指導した結果、漸次農耕の法を體得し成績を擧げてゐる。古來彼等の風習は隣保相扶、同病相憐むの情厚き美風あるが、一面には他に依頼する賦陷も尠くない。衣服は主にアツシを用ひ、裝飾は耳環をつける外年長婦人は唇に黥をなす(アイヌ)。

居り、萬一違反のある場合は違約者として同族間から嘲笑をうける。

娛樂祭禮

アイヌ族の娛樂は聲樂、音樂、舞踊、遊戯等あり、聲樂はユーカー(酒席で歌ふ男女の痴情)ハウケ(祭文の如きもの)ヤエガタカラ(都々逸の如きもの)オイナ(昔噺)トイタ(伽喃)等、樂器はトシコリ(三味線に類似した五絃琴)ムツキナ(竹製の口笛の如きもの)の二種、他に太鼓がある。舞踊は盆踊の如き八人一組となり飛廻る外に別になし。遊戯は綱曳、角力、繩飛、棒投等、祝祭は漁期はじめの豊漁祈願祭、熊祭等で男女の情事は此の際に行はれること多し。

教育

土人の教育は學校教育の項にあるが、主要地に教育所を設ける外各種施設を爲し、智徳の啓蒙、生活の改善に努め、中には大學、專門學校を卒業せるもの二、三人あり、社會教育

は各部落に男女青年團、婦人会、夜學會等を設け、各地の小學校教員、土人教育所主任等が指導に當つてゐる。

土人漁場

彼等の生活を維持するため樺太廳では島内約十箇所に土人漁場を指定し、之に依つて得た財源を土人の教育、社會施設、救恤等に投じてゐる。然し漁業は年に變遷あつて收益が一定しない爲、更に農耕を奨勵し、土地を貸付し農具、種子を給與して獎勵に努めてゐるが、指導者の熱意に依つて勤勞觀念も漸く普及されるに至つた。

氣象

邦領前樺太に於て稍秩序的な氣象觀測が行はれたのは明治十四年以降にして、明治三十八年我が領土に歸して以來臨時觀測所官制の公布に依り同年十月コ

名	種	所在地	創立年月
樺太廳觀測所	大泊	大泊	明治三〇
敷香支所	敷香	敷香	三〇
眞岡支所	眞岡	眞岡	三〇
落合支所	落合	落合	三〇
本斗支所	本斗	本斗	三〇
安別支所	安別	安別	三〇
海泊島簡易觀測所	海泊島	海泊島	明治三六
西能登呂簡易觀測所	西能登呂	西能登呂	三六
白浦簡易觀測所	白浦	白浦	三六
富内簡易觀測所	富内	富内	三六
久春内簡易觀測所	久春内	久春内	三六
名好簡易觀測所	名好	名好	三六
海馬島簡易觀測所	海馬島	海馬島	三六
留多加簡易觀測所	留多加	留多加	三六
雨龍簡易觀測所	雨龍	雨龍	三六
好仁簡易觀測所	好仁	好仁	三六
蓬坂簡易觀測所	蓬坂	蓬坂	三六
泊居簡易觀測所	泊居	泊居	三六

のあり、従つて氣象は各地方に
まつて夫々異なる状況にある。
然し之を概観するに、南西沿岸部は暖
流に洗はれる爲比較的溫暖であり、北東
海岸は海流の影響を受け寒冷にして、中
部は山脈に圍まれてゐる關係上大陸的氣
候を呈し寒暑の差が甚しい。而して世

昭和十三年度降水量 (單位: 公厘)

地名 一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 年
大泊 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
本斗 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
其間 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
落合 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
敷香 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
安別 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三
豊原 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三 三三・三三

行政

樺太廳 明治四十年四月一日
大泊字楠溪に樺太廳が設置せら
れた。長官は樺太守備隊司令官
陸軍少將楠瀬幸彦が兼攝し、長
官官房、第一部、第二部の三部
を置いて行政事務を分掌せしめ
た。其の頃廳舎はバラック建築
で現大泊支廳の背後にあつた

界同緯度の地に比較して氣温の低いのは
近海に暖流が流れるを其の一因とするも、主
として亜細亞大陸の影響を受けることに
よる。近海寒暖兩流の衝突する附近には
濃霧を生じ、冬季氣温低下するに至りて
雪む。冬季は山脈を境とし西海岸は概ね
陰鬱にして東海岸は霽明なり。

年再び内務大臣に、大正六年再度内閣總
理大臣の指揮下に移る等の變遷を経て、
昭和四年六月拓務省の新設後拓務大臣の
指揮監督を受けることになつた。樺太廳
内の機構は最初長官官房(秘書、文書、
會計の三課)第一部(警察、水産、交通、
庶務、臨時建築の五課)第二部(拓殖、
土木、林務、鑛務の四課)の三つに分け
て事務を分掌させたが、明治四十二年第
三部(警務、保安の兩課)を設け、大正
二年之等三部の名稱を内務、拓殖、警察
と改めた。拓殖部は大正三年再び廢止せ
られた。かくて後昭和二年農林部が設け
られ、昭和十二年殖産、交通の兩部が置
かれる等幾多の變遷を経て今日に至る。

めた。又海馬島出張所を廢止し
てシカカ、ナヤシの兩出張所を
敷香、名好の兩支廳に昇格する
等種々の改革が行はれた。明治
四十二年人口の急激なる増加に
伴つて眞岡支廳下に眞岡、本
斗、野田寒、泊居、冬春内の五
出張所、豊原支廳下に豊原、大
谷、榮濱の三出張所、大泊支廳下
に大泊、富内、長濱、留多加の四
出張所、敷香支廳下に元泊出張
所、名好支廳下に鶴城出張所等
を設け、豊原支廳下のガルキノ
ウラスコエ出張所を廢止した。
大正二年は行政機構上の變革が頻りに
行はれた年であつた。此の年豊原、大泊、
眞岡の三出張所、豊原支廳管内の大谷出
張所、眞岡支廳管内の泊居、久春内兩出
張所等を廢止し、名好支廳を久春内に移
して久春内支廳と改稱し、同支廳下には
泊居下に北名好出張所を新設した。又元
泊に元泊支廳を新設し、敷香支廳には散
江出張所が設けられた。大正七年北名好
出張所を名好出張所と改め、久春内支廳
は泊居に移して泊居支廳と改めると共に
泊居出張所を廢止して久春内出張所を新
設した。大正十一年には留多加、元泊、
本斗、鶴城の出張所を支廳に昇格して支

廳出張所を全廢し、大正十三年には留多
加、鶴城の支廳を廢止して留多加出張所
を大泊支廳に、鶴城出張所を泊居支廳に
屬せしめた。
現在の支廳並に出張所及びそ
の設置年月は左の通り。

敷香、野頃(出張所)△醫院△豊原、大泊、
眞岡△觀測所△大泊(本所)敷香、眞岡、
落合、本斗、安別(以上支所)△中央試験
所△鐵道事務所△郵便局△無線電信局△
博物館、圖書部△學校

長官 樺太廳長 佐々木文彌
任官 轉退官 氏 名
明四、一 明四、一 楠瀬 幸彦
同二、一 同二、一 床次 竹二郎
同三、一 同三、一 大 三 六 五 平岡 定太郎
同四、一 同四、一 大 三 六 五 岡田 文治
同五、一 同五、一 同 八 七 七 昌 谷 彰
同六、一 同六、一 同 三 六 三 永井 金次郎
同七、一 同七、一 同 五 八 五 昌 谷 彰
同八、一 同八、一 同 三 七 七 豊田 勝藏
同九、一 同九、一 同 四 七 九 喜多 孝治
同十、一 同十、一 同 七 七 岸 本 正雄
同十一、一 同十一、一 同 七 七 今村 武志
同十二、一 同十二、一 在 棟 居 俊一

【樺太廳林務課長】(豊原)技師佐々木文彌
【大泊】三浦義幹(留多加)技師 中山利郎
【本斗】同根守四郎(眞岡)技師 齋藤啓二
【泊居】同岸亮(敷香)同平賀正巳(元
泊)同村政五郎(敷香)同庄司潤典(野頃
出張所)同長神田萬次郎
【警察課長】(豊原)警視諸方至(大泊)同
増水勲助(落合)警部警治(元泊)警部補
遠藤昌次(知取)警部警佐平左衛門(敷香)
同春田長作(留多加)警部補 上條善四郎
【本斗】警部濱田徳太郎(眞岡)同藤又敬次
郎(野田)警部補久津昌寛(泊居)警部高
木正一(豊原)警部阿部宗一
【樺太廳醫院】(豊原)院長 九鬼左馬
之助(大泊)院長 福澤茂(眞岡)院長
長森定吉

樺太廳の組織

(昭和十四年八月現在)

長官官房△秘書課、文書課、企畫課△内
務部△地方課、調査課、學務課、財務課、
稅務課、登録課、度量衡検査所△殖産部
△殖民課、農務課、林務課、林業課、鑛
務課、水産課、水産物検査所△交通部△
土木課、通信課、鐵道課△警察部△防空
課、警務課、保安課、刑事課、高等課、
衛生課、警察官講習所
右の外に樺太廳管理の下に、
支廳△豊原、大泊、留多加(出張所)元泊、
敷香、本斗、眞岡、泊居、鶴城(出張所)
△警察課△豊原、大泊、留多加、本斗、
眞岡、野田、泊居、眞須取、落合、元泊、
知取、敷香△林務課△豊原、大泊、留多
加、本斗、眞岡、泊居、眞須取、元泊、

樺太廳高等官

(昭和十四年八月現在)

長官 樺太廳長 佐々木文彌
部長 中山春男、殖産部長 中村廣祐、警察
部長 白井八洲雄
【秘書課】課長(兼)野口俊一、事務官 牧野
【文書課】課長 野口俊一
【内務部】(調査課)課長 矢尾坂羊三郎(地
方課)課長 北村得三(會計課)課長 田中熊
太(財務課)課長 片谷善三郎(稅務課)課長

長官 樺太廳長 佐々木文彌
部長 中山春男、殖産部長 中村廣祐、警察
部長 白井八洲雄
【樺太鐵道事務所】所長 草野虎一、技師 渡
邊六太郎、同 藤田正美、同 村上達夫
【樺太中央試験所】所長 奈良部都壽、技師
(兼)村山佐太郎、同 岩本忠、同 川瀬道二、
同 高山保三、同 菅原道太郎、同 石井三郎、
同 外村徳三、同 三島忠、同 木下仁松、同
笹川友之助、同 田村辰男、同 矢澤龜吉

【豊原支廳】支廳長 薄木虎二郎、庶務課長
奥田幸造、視察有江辰【大泊支廳】支廳
長 堀安次郎、庶務課長 鈴木清、視察 遠田
佐吉【留多加支廳】所長 川上博、庶務
課長 梅林嘉吉、視察 三島利義【眞岡支廳】
支廳長 肥後龍夫、庶務課長 大野春吉、視
察 佐々木七郎【泊居支廳】支廳長 加島龜
藏、庶務課長 佐藤俊男、視察 因田與三郎
【鶴城出張所】所長 小野寺健一、庶務課長
渡邊重房【元泊支廳】支廳長 大森三之
助、庶務課長 常見勇、視察 針生宗伯【敷

香支廳支廳長坂本只次、庶務課長藤本信一、視學木田利一

市町村

樺太領有後各地に移住者集團し部落を形成するや部落民會或は町民會等の團體を組織、總代或は評議員等を選出して部落部落の公共事務を處理したので樺太自治の萌芽である。明治四十二年廳令を以て部落に部落總代を置き、越えて大正四年六月本島の郡町村編成に關する勅令の公布あり、全管内を十七郡、四町、五十八村に區劃したが、之は單なる地理的區劃に止つた。更に大正十年樺太の地方制度に關する法律が公布され自治の基礎確立し、翌十一年には樺太町村制の施行となり十二年には全管内に施行されたが、人口の増加、公共施設の完備と共に漸く市制施行の要望起り、昭和十二年三月法律第一號を以て樺太特別市制が公布され、引續き附帶法令、廳令の施行を経て同年七月一日豊原市が最初の市として

樺太自治協會

町村の指導機關として樺太自治協會は大正十五年八月二十三日樺太廳の始政記念日を以て創立され今日に至る。支廳及び出張所に支部を置き町村には地方委員を設け會務遂行上諸般の用務を分掌せしめてゐる。同協會の主たる事業は左の通り。

市町村理事者並に市町村會議員

(十四年八月末現在)

月一日豊原市が最初の市として生誕、本島自治體系は茲に内地先進都市の同域に到達するに至つた。十四年度よりは敷香、惠須取兩町が躍進目覺しきものあり、一兩年中には豊原市に次いで市制施行されることは必至の狀勢にある。

樺太自治協會 町村の指導機關として樺太自治協會は大正十五年八月二十三日樺太廳の始政記念日を以て創立され今日に至る。支廳及び出張所に支部を置き町村には地方委員を設け會務遂行上諸般の用務を分掌せしめてゐる。同協會の主たる事業は左の通り。

- 豊北村 村長大場節太郎、收入役常野庄司、村會議員 中井戸芳太郎、吉岡信雄、兒玉正雄、金高助六、安田善次郎、廣瀨河原、藤林接基、川畑勘造、小原等町、田房藏、寺井憲雄、高橋源左衛門
村上村 村長草野雅光、助役千葉多賀治、收入役根本一、評議員 加藤要一郎、川中福治、山口百重郎、高橋照太郎、加藤榮藏、木山昇、石山幸吉、川上新之助、今井源一郎、濱田巖、梅野武、谷川常太郎、富山治
落合町 町長水島島、助役四十原直次郎、收入役源原久四郎、町會議員 石井幸齋、山口吉藏、山口重夫、林長吉、今金四郎、花上孝三、有海松市、河原藏次、佐野常正、源原高次郎、佐藤與右衛門、野野良輔、菊池喜重雄、田村次郎、阿部水太郎、中野利吉、藤沼勇三、成田石五郎、塚本五一、吉岡傳作、三浦常松、吉村時重、鈴木彌市
榮濱村 村長池野寅次郎、收入役藤澤榮、村會議員 横澤義徳、細人益太郎、竹内松次郎、大島英太郎、七村九一、青木吉太郎、本間廣一、高橋喜三吉、塚本國治郎、柴田多助、田中沖、前川乙吉
白糠村 村長其和清松、收入役佐藤榮四郎、村會議員 秀城市郎、柳屋武雄、柳沼才二、柱澤竹藏、井上勝治郎、春日成、鈴木須四郎、岩澤清次、河原仁太郎、内藤兵作、武田與八郎

大泊町

町長伊藤英吉、助役藤島、收入役池田泰、町會議員 議長田邊庄次郎、議長代理白岩二、大崎基義、尾形市兵衛、熊谷堅藏、坂倉敏雄、竹内重吉、目黒乙治郎、松本芳男、大野順太、安藤五右衛門、吉田清、吉川平八、早川隆兵衛、中村久五郎、井上哲郎、梶原太郎、高島一二七、佐々木勝造、永志誠次、堂前外吉、坂井久二、柳野七之助、岡崎啓朝、川尻誠助、鈴木盛六、寺澤運次郎、山内登藏、伊藤通、小笠原源次郎

千歳村

村長高橋安兵衛、收入役青山豊、村會議員 番場長八、松村豊吉、長谷山竹藏、志摩松次郎、吉田茂四郎、山下福太郎、岸田榮太郎、保古重臣、田村俊一、本多松次郎、小林勝太郎、富岡彦松

深海村

村長矢口長藏、收入役宇田居定一、村會議員 佐々木喜喜、横内豊次郎、會見市太郎、泉嘉七、柳林之助、植村文之丞、田中豊太郎、徳澤吉英、坂本三太郎、松坂久平、藤本育壽、岡野市之助

長濱村

村長秋山誠三、收入役松田與太郎、村會議員 今田重平、平野集吉、磯野金五郎、大瀧幸五郎、今由松、中野高之助、寺澤太七、松田政二、高島彌太郎、村松輝太郎

遠淵村

村長會澤武夫、收入役佐藤

政治部

村會議員 酒谷政吉、福本基太郎、市毛子之介、佐藤海助、福井清太郎、小松守一郎、大家長四郎、集野重太郎、砂金善治郎、中口榮松、横山孝一
知床村 村長池田清七郎、收入役藤實一、村會議員 渡邊彦次郎、坂本力古川勤、小松芳右衛門、前川治郎、根本直吉、渡部三男、野澤十之助、増井啓治郎、山崎剛作
富内村 村長花谷淺次、收入役杉本荒次郎、村會議員 森脇唯芳、吉本堅一、岡田八市郎、渡邊正治、佐藤敬次郎、本村安平、坂田藤吉、藤野多、樋口留八、酒野志道
留多加町 町長戸塚金治郎、助役福本吉次郎、收入役高橋勝次郎、町會議員 服部直治、岡川善一、生井澤進、山下梅司、大西真右衛門、古畑種吉、堀五郎太郎、長瀬軍司、佐藤政太郎、片山貞、前田由藏、山田初太郎、水野金藏、仁木島卯之助、樋口仁平、村松忠和、川田守與

三郷村

村長後藤雄之助、收入役佐藤平次郎、村會議員 鈴木幸多、小林清太郎、中居市三郎、黒田長次郎、飯沼羽市、河合榮作、大田作次郎、野呂莊文、工藤一郎、堀川兵松

能登呂村

村長菅原省三、收入役神子島久治、村會議員 清水雅一郎、辻健二、松原長松、佐藤三郎、嶋海武男、西田要作、後藤長衛、伊藤仁三郎、佐々

本斗町

町長古川重泰、助役大谷武行、收入役森清吉、町會議員 萩野豊次郎、藤森正隆、奥野長四郎、合田淺吉、土門爲次郎、田中梅次郎、新日直人、光野乙吉、藤葉谷清、荒岡弓之助、成田善次郎、濱田太郎、藤田淺五郎、渡邊茂一、山名有太郎、秋葉勝郎、佐藤義太郎、葛西貞治郎、吉野想一郎、佐々木一、齋井淺之助、渡邊伯藏、大谷泰治郎、城岡定太郎

内幌村

村長種部長藏、收入役菊地長吉、村會議員 加藤銀重、佐々木憲藏、常包恒太、菅井理三郎、後藤弘治、小島芳藏、石川谷茂雄、柳谷隆太郎、大村萬次郎、能島平太郎、金光勝助、今井市三郎、藤本重、伊東文次、佐久間重治郎、京徳勇藏

好仁村

村長福家勇、收入役笠島善太郎、村會議員 石井宗実、藏本米藏、小宮治郎八、柳本興三郎、石田常勝、渡邊源吉、熊谷進、北瀧興三、庄内利兵衛、鈴木與太郎、芹川賢之助、猪原太一郎

海馬村

村長島岡善吉、村會議員 山崎彌作、佐賀庄吉、河端清太郎、二見寅吉、若松登吉
眞岡町 町長小濱嘉七、助役森龍、收入役今井信三、町會議員 議長江端朝吉、議長代理井本熊治郎、阿部寅七、高

廣地村

村長長福藏、收入役本間光成、村會議員 川村三郎、瀧澤山太郎、成田三郎、笹森梅次郎、見泰與三吉、田中源太郎、高田松治、吉田源藏、本間正藏、阿部茂雄、吉松作次郎、川村初藏
蘭泊村 村長志賀與、收入役藤田治三郎、村會議員 白旗喜一藏、内藤藤太郎、竹谷勇太郎、田村勝之助、古田要、工藤豊吉、佐久間新六、吉田豊治、船生統七郎、小栗鶴三郎、山口登太郎、高野清晴、佐々木藤太郎、高橋彌五郎、青塚與市郎、清水登次郎

清水村

村長舟生秀吉、收入役毛綱光輝、村會議員 中谷友吉、長屋男次郎、小笠原新次、竹谷文三郎、星野房治、牛渡篤子、三輪幸正、松本重明、大原正徳、淺野勝治、平田八右衛門、藤野喜四郎、川上正巳、黒田正治、遠藤徳太郎、及川幸一郎、岩澤勘吉、佐々木清吉

野田町

町長江良藏、助役吉池力行、收入役川崎一郎、町會議員 田中勇太郎、牧口友吉、長谷川又次郎、寒河江仁吉、大庭秀市、佐渡才之進、佐藤年雄、本田清三郎、佐藤卯吉、澤本末藏、山根正次、岩澤大二、山本隆、西田正一、幸村幸吉

西田 小能登呂村 村長近藤民藏、収入役岩崎衛【村會議員】黒岩清次、引地留四郎、浅川喜八、吉田清五郎、上村頼治、坪井浩爾、堀川弘輝、村田乙吉、武田登美、松本俊一、佐々木駒治郎、佐々木卯平

泊居町

町長稻垣敏夫、助役清水院 収入役坂本左右吉【町會議員】森一保、九茂英賢、寺崎治作、岡山英次郎、五島正一、金山勲藏、鈴木清二、後藤藤太郎、三宅健藏、川崎吉松、高野次郎、藤巻茂四郎、魚谷兼次郎、衛藤憲一、小畑安吉、柳本中治郎、三上重九郎、出戸和四郎、衛藤文雄、坂垣外次郎、村井喜代治、金田要吉、大居政次郎、前田静治郎

久春内村

村長宮内忠良、収入役用上良【村會議員】保知清吉、新妻高次郎、天須次三郎、渡間高次郎、玉小高次郎、側佐市、比毛義晴、佐藤三三、小林吉藏、柳瀬秋市、石山睦作、西田片手次郎

名寄村

村長鈴木次郎、収入役奥田義隆【村會議員】三浦作次郎、石塚勝治、飯野亮三、穴田忠太郎、竹田二三吉、生駒三藏、田波章治、土田直藏、赤妻村治郎、三上太郎、曾藤五郎、今二梅太郎

三濱村

村長坂本徳治郎、収入役三島慶次郎【村會議員】小泉忠彰、大浦與八郎、佐々木清助、小黒勝太郎、加川彌

十郎、佐藤義一、齋藤松藏、矢吹豊藏、石原修一、佐竹虎吉、盛初太郎、能登仙太郎、菊地孝一、増澤長作、左京要馬、吉川吉藏

鶴城村

村長石井徳一郎、収入役山本清之助【村會議員】嶋井伊之助、齋藤梅松、花澤種吉、鈴木兼治、奈良徳助、妹尾善平、新開豊之助、矢島信也、三好貞太郎、矢島亮一、水野建次、黒石三郎

恵須取町

町長三宅良太郎、助役佐藤寅三、収入役坂本喜代太郎【町會議員】杉本國造、唐津慶二、清野繁司、大泉良太郎、佐野雄丸、倉橋一、山本豊藏、雲田光太郎、中川爲治、三浦善作、前島善之助、高村純平、原田悦治、渡徳三郎、小島日良、森照世、大谷昌五郎、樋口武富田徳雄、竹谷孝作、小林市之丞、東田朝吉、伊藤謙、杉村富作、小宮原辰藏、小田正作、西村長三郎、佐藤英治郎、菅野吉三郎、大塚仙五郎

名好村

村長落合守八、収入役奥村節藏【村會議員】河田力、鈴木儀平、出口正一郎、嶋見才三郎、佐竹喜一郎、久保田清一、廣末公士、藤澤路三、小田桐義逸、山口順三郎、池田次郎、笠川親治、菊田輝藏、村川亮逸、堀口芳松、村清一

元治村

村長松田一夫、収入役竹田源次郎【村會議員】齋藤香平、長畑柳市和、和田正木、野畑庄吉、齋木廣澄、中黒寅

吉、岸兼吉、成松正人、高橋伊勢松、小林四郎、中光吉、島中興太郎、植田武雄、齋藤喜一、山田幸造、岡部五作

帆倉村

村長岡本政雄、収入役村上熊三郎【村會議員】岡三郎、堀井仁兵衛、鈴木源太郎、山谷進一郎、安原興三、齋藤庄藏、富山巖、村形三九郎、佐々木寸八、坂本作次郎

知取町

町長尾野吉治、助役高橋嘉男理、収入役高畑千之介【町會議員】水永毅、秋山五郎、田近喜四郎、丹野政治郎、三田安次郎、酒井佐太郎、百日本知讓、布川菊雄、山本九中、細坪久一、渡邊福市、坂本勇平、小園助二、安田長一郎、高橋直治、村島俊、一戸正吉、山本繁作、遠藤彦悦、大淵友信、豊田徳五郎

敷香町

町長松尾福治、助役川野操 収入役加地秀次【町會議員】仲原常吉、山下嘉藏、池田正三、柏木藤吉、和乎茂次、尾崎政太郎、高島慶孝、山内善之、佐藤政雄、村上春四郎、堀義雄、小林國穂、千原常雄、柴引珠、小野重吉、永井健三、池野長松、森井勝則、五十嵐勇、折戸謙市、秋野豊治、島谷榮二郎、巻坂大次郎、岸孫太郎、千原長兵衛、佐古慶二、大杉盛徳、大久保誠之助、竹田理藏、水島與太郎

内路村

村長和田藤太郎、収入役佐藤武平【村會議員】佐伯廣次、高山芳三、柿沼富太郎、武井民雄、平山孝之、吉田

財政

樺太廳歳計

樺太廳昭和十四年度豫算は、十三年度豫算を突破すること實に六百萬圓、二割増の四千六百七十四萬圓といふ未曾有の膨大豫算を示現し、交通、文化、港灣

は何れも二箇年乃至六箇年繼續事業である關係上更に昭和十五年

豫算は次の通り。

Table with columns for '歳入' (Revenue) and '歳出' (Expenditure) under '歳入經常部' and '歳出臨時部'. It lists various items like land taxes, property taxes, and administrative costs with their corresponding amounts in yen.

Table of financial items and amounts for the city of Hokkaido, including categories like 'Second Item: Business Expenses' and 'Third Item: Special Expenses'.

租税並に税収
支那事變長期體制の強化に伴
なひ昭和十二年七月以降樺太に
施行された支那事變特別税並に
租税臨時増収は

Table showing tax revenue and income for various categories such as 'Land Tax', 'Business Tax', and 'Income Tax'.

市町村財政
市町村には基本財産の見るべ
きものなく、又税外収入も極め
て微少な爲自治體運営上大部
分の市町村は税収入に依つてゐ
るが、人口の自然膨脹、必要な
社會公共施設充實の必然的欲
求から何れの市町村に於ても財
政的窮乏に苦しんでゐるため、
樺太廳では昭和十二年度から市町
村財政交付金制度を設け之を一
般、特別の二制度とし、特別交付
金は特別な債務に苦しんでゐる
大泊町其の他の數箇町村に交付
した。市町村税は大體内地市町
村と同様で、直接國税に對する
附加税及び特別税の二種であり

一、附加税は市街宅地税、所得税、營業
収益税、舖業税、砂瀆區税の各附加税
二、特別税は特別税、建築物、所得税、
土地税、營業税、雜種税の六種
尙本島にあつては二級町村長
及び小學校教員の俸給全部に旅
費の一部(赴任旅費)は國庫で
負擔してゐる。

Table titled '市町村財政一般交付金' showing financial data for various municipalities in 13 and 14 fiscal years.

Table titled '市町村歳入' showing income data for various municipalities, including 'Tax Income' and 'Other Income'.

Table titled '租税收入' showing tax revenue for various categories like 'Land Tax', 'Business Tax', etc.

Table titled '市町村税内課' showing internal tax data for various municipalities, including 'Land Tax', 'Business Tax', etc.

樺太市町村豫算
樺太市町村の昭和十四年度豫
算は未曾有の膨脹を示し、その
總額は六百二十萬圓を遙かに突
破するに至つた。昭和十三年に
比較すると實に百萬圓の膨脹で

市町村税歳入 (十四年度)

Table of municipal tax revenue for 14 fiscal years, listing municipalities and their respective amounts.

Table comparing tobacco sales tax revenue for 13 and 14 fiscal years across various municipalities.

樺太と煙草

本島に煙草専賣法が施行せられたのは明治四十二年六月である。當時の煙草賣上代金は僅かに十二、三萬圓位に過ぎなかつたが、累年遞増し昭和十三年度に於ては正に三百萬圓を突破せんとするの盛況である。供給は豊原に専賣局出張所を置き、大泊、真岡、泊居、元泊(昭和十年十二月知取に移轉)敷香及び恵須取の六箇所に煙草販賣所を設置してゐる。

専賣局職員

- List of tobacco monopoly office staff including names and positions.

金融

本島の金融機關は銀行、信用組合、無盡營業、質屋、個人金貨業の他漁業金融機關として樺太共同漁業會社がある。北海道拓殖銀行は樺太領有と同時に政府の命に依り大泊に派出所を設置したが、當時樺太に對する拓殖資金の供給は同行の定款に之を規程せぬ爲行はず、越えて明治四十四年同銀行法の改正に依

銀行預金 (十四年四月)

Table of bank deposits for April 1944, categorized by bank and type of deposit.

拓銀島内支店諸預金及び貸出金 (十三年末)

つて樺太を營業區域に加へた。北海道拓殖銀行の他に樺太に本店を有する銀行は樺太銀行(本店大泊、支店真岡)があるのみ。尙北海道貯蓄銀行が豊原に支店を設けてゐる。北海道拓殖銀行の支店營業所設置箇所は、

拓銀島内支店諸手形金取扱高 (十三年中)

Table of bill handling volume for 13 fiscal years, listing branches and amounts.

銀行爲替取扱高 (十四年四月)

Table of bank exchange handling volume for April 1944, listing banks and amounts.

産業組合

樺太に産業組合法が施行されたのは大正四年六月十八日で、その後十箇年間は所謂基礎時代...

樺太産業組合概況 (△印は減)

Table showing financial data for various industry associations in Hokkaido, including items like '組合員数' (Number of members) and '調査組合数' (Number of surveyed associations).

樺太産業組合聯合會概況 (△印は減)

Table showing financial data for the Hokkaido Industry Association, including '利付' (Interest), '有價証券' (Securities), and '現金' (Cash).

商工會議所概要

Table listing commercial and industrial associations, their locations, and establishment dates.

無盡會社名

Table listing names of 'Mujin Kaisha' (Infinite Companies) and their locations.

商業

明治三十八年本島占領後新領土の通弊として所謂一攫千金を夢想し、浮薄なる商人の渡來する者頗る多かりしが、爾來幾多...

内藤泰一、村川與三郎、加藤源三、小島幸一郎、武田新太郎、樋口一夫、柳井善七、池下代吉、尾形彦太、藤塚水吉、結城潤生、百木智雄、谷戸隆重、深澤久作、細坪久一、渡邊朝郎、澤村石蔵門

◆ 須取商工會議所 會頭杉村宮作 副會頭樋口武、理事大塚國太郎

【議員】吉田市太郎、藤原誠三郎、太田市太郎、熊谷富一、佐野憲太郎、白石石藏、佐野憲、中城茂、梅内正雄、石川喜一郎、田口善一、吉田巴、澤田武造、阿部寅七、窪田午三郎、重田朝吉、金澤正一郎、阿部佐助、八瀬義三、島田徳松、渡邊三郎、横田喜一郎、王子製紙株式會社、樺太鑛業株式會社、小笠原隆平、高村純平、大泉長太郎、石井宗隆

◆ 泊居商工會 會頭魚谷次郎、副會頭中西善吉、理事藤田章

◆ 野田商工會 會頭石原寅八、副會頭大庭彦市、理事阿彦豐作

◆ 本斗商工會 會頭安田敬作、副會頭細忠次郎、理事藤田政夫

◆ 敷香商工會 會頭曾我浦三郎、副會頭西多井勝則、理事松見男

◆ 内幌商工會 會頭渡邊清橋、副會頭小田原計、理事今野強

◆ 落合商工會 會頭平澤弘美、副會頭和田義武、理事四十栗直次郎

◆ 留多加商工會 會頭渡邊由太郎、

副會頭島田道太郎、理事瀧田等

◆ 珍内商工會 會頭小泉忠彰、副會頭佐々木清十郎、書記山田

◆ 名好商工會 會頭平岡勘藏、副會頭古川綱藏、書記中山又男

◆ 樺太商工會議所聯合會 會長小林隆平、副會長太田謙雄、理事内山四男也

◆ 樺太商工會聯合會 會長石原寅八 副會長大庭彦市、理事阿彦豐作

△印は島外に本社を有するもの、尚銀行を含まず。

株式會社地方別狀況

會社數 公稱資本金 拂込資本金 積立金

總數	△ 二二	20,000,000	10,000,000	10,000,000
豐榮	△ 三	1,000,000	500,000	500,000
大泊	△ 三	1,000,000	500,000	500,000
留多加	△ 二	1,000,000	500,000	500,000
本斗	△ 一	1,000,000	500,000	500,000
真岡	△ 一	1,000,000	500,000	500,000
泊居	△ 一	1,000,000	500,000	500,000
鵜居	△ 一	1,000,000	500,000	500,000
元泊	△ 一	1,000,000	500,000	500,000
敷香	△ 一	1,000,000	500,000	500,000

組織別會社(銀行を除く)

株式會社 島外に本店を有するもの一五、島内に本店を有するもの三六三、この公稱資本金又は出資額は

島外	四〇三、七四〇、〇〇〇
島内	八七、〇二一、七五〇
積立金	八〇、三〇一、二二二
島内	八七、四七、七八
島外	一、七三三、四三二

尙各支店別株式會社數を見ると次の通り(何れも十二年三月末)

會社數 資本金又 積立金

總數	△ 二二	20,000,000	10,000,000
豐榮	△ 三	1,000,000	500,000
大泊	△ 三	1,000,000	500,000
留多加	△ 二	1,000,000	500,000
本斗	△ 一	1,000,000	500,000
真岡	△ 一	1,000,000	500,000
泊居	△ 一	1,000,000	500,000
鵜居	△ 一	1,000,000	500,000
元泊	△ 一	1,000,000	500,000
敷香	△ 一	1,000,000	500,000

合資會社

總數	100	10,000,000	5,000,000
豐榮	5	500,000	250,000
大泊	5	500,000	250,000
留多加	3	300,000	150,000
本斗	2	200,000	100,000
真岡	2	200,000	100,000
泊居	1	100,000	50,000
鵜居	1	100,000	50,000
元泊	1	100,000	50,000
敷香	1	100,000	50,000

合名會社

總數	100	10,000,000	5,000,000
豐榮	5	500,000	250,000
大泊	5	500,000	250,000
留多加	3	300,000	150,000
本斗	2	200,000	100,000
真岡	2	200,000	100,000
泊居	1	100,000	50,000
鵜居	1	100,000	50,000
元泊	1	100,000	50,000
敷香	1	100,000	50,000

産業

樺太は亞寒帯に屬し、土壤も稍瘠せて居り、自然の環境は必ずしも天恵多しといはれない。併しながら廣汎な農耕適地を抱擁し、全島を掩ふ有用な森林あり、また近海は世界三大漁場の一つに數へられ、地下には石炭その他の礦物を豊富に埋藏する等資源は豊かである。

こゝにわが樺太の産業状態を紹介し、その重要なものに就いて概況を述べることとする。

本島産業の重要なものは、林業、水産業、畜業及び農産業等で、殊に工業に於ける紙及びバルブ製造業は今日日本に於ける重要産業の地位を占めてゐる。その他アルコール及び酒類製造業、製糖業等の如き特殊加工業を除いて、一般産業の状態を概観すると、その大部分は原始産業又は低度の原料加工業である。これ等の年々躍進の一途を辿つてゐる。

樺太中央試験所 樺太に於ける自然科学の殿堂として昭和四年獨立した樺太中央試験所の果しつゝある研究業績は貴重である。現在の組織は農業、畜産、林業、水産並に昭和十二年新設された化學工業の五部と庶務課に別れてゐるが、此の内西海岸泊に水産部が分離し、宇遠泊に農事支所、恵須取に支所あり、夫々地方の氣候環境、地質に應じた研究調査試験を實施してゐる。

△農業部 第一、第二、第三、第四の四科に別れ、第一科は種籾及び農作物の理に関する研究部門で第二科は農作物の病害、密接農、有用野草及び雑草等に関する研究を行い、第三科は農業の化學的研究部門で土壤、肥料等を調査研究し、第四科は醸造に関する事項を擔當してゐる。

△畜産部 第一、第二、第三の三科に別れ、その事業の分掌は、第一科が牛馬畜産改良飼養管理及び衛生、生産物處理、種牡牛馬の貸付種付、飼料作物の研究及び經營を掌り、第二科は主として豚、鶏、家兎、養狐其の他の毛皮動物及び家畜の畜産改良飼養及び衛生に関する事項に生産物に関する事項を擔當する。第三科は家畜、家禽の飼養及び畜産物の化學的研究及び加工利用、畜産製品の改良等に關する事項。

△林業部 第一科より第三科に別れ、第一科は森林育成に関する研究、第二科は木材の物理的、機械的及び化學的性質を究明し、林木の利用加工法を講究する。他樹脂、針葉油又はタンニンの採取抽出、製炭、食用菌等の培養等専ら森林副産物の利用法に對する研究試験を擔當し、第三科は森林施業法、林木成長材積査定等を受持つてゐる。

△水産部 第一科に別れ、第一科は淡水水産物の形態、海洋漁場、湖沼等に關する調査、第二科は漁法、漁具、漁船の調査研究及び水産實習生の養成、第三科は水産物の化學的研究、同加工利用、水産製品の改良並に水産に關する物料の分析鑑定に關する事項を、更に第四科は淡水水産物の増殖保護及び種卵の配布に關する事項。

合名會社

總數	100	10,000,000	5,000,000
豐榮	5	500,000	250,000
大泊	5	500,000	250,000
留多加	3	300,000	150,000
本斗	2	200,000	100,000
真岡	2	200,000	100,000
泊居	1	100,000	50,000
鵜居	1	100,000	50,000
元泊	1	100,000	50,000
敷香	1	100,000	50,000

株式會社

總數	22	20,000,000	10,000,000
豐榮	3	1,000,000	500,000
大泊	3	1,000,000	500,000
留多加	2	1,000,000	500,000
本斗	1	1,000,000	500,000
真岡	1	1,000,000	500,000
泊居	1	1,000,000	500,000
鵜居	1	1,000,000	500,000
元泊	1	1,000,000	500,000
敷香	1	1,000,000	500,000

合資會社

總數	100	10,000,000	5,000,000
豐榮	5	500,000	250,000
大泊	5	500,000	250,000
留多加	3	300,000	150,000
本斗	2	200,000	100,000
真岡	2	200,000	100,000
泊居	1	100,000	50,000
鵜居	1	100,000	50,000
元泊	1	100,000	50,000
敷香	1	100,000	50,000

合名會社

總數	100	10,000,000	5,000,000
豐榮	5	500,000	250,000
大泊	5	500,000	250,000
留多加	3	300,000	150,000
本斗	2	200,000	100,000
真岡	2	200,000	100,000
泊居	1	100,000	50,000
鵜居	1	100,000	50,000
元泊	1	100,000	50,000
敷香	1	100,000	50,000

△化學工業部 化學工業の各種部門に互り資源の開拓とその利用厚生に對し具體的な研究目標を定め、試験に當つて著々準備を進めてあるが、近々その試験研究の片鱗が表れるものと期待される。

二農産

本島は所謂亞寒帯に屬するが地味澁肥沃で、農作物の種類は水稻を除いては北海道と大差なく、麥類、豆菽類、馬鈴薯、根菜類、葉菜類、牧草の各種はむしろ優れてをり、全島に亘つて廣範圍に栽培されてゐる。そしてこれ等農耕地面積は僅かに三四、八八八ヘクタールで、農耕適地三三四、八七二ヘクタールに比べるとその一割強に過ぎず、今後開發の餘地が多く且尙改善を要するものが多い。農業は本島開發の基本的産業であるから、樺太廳では鋭意土地及土壤の改良等に關し適當の指導及び各種の施設に努めると共に、本島の自然的及び經濟的條件を

克服利用して適切なる方策を樹立し、所謂亞寒帶農業の確立を期しつつある中で、前途に望を賜はれてゐる。今主な作物についてみると次の通りである。
△麥類 麥類は本島の氣候風土に適し生育好なもので一般的に栽培され、わけても燕麥は本島農産物の首位を占めてゐる。小麦は洋麥農産物であるが、小麥は本島産小麥は本邦唯一の硬質小麥に屬し、パン及び高級菓子製造原料に適し、年々巨額の輸入をしてゐるカナダ産硬質小麥に比し適かに優秀であるから、これが増産獎勵に努めてゐる。このほかライ麦、裸麥、大麥等も栽培され、味に巧善な農家の食糧自給を國庫獎勵してゐるので、その栽培も逐年増加してゐる。
△豆類 豆類は本島に於ける主要農産物で廣く一般に栽培されてゐるが、わけでも重要なものは納豆である。本島産納豆は氣候風土の關係から色澤鮮明、品質良好のため北海道産を凌駕し、製品検査の徹底とともに、市場に於て好評を博し、製品は海外にも輸出されてゐる。豌豆に次ぐのは菜豆、蠶豆であるが、その他大豆、小豆等の栽培にも適してゐる。蠶豆は飼料とともに本島好適の作物で、島外移作物として將來頗る有望であ

り、家畜の飼料としても燕麥と共に重要なものであるから、その作付は今後益々増加するであらう。
△馬鈴薯 馬鈴薯は燕麥と共に本島の重要作物である。従来は副産物に供せられてきたが、従来は副産物に供せられてきたが、近來は副産物の原料として製造されるほか、酒精製造の原料として相當量の需要をみるに至つた。
△甜菜 本島は甜菜の栽培に適し、含有率も豊富であり、小麥、馬鈴薯等との輪作上極めてはるが作物で、實に本島農業の増進を爲し、これを原料とする製糖事業を獎勵、昭和十一年に樺太製糖會社が設立され、その作付反別は四千町歩に達する計畫である。
△その他 薯蕷、蕪菁及び亞麻等工業作物の栽培にも適し、その品質も亦優良である。又飼料作物たる牧草、彌草、畜草、ビート、クロレーパー等も生育極めて良好で反當收穫量も多いので、畜農業經營上の好條件となつてゐる。

Table with 2 columns: 支廳別 (支廳別) and 農産團體支廳別内譯 (農産團體支廳別内譯). Rows list various agricultural products and their values.

一畜産

本島は海岸線が長く、且近海は世界三大漁場の一と稱せられるだけに水産業は最も早く勃興し、鱈、鮭、鱒、蟹の漁獲を以て開いてゐる。水産物の主なるものは鱈、鮭、鱒、蟹、鰹、鮪、鯨、鮫、海鼠、帆立貝、北寄貝、昆布等で、水産總價額は諸諸類を合して一千九百萬圓を越

村には専任技術者を常置して農村の經濟更生を指導してゐる。指導村左の通り。

二畜産

本島農業の經營は畑作を基調とする爲、地力の維持増進を圖り且農家勞力の合理的利用上農家の經營方式は家畜の飼養が肝要である。而して本島の氣候風

土は家畜の飼養に適し、一面廣大な放牧地を有するからその將來は期待されてゐる。
畜牛は乳用、馬匹は曳曳及び農耕用として農業經營上の主要家畜で、現在は畜牛、馬匹とも相當數に達してゐる。乳製品中バターは保蔵性に富んでゐる為市場で歡迎され、年々産額を増加し、チーズ、カゼイン等も生産を見るに至る。尙製糖事業の開始に伴ひ煉乳事業の勃興も近き將來に期待され、馬匹も亦粗糲寒冷に堪へ、然も強健持久力に富んでゐるので耐寒軍馬に適する等、本島畜産の將來は頗る有望である。養蠶事業は大正四年に樺太廳殖産局で飼養試驗をしたのが本邦に於ける嚆矢で、爾來樺太廳の指導獎勵と相俟つて飼養者が増加し、樺太特有の産業となつた。養蠶の種類は赤蠶、紅蠶、十字蠶、青蠶、黒蠶、銀蠶等で生産額は約百九十萬圓に上り、生産毛皮は樺太蠶絲協会の統制下に羊毛兩州に輸出されてゐる。其の他豚、鶏及び家庭に於ても近時飼養技術の進歩に伴ひ銳意之が増殖を圖つてゐる。

Table with 2 columns: 昭和三十二年度 (昭和三十二年度) and 昭和三十一年度 (昭和三十一年度). Rows list various livestock products and their values.

民有牧場數 (昭和三十二年) 牧場數 (一ヘクタール) 飼料畑 (一ヘクタール)
其の他 數 三、五〇六 價 五〇、七〇七

ゆるに至つた。過去に於ける本島水産業は専ら主要魚族たる鯿、鮭、鱒を對象とする偏つた經營に陥つてゐたが、近年漁獲皆無の地方もあり漁撈の恒久性を缺くのに顧みて、現在本島水産業の主眼は水産増殖に置いてゐる。

第一に鮭人工孵化事業と昆布の繁殖である。現在孵化場の数は樺太廳直轄五箇所、中央試験所兼第一箇所、水産會經營五箇所、昭和十二年は鮭四千萬尾、鱒一千四百萬尾を放流し、昆布に對しては昆布畑の築設及び磯掃除の奨励を行ひ相當の成績を挙げたる。次に一般漁田の荒廢防止のため漁業區域の設定、漁具、漁船の制限、種魚、稚魚の捕獲禁止を行つてゐる。又漁田の開拓に就いては海洋及び海流の状況を調査研究し、各種魚族に對する試験を行ふ等、その多角化に努め、鮭、鱒の漁獲にかたよる弊を矯正するに努力した結果近時漁業者が漸次自覺し漁船の改良、漁場の開拓、増殖事業、加工製造業の多方面に互り多角的漁業經營に乗り出すやうになり、著しい堅實性を加へて來た。

水産物生産總額 (昭和十三年) 表。種類別、数量、価格、金額のデータを含む。

水産製造物の検査種類 表。各種水産物の検査項目と数量のデータを含む。

れ、組合を通じて漁業の統制並に漁家經濟の發達を圖つてゐる。現在漁業組合数は五十、組合員数は五千餘人に達したので、昭和十年三月漁業組合を保證責任組織の漁業協同組合に組織を變更し、之が聯合會の結成を見、別に全島漁業者を以て組織せる樺太共同漁業株式會社があり、資本の融通と販賣統制の役割に當つてゐる。

鮭人工孵化 (昭和十三年)

鮭人工孵化 (昭和十三年) 表。富内湖、白鳥湖、來知志湖、遠瀧湖、池邊湖、手井湖の孵化データを含む。

鯿、鮭人工孵化 (昭和十三年)

鯿、鮭人工孵化 (昭和十三年) 表。孵化場名、經營者、採卵粒數、採卵粒數のデータを含む。

鯿、鮭漁獲高概算 (昭和十四年度)

鯿、鮭漁獲高概算 (昭和十四年度) 表。計、其、土、定、置、専、用のデータを含む。

春鯉漁獲高

(昭和十四年度)

Table showing spring chub catch statistics for various districts in Hokkaido for the 14th year of the Showa era. Columns include district names and catch amounts.

水産團體

(昭和十四年六月現在)

Text describing various fisheries associations and their activities in Hokkaido as of June 1945.

郡漁業協同組合高橋小治郎、外知床漁業協同組合向市松、札塔漁業協同組合渡邊次郎、知床漁業協同組合本直吉、...

水産物関係有力會社、本島共同漁業株式會社、日本水産株式會社、...

林業

本島の森林は天然林で、樹種約百二十二種の内喬木四十九種、灌木七十三種に分類されるが、...

既往五箇年林野火災原因別比較

Table comparing causes of forest fires over five years (1939-1943). Columns include year, cause (e.g., cigarette, match, lightning), and number of incidents.

既往五箇年林野火災増減比較

Table comparing the increase and decrease of forest fires over five years (1939-1943). Columns include year, area affected, and number of fires.

林務署管區

東京帝大、愛宕村小田幸、大田、四、一、二、...

林業企業委員會

近時石炭事業の勃興に伴ひ坑木用材の需要増大等に依り林政再検討の必要に迫られるに至つた爲樺太廳では林業企業委員會を設置したが、...

鑛産

本島の鑛物資源は石炭を主とし、石油はこれに次ぎ、他に砂金、銅、硫化鐵鑛等の有用鑛物

島拓殖上森林の重要地位は推知るに足るであらう。更に近時軍需工業の勃興に伴ひ燃料需要に關連し本島石炭鑛業は著しく發展し坑木需要の増加を來し、戦時財政經濟に對處するべく増産計畫にいつても之が資材の一部を本島森林から増産の已むなき状態である。

斯様に本島の林業は戦時下本邦重要産業として重大なる役割を演じつゝある。本島の森林は領有以來大正七年迄約十六、七年間は見渡す限りの密林であつたが、大正八年突如として松毛蟲の大發生あり、被害木の利用が急だつたのに應じ造林伐採事業勃興を來したために南部の廣漠たる美林は密閉を破られ、森林は荒廢を見るに至つたので、樺太廳ではこの復興對策として昭和七年林政の全面的改革を斷行すると共に施業案による森林の基本的計畫を確立し、一面官民造林事業を擴張して極力民力の保持更生に努め、森林の合理化經營を期しつゝある。

大學演習林、大正三年四月小田寒川流域に

が発見されたものもあるが、之等は未だ採掘の域に達してゐない。石炭は一部の地方を除いて殆ど全島の分布し、その産額は巨額に上りわが國燃料國策上重要な地位を占め、然もその性質は石油代用液體燃料に好適し現に石炭低溫乾餾の工業化を見るに至り、今や本島の石炭鑛業は急テンポの増産を遂げ、本邦軍需工業の進展に多大の寄與をなしてゐる。

炭田の主なるものは北部、中部、南部の三大炭田、恵須炭田、西樺丹及び東海岸炭田等、主として白雲系より成る西樺丹炭田の兩側に發達する古第三系及び新第三系に賦存してゐるが、これは上部炭層、下部炭層の二層に分かれてゐる。上部炭層は東海岸では北は同境から南は白浦に至る約二五三軒の間及び中知床半島特別地方に發達し、わけても北部封鎖炭田中の内川地方には厚層の炭層がある。西海岸南部の炭層は野田地方に局部的に存在するほか本斗より十和田に至る約五軒の間に發達し厚さ約三百米に及んでゐる。この他北は札幌地方より南は岨川上流地方に至る約一、二〇軒の間に發達し約四百米に達してゐる。石油は西海岸一帯及び中央低

司法

占領當時軍政署を樺溪に置き占領軍司令官が軍政長官を兼ねて立法、司法、行政の三權を行使したが其の期間は約一箇月であつた。明治三十八年八月二十一日亞港に樺太民政署が置かれ翌九月樺溪に移轉されて後軍司令官は軍令を發して各種の規則を制定し、民事、刑事の裁判を爲さしめる權利を有つてゐた。其の頃民事、刑事の裁判を行ふ所を民政法院と稱した。明治四十年三月樺太廳官制が公布され、三月三十一日軍政が廢止されるに及んで司法事務と行政事務とが分離して四月一日司法省管轄の下に樺太地方裁判所、ウラジミロフカ區裁判所、マウカ區裁判所が設置され、之等の裁判所には同時に檢事局が設置された。

Table with 2 columns: 樺太地方裁判所 (Hokkaido District Court) and 豊原區裁判所 (Toyohara District Court). Rows include categories like 第一審 (First Instance), 控訴 (Appeal), 抗告 (Writ), 假差押假處分 (Provisional Seizure), 非訟事件 (Non-litigious), 其他事件 (Other), and 計 (Total). It shows the number of cases and the amount in yen for each category.

Table with 2 columns: 樺太供託局 (Hokkaido Deposit Office) and 眞岡區裁判所 (Makino District Court). Rows include categories like 利有現 (Interest/Current), 價證金 (Deposit), 息券 (Interest Certificate), 計 (Total). It shows the number of cases and the amount in yen for each category.

工業

本島に於ける工業は天然の原料資源が豊かなのに加へ助成原料たる石炭の産出は極めて豊富であるため、その發展の要素に頗る恵まれてゐる。本島拓殖の進展するに従ひその新企業の勃興をみるに至つたが、特に近時本邦産業に於ける戦時體制の一翼として本島工業、わけてもパルプ、人絹工業並に石炭液化工業等は生産力の擴充に目ざましき躍進を遂げつゝある。

パルプ工業は王子製紙株式會社の經營で大泊、豊原、野田、泊居、眞岡、恵須取、落合、知取の八箇所工場を建設し、又日本人絹パルプ株式會社は散香に工場を建設し本邦パルプの大半を生産してゐる。油化工業は石炭を原料として三菱石炭油化工業株式會社が眞岡工場によつて經營されてゐるが、本邦石油資源の缺乏に際し樺太の地質に成功し頗る將來の合理的且化學的製法に成功し、本島に富んでゐる。尙十四年度より中部封鎖炭田(東海岸内海炭田)の解放に依り樺太人造石油株式會社(假稱)の設立を見るに至つたことは頗る注目すべき點である。

Table titled '清酒醸造果年比較' (Comparison of Sake Brewing Results Year by Year). It shows data for various years (e.g., 昭和六年, 七年, 八年, 九年, 十年) across different categories like 醸造年度 (Brewing Year), 製造場數 (Number of Breweries), and 價額 (Value).

資本金 貳千萬圓 (全額拂込済)



日本人絹パルプ株式会社

社長 高島 菊次郎
 常務 山内 幾馬
 同 務 木下 又三郎
 敷香工場長

本社及工場 樺太敷香郡敷香町大字敷香字敷香北一番地
 東京事務所 東京市麴町區有樂町一丁目一〇番地

戸籍に関する届出種類及び件数 (十三年度分)

種別	本籍人	非本籍人計
出生	三、〇三三	四、〇三三
出生	六	一三
養子縁組	三三	三〇〇
養子縁組	三三	三〇〇
婚姻	六	一三
婚姻	六	一三
親縁後見及び補佐	三	三
親縁後見及び補佐	三	三
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
家督相續	三	三
家督相續	三	三
家督相續人の指定	一	一
家督相續人の指定	一	一
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
家督相續人の廃除	一	一
家督相續人の廃除	一	一
廢家及び廢家再興	三	三
廢家及び廢家再興	三	三
氏名俗稱の變更	二	二
氏名俗稱の變更	二	二
就讀及び轉籍	一	一
就讀及び轉籍	一	一
追完訂正其他	一	一
追完訂正其他	一	一
合計	六、八五五	一〇、二五五

種別	本籍人	非本籍人計
出生	三、〇三三	四、〇三三
出生	三、〇三三	四、〇三三
養子縁組	三三	三〇〇
養子縁組	三三	三〇〇
婚姻	六	一三
婚姻	六	一三
親縁後見及び補佐	三	三
親縁後見及び補佐	三	三
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
家督相續	三	三
家督相續	三	三
家督相續人の指定	一	一
家督相續人の指定	一	一
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
家督相續人の廃除	一	一
家督相續人の廃除	一	一
廢家及び廢家再興	三	三
廢家及び廢家再興	三	三
氏名俗稱の變更	二	二
氏名俗稱の變更	二	二
就讀及び轉籍	一	一
就讀及び轉籍	一	一
追完訂正其他	一	一
追完訂正其他	一	一
合計	七、七五五	一〇、二五五

種別	本籍人	非本籍人計
出生	三、〇三三	四、〇三三
出生	三、〇三三	四、〇三三
養子縁組	三三	三〇〇
養子縁組	三三	三〇〇
婚姻	六	一三
婚姻	六	一三
親縁後見及び補佐	三	三
親縁後見及び補佐	三	三
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
死亡及び失踪	一、二四一	二、四二五
家督相續	三	三
家督相續	三	三
家督相續人の指定	一	一
家督相續人の指定	一	一
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
入籍離婚及び復籍拒絶	七	八
家督相續人の廃除	一	一
家督相續人の廃除	一	一
廢家及び廢家再興	三	三
廢家及び廢家再興	三	三
氏名俗稱の變更	二	二
氏名俗稱の變更	二	二
就讀及び轉籍	一	一
就讀及び轉籍	一	一
追完訂正其他	一	一
追完訂正其他	一	一
合計	七、七五五	一〇、二五五

に大泊には民政署拘禁所、豊原及び眞岡には拘禁所支署を置いて民政署司法委員の管掌に属する未決、既決の囚人を收容した。明治四十年三月三十一日軍政が撤廢せらるゝや、同年四月豊原に札幌監獄樺太分監が設置せられた。

同分監は大正十一年十月樺太利務所と改められ、翌十月眞岡には樺太利務所眞岡出張所が設けられたが大正十三年之を札幌利務所樺太支所として札幌利務所眞岡出張所と改稱せられた。更に昭和四年十二月に及び、之を樺太利務支所に眞岡利務支所と改められ、昭和十一年三月樺太利務支所と改稱せられた。

昭和十四年七月末現在の收容人員左の通り。

受刑者	刑務所	勞役場	計
一〇	一〇	二	一二

樺太保護會 大正八年豊原に創立、更に昭和六年末眞岡に支所が設置されたが、樺太刑務所及び眞岡支所釋放者並に樺太地裁管内に於ける刑の執行猶豫者起訴猶豫等の司法處分を受けた

喜四郎
△廣地 團長吉松作次郎、副團長北川銀
生、幸村忠次郎
△野田 團長長谷川又次郎、副團長吉池
力行、宮内喜助、田中勇太郎
△小能登 團長近藤民藏、副團長石田
留吉、武内美登、宮本藤吉
△泊居 團長長一保、副團長衛藤文雄、
中山貞、三宅俊藏
△來知志 團長佐藤義一、副團長黒石三
郎
△名寄 團長穴田亮平、副團長丹波源治
△三濱 團長小泉忠彰、副團長盛初太郎
小黒勝太郎
△久春内 團長新妻富次郎、副團長佃佐
市、宮田鶴嶺、小林吉藏
△惠須取 團長高村純平、副團長佐藤英
次郎、石井宗隆、樋口武
△塔路 團長山口三之助、副團長宇野
太郎、愛好吉助、窪田男爵
△鶴城 團長水野建次、副團長遠藤啓次
郎、奈良徳助
△名好 團長鶴見才三郎、副團長大原五
郎、赤坂富三郎、出口正一郎

衛生

樺太に於ける醫事行政が漸く軌道に乗り初めたのは一二年の近い過去に過ぎない。昭和十

年樺太廳に衛生技師、學校衛生技師が設けられ、續いて衛生課が出現した。これを以て樺太の衛生施設に新しい黎明の訪れたものと見做すことが出来る。

看護婦數

(昭和十三年度末)

署別	昭和九	昭和一〇	昭和一一	昭和一二	昭和一三
署	九	一〇	一一	一二	一三
大泊	一	一	一	一	一
落合	一	一	一	一	一
豐原	一	一	一	一	一
留多加	一	一	一	一	一
本斗	一	一	一	一	一
真岡	一	一	一	一	一
野田	一	一	一	一	一
泊居	一	一	一	一	一
惠須取	一	一	一	一	一
元泊	一	一	一	一	一
知取	一	一	一	一	一
計	109	104	104	104	104

藥劑師開業數

(昭和十三年度末)

署別	昭和九	昭和一〇	昭和一一	昭和一二	昭和一三
署	九	一〇	一一	一二	一三
大泊	一	一	一	一	一
落合	一	一	一	一	一
豐原	一	一	一	一	一
留多加	一	一	一	一	一
本斗	一	一	一	一	一
真岡	一	一	一	一	一
野田	一	一	一	一	一
泊居	一	一	一	一	一
惠須取	一	一	一	一	一
元泊	一	一	一	一	一
知取	一	一	一	一	一
計	109	104	104	104	104

産婆分布狀況

(昭和十三年度末)

署別	昭和九	昭和一〇	昭和一一	昭和一二	昭和一三
署	九	一〇	一一	一二	一三
大泊	一	一	一	一	一
落合	一	一	一	一	一
豐原	一	一	一	一	一
留多加	一	一	一	一	一
本斗	一	一	一	一	一
真岡	一	一	一	一	一
野田	一	一	一	一	一
泊居	一	一	一	一	一
惠須取	一	一	一	一	一
元泊	一	一	一	一	一
知取	一	一	一	一	一
計	109	104	104	104	104

齒科醫師分布狀況

(昭和十三年度末)

署別	昭和九	昭和一〇	昭和一一	昭和一二	昭和一三
署	九	一〇	一一	一二	一三
大泊	一	一	一	一	一
落合	一	一	一	一	一
豐原	一	一	一	一	一
留多加	一	一	一	一	一
本斗	一	一	一	一	一
真岡	一	一	一	一	一
野田	一	一	一	一	一
泊居	一	一	一	一	一
惠須取	一	一	一	一	一
元泊	一	一	一	一	一
知取	一	一	一	一	一
計	109	104	104	104	104

死亡の原因

昭和十三年末調査に依る本島の死亡者總數は六千八百五十五名(男三、五四〇、女二、五四五)であり、その死亡原因の主なるものは左の如く、呼吸器の疾患並に消化器の疾患が非常に多い。

- △其の他の種別 男一、一五、女一、〇二
- △神經系及び感器の疾患 男四、二五、女一、九
- △九〇〇血行器の疾患 男三、三八、女一、二五
- △呼吸器の疾患 男五、三三、女四、四〇
- △消化器の疾患 男五、三六、女四、五三
- △泌尿生殖器の疾患 男一、一七、女一、〇五
- △乳兒固有の疾患 男二、〇一、女一、七六
- △老衰 男九、一、女一、〇六
- △外因死 男三、九二、女二、九
- △レウマチス性疾患 男三、九二、女二、九
- △他全身病 男一、四〇、女七、二

結核死亡數

樺太の結核死亡數は全國でも最高の數率を示し亞寒帯の特殊風土を表示してゐるが、樺太廳ではこれが對策として昭和十四年度より衛生協會を設立する他結核療養所を設置することに決定、右療養所の敷地を豊原市近郊の大澤、清川間附近に建設す

ること略々決定、昭和十五年度より工事に着手することになった。尚療養所は病室大體百で引續き増築を行ひ將來は三百室程度の大療養院とする意向である。又これと同時に結核豫防法をも施行して結核病の撲滅を期することになった。

結核死亡數並に死亡率

(昭和十三年)

市町村	人口	死亡數	死亡率
全島	三三、三〇六	一、〇三六	三・一
大泊	一、七〇〇	五	〇・三
落合	一、七〇〇	五	〇・三
豐原	一、七〇〇	五	〇・三
留多加	一、七〇〇	五	〇・三
本斗	一、七〇〇	五	〇・三
真岡	一、七〇〇	五	〇・三
野田	一、七〇〇	五	〇・三
泊居	一、七〇〇	五	〇・三
惠須取	一、七〇〇	五	〇・三
元泊	一、七〇〇	五	〇・三
知取	一、七〇〇	五	〇・三
計	三三、三〇六	一、〇三六	三・一

兵事

明治三十八年九月ポーツマス條約により南樺太が邦領に歸するや、二箇聯隊を以て樺太守備隊を組織し、陸軍少將山田安永が司令官となつて守備に任じ、明治三十九年七月陸軍少將楠瀬幸彦が之に代つた。當時守備隊の兵力は一箇大隊で、楠瀬町に駐屯してゐた。明治四十年守備隊は豊原に移され第七師團に屬せしめられたが、大正二年五月に及んで撤廢せられた。樺太廳政の順調なる進展と國際情勢好調の爲其の必要を認めなくなつたからである。

大正九年尼港事件が勃發し、北樺太が保障占領せられた際、再び豊原と内路とは約一箇大隊の駐屯を見たが、大正十四年日露新協約の締結によつて撤廢

せられた。

大正十三年徴兵令が施行せられ、樺太は第七師團の管区に入り旭川陸隊區の所管に属した。徴兵署は大正十四年大泊、豊原、元泊、泊居、真岡に開設せられたるを嚆矢とし、留多加、落合、知取、敷香、惠須取等に増設せられたが、昭和十年留多加と落合とは廢止せられた。海軍志願兵検査は大正十四年適用せられたが當時は樺内で徴兵検査を受けた。検査所は昭和二年豊原に設けられたのを嚆矢とし、志願者の増加に伴つて真岡、大泊、知取、本斗等に増設せられた。在郷軍人に對する演習召集や簡閱點呼は、徴兵令施行以前は特別に執行せられたが、大正十三年以後は内地と同様に陸海軍とも召集規則の定むるところによつて執行されることとなつた。昭和九年には島民多年の熱望により豊原に憲兵分隊の設置を見、昭和十四年には敷香、惠須取にも分駐所を設置された。

軍人援護會樺太支部

昭和十三年十二月二十八日結成され、樺太中央統後援會の事業を承繼し、銃後の護に完璧を期してゐる。昭和十四年度には約二十萬圓の豫算で次の事業を繼續し、軍人援護の實を擧げ

つゝある。

扶助事業△事業資金の交付△慰問慰勞△慰勞△統後援會表彰△教化指導△授職輔導△青英事業

交通

道路、港灣

樺太廳の施政以來道路の開鑿に力を注いだ結果、年を逐うて改善された。本島はその地形上道路は海岸線を選ばねばならず、幹線道路は東西兩海岸の縦貫線と、之を連絡する横斷線とに依つて構成されてゐる外、主要市街を連絡する路線と農耕植民部落を連絡する農耕道路とに別れてゐる。現在の主要道路の延長一、七二七軒二一六。尙産業の發達に伴つて本島と内地との交通が頻繁になり、内外交通の連絡設備が必要とされるに至つたが、本島は天然の良港が甚だ乏しいので、樺太廳では調査研究の結果、内外の連絡港として大泊、真岡、本斗、敷香、惠須取の五港を築港する計畫を樹て居り、殊に惠須取

の如きは近時石炭礦業の躍進的勃興に伴ひ、昭和十四年度より五ヶ年繼續事業として大港灣建設の第一歩を踏出し、更に沿海に於ける小汽船及び漁船の留置と避難所施設の必要を感じたので、船人調の築造を圖る等、海運の發達促進を期してゐる。

樺太の鐵道(總説)

本島に於ける鐵道の濫觴は明治三十九年九月、時の樺太守備隊が軍需品輸送の目的を以て、僅々六十餘日の短期日の間に敷設せる當時のゴルサコフ(現在の楠溪町)ウラジミロフカ(現在の豊原)間の軍用輕便鐵道を以て嚆矢とす。次いで翌四十年四月一日樺太廳の設置に伴ひ、樺太廳に移管された。爾來之に改善を加ふると共に、漸次新線を計畫敷設する等幾多改變を重ねた。一方大正十年四月地方鐵道法、鐵道抵當法及び樺太地方鐵道補助道株式會社落合南新開間の工事に著手、超えて大正十一年十一

月北海道北見線の開通するに及び、大正十二年五月一日樺内、大泊間鐵道省航路を介して鐵道省と連帶運輸の開始を見るに至り、茲に本島鐵道の一新紀元を劃するに至つた。

現在に於ける營業路線の延長は、樺太鐵道三百七十五軒八分、地方鐵道二百八十二軒五分、外に南北橫斷鐵道自動車路線百八十軒八分を有し、目下鐵道に於て新線計畫中の東海岸敷香一氣屯間及び西海岸久春内一惠須取間の二線を合すれば、約千五百軒餘の延長となる。新線計畫中の前者は、昭和十六年より一般運輸營業開業の豫定、後者は既に久春内一珍内間の路盤の建設を終り、北部股鐵工業都市惠須取との鐵道連絡の日も近き將來にある。

國有鐵道及び自動車營業路線

東海岸線 大泊港一豊原間

川上線 小泊一川上炭山間
豊原線 豊原一上手間
西海岸線 本斗一久春内間
南部橫斷線 本斗一留多加間(自動車)
北部橫斷線 内路一惠須取間(自動車)
△東海岸線

△東海岸線

本線は前述の通り明治三十九年九月、我が陸軍省樺太臨時派遺隊鐵道班が、楠溪町一豊原間二六哩七十四日に工を起し、晝夜兼行僅かに六十餘日の短期日に作りあげた軍用輕便鐵道である。當初路線の勾配も往々急に失し、屈曲亦著しく十八度勾配を用ひ、軌間六十哩、牽引力も甚だ少く、獨逸双合式機關車二輛を連結して辛うじて四噸無蓋貨車六輛を牽引したるの實狀なり。而も軍政中のこととして、軍需品の輸送を専らにし、其餘力を以て旅客、貨物の運送を許したのである。客車設備も不完全で旅客は氷點下數十度の酷寒季節に、二六哩餘の短距離を六時間費して決死的旅行をした。明治四十年四月一日樺太廳に移され、同年八月一日より一般運輸營業を開始するに至つた。

翌明治四十一年六月一日大泊一楠溪町間を軌間一六七となし、茲に初めて普通鐵道としての形態を整へ、明治四十四年六月豊原一豊原間に延長工事を起し同年十二月竣工、茲に大泊一豊原間を結ぶ本島亞細亞と、東海岸を縱貫する延長九十五軒一分の現東海岸線を完成するに

到つた。其の後昭和三年八月三十一日大泊突堤完成に伴ひ、海陸連絡の便を計る爲大泊港驛を新設し、同年十二月五日より大泊港一豊原間一軒六分を開業し、超えて翌昭和五年十二月七日大泊驛を清水谷に移設し、樺太港驛附近に榮町荷客扱所を新設し現在に到る。

△川上線

給谷、内浦兩河川の上流域は、中央炭田の領域、三井鑛山株式會社が之を開發經營するに當り、石炭輸送の目的を以て東海岸線小泊驛より分岐し、西北方川上炭山に至る新線を敷設、現川上線の前身為即ち之である。大正三年四月十日小泊一川上間一軒七分の營業を開始、同十一年十月一日川上炭山一川上炭山間九軒二分を開業、全線二十一軒九分の開通を見るに到れり。

△豊原線

首都豊原と西海岸の要地真岡とを連絡する本島唯一の東西兩岸を連絡する横斷鐵道である。本線開通前は船便に依るの外、僅かに馬車、馬車、自動車を利用し、人煙稀なる所謂豊原山道二十里の險を横斷するより外なかつた。中間に發着たる大森林と留多加川流域の豊饒なる農耕地を擁し、拓殖上重要な使命を有し、且一面本線の建設は稀有の難工事として知られ、有名なるループ線を本線豊原一池ノ間の中間に設けらる。大正十年九月十七日工事に著手し、同十四年十月一日

豊原一給谷間九軒九分、同十五年十一月十五日上手一達坂間三十一軒二分の部分開業、昭和三年九月三日給谷一達坂間四十二軒七分の營業開始を見、茲に豊原線として八十三軒八分の東西兩岸橫斷線の開通するに到れり。

△西海岸線

本線は本島西部の不凍開港たる本斗に基點を發し、真岡、泊居を経て久春内に達する西海岸線鐵道である。大正七年五月本斗一真岡間に著工し、同九年十月四十七軒三分の營業開始、更に大正十年十一月真岡一野田間四十七軒六分、昭和四年十二月真岡海岸支線一軒八分、昭和五年六月野田一追手間一軒六分、同十一年十一月追手間一泊居間一軒六分、同十二年十二月追手間一久春内間三十二軒九分を開業して、現在總延長百七十軒一分に及ぶ。

△南部橫斷線(自動車)

本線は西海岸本斗と東海岸新場驛とを結ぶ本島最南端の橫斷線にして、東西兩岸近距離運輸の使命を有し、加へて沿岸の風光美を稱揚する觀光線でもある。昭和九年七月留多加一上大豊間の道路竣工に伴ひ、該區間二十五軒の運輸營業を開始し、翌十年八月上大豊一本斗間四十六軒五分を開業、旅客及び手荷物、附屬

小荷物の取扱を爲してゐる。

△北部橫斷線(自動車)

本線は樺太東海岸鐵道線の最北部樺太鐵道會社線内路驛と、西海岸北部新興都市惠須取とを連絡する本島最北部の橫斷線である。沿線の培養と、北部東西兩岸を結ぶ使命を以て國有鐵道の代行線として本島交通上重要な位置にあり、沿線の風光美南部橫斷線を凌駕するものありて、夏秋の候觀光路線としての價値亦大である。本線は約百萬圓の巨費を投じて昭和十二年十二月竣工、翌十三年七月二十日より内路一上惠須取間運輸營業を開始、翌十四年六月二十日より更に上惠須取一惠須取間を延長運輸、旅客、手荷物、附屬小荷物の取扱を爲してゐる。北部重工業勃興の趨勢に鑑み、將來本線の利用價値は益々たかめられよう。

組織

現今の組織は昭和十一年十二月勅令第四四一號樺太鐵道事務所官制を定むるところにして、鐵道事務所は樺太廳長官の管理に屬し、國有鐵道及び之に關聯する國營自動車の現業事務並に其の附帶の業務を掌り、所長は鐵道事務官又は鐵道技師を以て充て、樺太廳長官の監督を受け所務を掌理し、部下職員

を指揮監督する。鐵道事務所内に庶務、經理、運輸、車輛、保線の五係を設け、現業事務の統轄を期し、現場機關として驛、荷客扱所、車掌所、機關車、保線區、電氣區、自動車所、大泊棧橋、豐原工場、豐原倉庫及び廳營ステーション食堂を設け、各部署に於ける業務を司掌せしめてゐる。

從業員 現在從業員は全線一千九百七十八名にして、鐵道事務官一名、鐵道技師二名、鐵道書記五十五名、鐵道技手四十三名、雇員六百十六名、備人一千二百六十一名。鐵道省及び外地各鐵道と比較する一軒當りの配員は甚だ過少なりと雖も、各系統に分屬銳意業務の能率化を圖り以て之を補填しつつある。

運輸成績 拓殖の進展、人口の増加及び線路の延長に伴ひ之が利用は逐年増加の趨勢にして、殊に大正十二年五月より鐵道省稚泊連絡船の配航に伴ふ

△運輸取扱量

Table with columns for passenger, freight, and other transport metrics. Includes sub-sections for passenger receipts and freight receipts.

地方鐵道の概要

樺太に於ける地方鐵道は孰れも其の性質上幹線たるべき地位にあり、本來國有として敷設すべきものであつたが、國家財政の關係上一時に之を促成し得ざるため其の實現を期するに至らなかつた。而して一方本島地方開發の必要は、拓殖進展上之を忽緒に附すべきに非ざるため一時民間企業者に代行させるの意圖を以て之を免許し、國有鐵道と相俟つて斯業の普及發達を企

圖するの必要上存立するに到つたのである。現在に於ける地方鐵道は樺太鐵道株式會社、南樺鐵道株式會社及び三菱石炭油化工業株式會社の三社にして、その延長は樺太鐵道株式會社線二百四十七軒五分、南樺鐵道株式會社線十八軒六分、三菱石炭油化工業株式會社線十六軒四分、總延長二百八十二軒五分に達してゐる。然して各社線とも樺太鐵道を経由して、島内相互間及び稚泊、稚斗兩航路を介して、鐵道省線並に内地北海道の地方鐵道、軌道、航路及び臺灣總督府交通局線との連帶運輸をなし、各級區域に應じ一般旅客、手荷物、附隨小荷物、託送手廻品、閉塞郵便物、貨物の取扱をしてゐる。今昭和十四年度現在に於ける本島地方鐵道の概況を述べれば左の通りである。

樺太鐵道株式會社

中白通、真庭、元泊、知取、泊岸及び内路の各主要驛を設け、遠く本島奥地に於て、新興の機關に輝く國境の町數香を終點とする樺太東海岸鐵道建設に着手し、線路の延長二百四十七軒、本邦屈指の地方鐵道である。而して之が業務組織として、取締役を最高指揮監督者とする業務部長下に庶務、經理、運輸、保線、車輛の五課を置き、一般社業の統轄を期してゐる。商業機關たる營業所は、本社を樺太郡浦合町に置き、取締役會長其の他主なる重役の居住地が東京にある關係上業務連絡の爲出張所を東京市麹町區有樂町に設け、出張所事務分掌規程を制定して本社との連絡に當つてゐる。

津英の諸川を横斷し、豊勝地江ノ浦、濱路、濱路公園の各扱所を擁して終點留多加驛に至る延長十八軒六分の線である。當線は留多加驛を中心として、廣美一〇五方里に餘る留多加郡交通の基幹として、留多加川流域の大農耕地の開發に資し、且兩方面及び西海岸本斗方面に豐饒の二股方面への交通要路となり、主として製紙原料たる木材の大量輸送を其の使命とし、又礦産資源を始め樺太鐵道及び島内各社線とに互り一般運輸營業の連帶をなしてゐる。

此の外當社は鐵道の助成並に代行機關として、留多加一泊間三十九軒、留多加一豐原間(並川通り)四十軒の乗合自動車を経営し、留多加より豊原、大泊の二大都市に通ずる近郊旅客の利便を圖つてゐる。

Table listing various stations and routes, including names like 留多加、豊原、大泊、稚泊、稚斗, and associated companies like 留多加自動車.

南樺鐵道株式會社 當會社線は樺太東海岸東海岸新場驛を起點として、西灣内に沿ひて西走し、鈴谷、中ノ川、

三菱石炭油化工業株式會社線 當會社線は昭和十三年十二月内陸炭田解放せらるゝに及び、同地方に於ける物資の移動、人口の異動が漸次頻繁となり、加之同地方は本島屈指の農耕地にして、且又林産、鑛産及び水産等の資源豊富にして、内陸炭輪送に必要缺くべからざる

乗合自動車路線

Table listing bus routes and companies, such as 留多加、豊原、南樺鐵道, and 留多加自動車.

通信

沿軍 樺太の通信事業は領有當時軍事上の必要により野戦郵便局現在の豊原、大泊、真岡及び落合の四箇所と、大泊外七箇所の軍用通信所軍事通信の傍ら公衆郵便の一部と電報を取扱つたのに始る。明治四十年四月樺太廳が置かれると同時に樺太廳の管理に移され、大泊に郵便電信局を置いて一般現業事務と管理事務を取扱ひ、主要地に支局が設けられた。明治四十二年五月制度を改め、現業事務は普通及び特定郵便局で、管理事務は樺太廳の第一通信課で行ふこととなつた。

又無線電信局は大泊、恵須取の兩地に海岸局が設けられ、樺太沿岸航路は勿論一般北洋航行船舶の安全を計つてゐる。郵便 内地との郵便物の運送は稚泊及び稚斗連絡船を利用、順調に運行されてゐるが、島内にあつては交通機關未だ十分ならず圓滑でない。郵便に關する制度は内地と變りなく、近來航空郵便や郵便別配達又は島内の速達郵便も漸次利用者が殖えつゝある。樺太の郵便利用の特徴としては代金引換小包が非常に多いことである。種々の關係があると思ふが各局到着小包の四割が代金引換であることは特異とされよう。

より東京、大阪、福岡、福井、富山等の各地と通話が出来るやうになり、現在一日三百通話内外の通話を取扱つてゐる。爲替貯金 銀行其の他の金融機關が十分普及して居らぬため郵便局を利用する爲替貯金は相當に多い。殊に北部の造林地に於ける労働者は郷里へ送金するの電信爲替を以てすることが目立つてゐる。又最近造林業者や炭礦會社が其の資金を簡便な振替貯金を利用する向きが頗る多い。一會社が月二十萬、三十萬といふ資金を振替貯金に依つて内地から送金を受けてゐるところも二、三に止らない。

太に於ける簡易生命保険と郵便年金の取扱は大正十五年十月一日内地より十年遅れて實施された。しかし普及は誠に迅速で十四年五月末に於ける加入契約件数は十五萬三千四百九十四件、保険金三千三百三十二萬六千六百四十四圓を超え、加入率千人當り四百六十九件、全國率を遙かに凌駕してゐる。加入者の福祉施設としては豊原市、大泊及び真岡町に健康相談所が在り、地方加入者の爲には昭和七年以來毎年巡回健康相談を實施、醫療機關に乏しい地方の人々に十分利用されてゐる。又保險積立金の貸付も年々増加し低利を以て専ら公共事業に投資されてゐる。

ラヂオの普及 ラヂオは比較的高級な受信機でなければ聴取困難なるため當初は普及遅々たるものあつたが、仙臺放送局が出来、札幌放送局が完成するに及んで聴取容易となり漸次聴取者増加した。殊に支那事變勃發以來急激に増加、最近では九千六百を數へる。日本放送協會に於ける樺太放送局設置

案も著々進行し十四年中には著工の管で昭和十五年には豊原放送局が開設せらるるであらうが、之が業務開始の暁は更に一段と聴取者の數を増すことは論を俟たない。

良を大正十一年度より實施しつつあり、年々面目を改められ内地先進都市に劣らぬ施設さへ見ることが出来るやうになつた。即ち昭和六年豊原郵便局の電話が自動式に變更せられ、内地通信の補助機關として同局に短波無線電機が備へられた。又送つて九年には海底電線の増設が完成して島内主要局と北海道各都市は固

年加入者數(十三年度) 普通局 二 惠須取 七 大泊 七 特定局 三三 眞岡 三

ラヂオの普及 ラヂオは比較的高級な受信機でなければ聴取困難なるため當初は普及遅々たるものあつたが、仙臺放送局が出来、札幌放送局が完成するに及んで聴取容易となり漸次聴取者増加した。殊に支那事變勃發以來急激に増加、最近では九千六百を數へる。日本放送協會に於ける樺太放送局設置

ラヂオの普及 ラヂオは比較的高級な受信機でなければ聴取困難なるため當初は普及遅々たるものあつたが、仙臺放送局が出来、札幌放送局が完成するに及んで聴取容易となり漸次聴取者増加した。殊に支那事變勃發以來急激に増加、最近では九千六百を數へる。日本放送協會に於ける樺太放送局設置

支管内別局數(十三年度) 局數 取扱所數 豊原支局 一四 三三 大泊支局 二〇 三七 元泊支局 六 三三 敷香支局 一三 四一 本斗支局 九 一四 眞岡支局 九 二二 泊居支局 二二 二四 計 九二 二四

振替貯金口數(十三年度受拂) 普通局 拂込 拂出 豊原 五、四四〇 四、八八五 大泊 三、四四五 三、四四五 眞岡 一、八七三 一、八七三 惠須取 三、三六六 七、六七八 特定局 六、三三三 一、九四五

年金加入者數(十三年度) 普通局 二 惠須取 七 大泊 七 特定局 三三 眞岡 三

爲替貯金口數(十三年度受拂) 普通局 發信 著信 豊原 二、三三三 二、三三三 大泊 八、七七五 二、〇六五 眞岡 七、七五五 七、七五五 惠須取 一、三三三 一、三三三 特定局 八、七七五 七、七五五

神社、宗教 樺太に於ける神社は江戸時代から明治初年の開拓使時代にかけて各地に創立されたが、一時露領になつたがためにその趾さ

へも遷滅したものが少くない。南樺太が再び邦領に歸して後神社の創立を企圖する者が相踵いだ。明治四十三年豊原神社及び眞岡神社の創立が許可せられ、翌明治四十四年には全島鎮護の大祀として官幣大社樺太神社が創立せられた。

▽官幣大社樺太神社 祭神は大國魂命、大己貴命、少彥名神の三神一柱にして、豊原市の東郊に鎮座し明治四十三年起工、翌四十四年八月鎮座せり。大祭日は樺太始政記念日の八月二十三日。

▽縣社豊原神社 祭神は天照皇大神、豊受大神、明治天皇、昭憲皇太后の三座四神にして豊原市北豊原に鎮座、明治四十一年の創立、昭和三年十一月五日縣社に列格せらる。例祭日は六月十六日。

▽縣社亞庭神社 祭神は大國魂命、事代主命、市杵島姫命、御直津神、豊田別命にして大泊町御樂ヶ丘に鎮座しあり。大正三年創建、昭和五年七月五日縣社に列格せらる。例祭日は八月十日。

▽縣社眞岡神社 祭神は天照皇大神、豊受大神の二神にして眞岡町の高臺に鎮座、明治四十三年の創立、昭和九年五月縣社に列格、例祭日は七月十日。

▽樺太護國神社 日露戦役及び昭和六年より同九年に至る滿洲事變の本島關係戦役者の英靈を祀る。官幣大社樺太神社に遷接し昭和十年九月の創建、例祭日は八月二十五日。

表忠碑 日露戦役當時本島攻略の際戦死せる故陸軍歩兵少佐西久保豊一男以下軍人、軍醫五十一名の英靈を祀り、全滅したる七月十二日を卜し毎年招魂祭を舉行、大泊中央高臺にあり。

樺太戦跡記念碑 本島攻略の戦跡を記念するため官民有志の發企により樺太戦跡保存會を組織し、一萬數千圓を投じ最、激戦地たりし豊原市軍川に高さ二十四尺の記念碑を建設せり。

宗 教 領有後各宗派布教師來島して、布教に努めた結果、神道は各地に五十の布教所を開設し、佛敎は眞宗、日蓮、曹洞、眞言、淨土各宗の寺院七十五、布教所百二十箇所に及び、基督教は日本聖公會、メソヂスト、天主教會、日本基督教會、救世軍、ホーリ

日本基督教會、救世軍、ホーリ

日本基督教會、救世軍、ホーリ

寺院、布教所及び信徒

Table with columns for religion (e.g., 神道, 基督教, 佛教), year (e.g., 昭和二年, 昭和三年), and counts (e.g., 信徒數, 布教所). Includes sub-sections for 全島神社數 and 全島神職數.

師範教育

男子教員の養成機關は大正七年四月大泊中學校に小學校教員講習所を附設したが、大正十一年内地師範學校の二部制に倣ひ本科教員を養成し毎年四十名宛卒業せしめた。昭和十二年度から従來の一箇年制を廢し二箇年の修業年限とし、同時に豊原にも豊原高女に小學校教員養成所を附設(二箇年修了)した。然し樺太の特殊事情を教育の分野に顯現するにはかゝる微温的對策のみを以てしては實際的效果を期待出来ぬ爲、昭和十三年度豫算に樺太師範學校新築に要する營繕費並に準備、開校に必要な職員經費を要求し承認され、昭和十四年四月一日から開校された。校舎は豊原市樺太護國神社境内に設定された。

教育

學校教育

樺太に小學校の設置されたのは明治三十九年豊原、大泊、眞岡の三箇所に設けたのを嚆矢とし、引續き各地に私立簡易教育所を補助令を以て設けしめたが、明治四十一年勅令を以て樺太に於ける小學校に關する件を公布する體制を整へ、暫時法制方面の整備と共に教育の改善に當り今日に推移した。又高等普

社會教育

人文の進化と共に學校教育と併行して民衆教育の必要が切實に要求されるに至つたので、樺太廳では昭和五年十月社會教育

主たる社會教育團體

樺太教育會 事業Ⅰ講演會、研究會 Ⅱ夏季大學の開催 Ⅲ各科研究調査會 Ⅳ圖書及夜間中學校の開設 Ⅴ機關雜誌の刊行 Ⅵ恩賜財團樺太教化事業獎勵會 事業Ⅰ

初等教育

樺太の進展に伴つて人

口の増加に因る學齡兒童の増加も亦著しく、依つて學校の増設、校地、校舍の整備と共に内容の充實を圖り教育の改善振興に努め居り、今や村落を形成するところ、學校の設置を見ざるなき状態である。従つて學齡兒童の就學率亦頗る良好であり、昭和十三年度の就學兒童數は六萬一千八百八十二名で、前年の五萬七千三百六十六名に比較すると實に四千名の増加を示し、本島拓殖の進展を反映して小學校の施設經營は昔日に比し隔世の感がある。

本斗水産學校 本島の實業補習學校は設立の當初からその内容に於ては内地に於ける乙種實業學校と比較して遜色なかつたが、昭和十三年六月の官制公布に依つて名實共に實業學校たるの方面を開き、先づ十四年度より水産補習學校を改めて本斗水産學校の新設を見るに至つた。これに依つて二學級である同校の教員定員は四人となり委任たる校長とも五人、書記一人其の他専任職員を含む甲種學校となつた。

樺太工業學校 樺太工業學校は十四年度より開校する豫定であつたが、敷地其他の都合に依り十五年度秋までに校舍を新築することになつた。

乙種商業學校に昇格 樺太實業補習學校は昭和十四年度より乙種商業學校に昇格された。昇格補習學校左の通り。
豊原商業、落合商工、大泊商業、眞岡商業、泊岸商工、知取工業、惠須取商工、敷香商業

拓殖學校の農林學校改組 樺太廳拓殖學校は昭和十四年四月より甲種程度農林學校に改組された。

小學校長

(昭和十四年八月一日現在)

學榮支廳管内

豊一校中久雄、豊二校渡邊信市、豊三校香藤了雄、豊四校中村貴一、大澤分教場伊藤忠雄、軍川校岸與四郎、唐松校谷藤吉、並川校高橋正治、太富校柳原利明、下並川校藤井正孝、清川校佐藤貞二、小沼校加藤善右衛門、草野校柴田道城、深雪校石黒善太郎、富岡校増田市郎、木川上校淺山喜久之助、奥川校藤澤茂治、鈴谷校橋本繁三、川上校藤井藤二、落合一校高瀬宗一、落二校原千啓、落三校田村榮一、白川校渡邊秀三郎、開山校菊地定七、山中校木村秀雄、深草校横山豊、黒川校三枝二郎、川南校戸村元正、葉保校高橋強、小谷校横田唯男、葉落校

高橋豊喜、小田豊校多田晴太郎、相澤校伊藤順一、富澤校兒玉長平、白鳥校豊季廣、白濱校北信吉、崎澤校杉内六藏、野寒校宇津木晋、新堂校奥石田次、白浦校小野善一、眞吉校立川謙、眞達校長谷儀雄、保呂校松村康三、眞達校長中川定美

大泊支廳管内

大泊校野口要、船見校宮塚敏幸、大泊高小校竹田信弘、楠澤校菊地其次男、古牧校石川彦次郎、一ノ瀬校佐藤哲、千夷校大村茂、日塚校黒石良平、中甲校内海誠藏、雄味校飯田吉次郎、深海校津津友一、鳥居校佐々木銀郎、長濱校進藤龍三、禮文校高橋幸高、奥津校高橋下、荒栗校福口仁三郎、遠澤高小校小島清次郎、遠澤校山口三郎、胡蝶校中山國平、内茂校渡邊久吉、赤岩校米野元、彌高小校横田良一、彌高校佐藤田齊、札塔校島作徳、乳根校雲澤源一、美田高小校黒田重時、江刺校鈴木孝秀、富内高小校黒田一良、富内校部分教場樋口久衛、落根校佐藤彌八、上落根分教場西澤二郎、南遠古丹校高橋由道、岸原校牛坂喜壽、上喜美内高小校山口五郎、喜美内校三村村利、下喜美内校久保誠夫

留多加出張所管内

留多加高小校藤治郎、江ノ浦校黒田精一、落路校中島清一、平野校野毛勇次郎、小甲校成田喜代治、小原校岡野清、上小

原校下田清治、河西校谷口貴一、大豊校天野栄雄、大豊二校高田正則、豊榮一校清木榮、豊榮二校佐藤直衛、伏子高小校佐藤善九郎、多内高小校野坂長次郎、上多内分教場原田學次郎、下多内分教場菅原源治、利良校鈴木誠男、峴内保校水野重俊、池月校中野賢三、雨取校三原太郎、差取校北澤計三、泥川校安原泰、古江校津川善三、大味校三浦茂太、内津校高島信造、北津校久保保彦、知志谷校宇野謙、盛地校折重延、西能登呂分教場青木健四郎

本斗支廳管内

相根平校小池正夫、福内校西山秀市、福内分教場船木誠太郎、阿幸高小校田澤正一、遠藤校佐賀平藏、遠澤校岡田良一、本斗校益子文夫、島舞校田村義照、吐留保校奥石茂、氣主校島田廣志、牛荷分教場下藤桃子、内峴一校清水碧、内峴二校内藤武雄、上内峴校江利山吉吉、奥内峴校増田信一、遊牛校小島繁勝、好仁校田口好友、南好澤校土井源治、木葉校福澤三郎、千和校細井源治、呂馬内校小山内徹郎、宗仁校田中重治、十串分教場小林三郎、南白主校元田正三、蓋吉校箱崎義江、海馬島一校吉池長澄、海馬二校佐藤國紀

眞岡支廳管内

大積高小校櫻庭源次郎、多羅泊校又井羽介、苦舞校山本竹次郎、廣地校小野寺

豊四郎、眞岡一校石井敬次、眞岡二校藤野幸藏、眞岡三校山内伸、眞岡四校佐藤虎五郎、逢坂校黒木憲忠、二股校横澤文太、瑞穂校佐々木繁廣、天城校渡邊貞、清水校大川照吉、富澤校住吉信、藤江校信天源吾、木古丹校和田勇全、開田校福田忠正、富内岸原校武井健吉、落白帆校諏訪武、羽母舞一校大町正、羽母舞二校菅野皓、小能登呂一校藤藤清、小能登呂二校布鹿伊治、小能登呂三校津川十太、富原分教場河本貞藏、上富原分教場須藤龍太郎、仁多須校長勇八、登富津校藤原豊慶、南豊校最上壽次郎、北澤校河野悦彌、野田校柳久保義孝、久良志校松山淡、福榮校湯上繁一、小甲校小池久治、南豊校上南豊分教場佐藤道三

泊岸支廳管内

泊岸校佐藤清三郎、江部校須田賢吉、追手校吉川透、中追手校木村周三、上追手分教場三上信吉、杜門校柴田和夫、元山校善野繁次郎、中澤校荒井清、奥津校祐川英四郎、名寄校新井翁太郎、東條校上野正之、南澤校氏家運造、大豊校中山吉平、平澤校池田景造、知來校飯岡英三、久春内校守田源造、寶澤一校石川八郎、寶澤二校杉原春吉、寶澤三校津田完二、牛毛校尾崎武治、幸濱校大畑基家、留久志校新開丈夫、小田洲校魚津鮮次、下大川校矢澤憲、珍内校龜田元次郎

鶴城出張所管内

間度校笹島三信、鶴城校福士米太郎、幌

岸校寺島胤水、内湖校佐野重一、上幌千校樋口吉秋、幌下校石井實、惠須取一校大武留男、惠須取二校佐藤八重彦、惠須取高小校河田實、大平校渡邊泰、上惠須取校赤堀定、天内一校佐藤孝次、天内二校長野節哉、糸井校有馬秀徳、千緒校峯村好枝富岡哲三、諸津校山田新五郎、北小澤一校長澤昇、北小澤二校藤田三郎、西澤丹校奥村三夫、北豊校吉田俊、安別校佐々木龍松、布鶴校森本全壽、白澤校雲田信一、來知志一校楠崎憲一、來知志二校尾崎武昌、胡桃澤校中島徳壽、神多校中澤三郎、上布鶴校金田寛、古丹分教場任々木義文、鷹取校石井幸作、豊畑校山岡久米雄

元泊支廳管内

登根校田中萬次郎、近幌校小畑正、白石澤校豊藤和男、馬群澤一校小林芳治、馬群澤二校宮坂茂樹、元泊校江澤潤一、鷹保一校佐藤正志、鷹保二校井口彌作、鷹保三校千田省衛、東郷校菅野弘治、北遠古丹校漆間達幸、上遠古丹校尾崎貞夫、知取一校根來毅、知取二校小野寺儀平、知取三校木村清一、知取高小校長尾政雄、知取澤校清野文吾、東郷丹校大田一、大鶴取校尾崎芳之助

敷香支廳管内

敷香一校佐賀賢太郎、敷香二校田中武次、敷香三校石井義、中敷香一校岡谷健助、中敷香二校小川義夫、大木校中妻安人、

上敷香校中坪啓次、初間一校平野國三、初間二校青木眞一、保惠校佐々木爲治、氣屯校大杉實實、中氣屯校宮吉達、駒岡校黒田守、多末加校白恒之進、内路校山本倫平、上内路校神代家司、内川校戸田繁雄、泊岸校志摩成二、新聞校長藤昇一、能登校服部清次郎、西野頃校長藤健次郎、遠藤校對馬源之助、千輪校片田幸一、古屯校河野清次、粒輪校佐藤藤一、小泊校竹内弘次、氣屯校有賀安定、敷香教育所川村秀彌

師範學校學級數及び教員數

(十四年六月)

學級數 教員數

Table with 2 columns: 學級數, 教員數. Rows for various schools like 小學校教、學級數及び教員數.

Table with 3 columns: 學校名, 學級數, 教員數. Rows for 青年學校教員數 (十四年六月) and 實業學校學級數及び教員數 (十四年六月).

Table with 3 columns: 學校名, 學級數, 教員數. Rows for 高等女學校學級數及び教員數 (十四年六月).

中學校學級數及び教員數

學級數	一〇
教員數	一一
大泊中學校	一五
豊原中學校	二〇
眞岡中學校	一四
計	四九

中等學校長

(十四年六月一日)

樺太師範學校上田光晴、大泊中學校中江時助、豊原中學校瓜田友衛、眞岡中學校谷口謙、豊原高等女學校福山惟吉、大泊高等女學校橋山賢市、眞岡高等女學校青木益太郎、泊居高等女學校花田康三、敷香高等女學校松尾重壽、敷香實科高等女學校松尾重壽、恵須取實科高等女學校河田實、知取實科高等女學校長尾政雄

私立學校

(十四年八月末現在)

私立樺太教育會附屬豊原夜間中學校(豊原市)藤川實高等女學校(同)大泊女子職業學校(大泊町)大泊實科女學校(同)知取和洋裁縫女學校(知取町)豊原盲啞學院(豊原市)樺太職業會附屬炭礦技術員養成

(同)

幼稚園

私立大泊幼稚園(大泊町)私立豊原幼稚園(豊原市)私立恵須取青嶺幼稚園(恵須取町)

實業學校長

(十四年六月一日)

樺太拓殖學校川崎清二、本斗水産學校島田信、豊原商業學校(事務取扱)山崎正孝、合資商工學校(事務取扱)佐々木要蔵、大泊商業學校(事務取扱)伊藤亨、眞岡商業學校(事務取扱)北田好夫、泊居商工學校(事務取扱)清水敏一、知取工業學校(事務取扱)山本兵三、敷香商業學校(事務取扱)安谷尚松、恵須取商工學校(事務取扱)伊吹健治

社 會

日支事變勃發以來石炭鐵業は躍進的發展を遂げ、之に伴ひ人口も亦著しく増加、社會事業も亦促進され就中生産力の擴充に伴ふ勞務需給調整に當り豊原市、眞岡町、恵須取町に國營の職業紹介所の設置を見た。尙本島文化の積極的振興を圖らん

勇士の遺児達上

京

昭和十四年八月六日軍人授護會が全國戰歿勇士の遺児を帝都に招き、靖國神社に參拜せしめ、聲なき父に對面せしめると共に神田軍人會館に於て慰安の夕を開催、これに参加せる本島代表の遺児は左の五名で、いづれも手厚いもてなしに感激し、忠君愛國の精神を一層新にした。

輝く銃後善行者

軍人授護會樺太支部では昭和十四年七月七日「興軍記念日」に際し、銃後善行者として左の八名を表彰した。

- 豊原市銃後善行者 石垣 重蔵(六七歳)
- 留多加町銃後善行者 木村 一男(六六歳)
- 本斗町銃後善行者 大森 大蔵(四三歳)
- 恵須取町 熊田 久吉(四三歳)
- 留多加町銃後善行者 渡邊ハチヨ(三三歳)
- 恵須取町銃後善行者 酒井 満成(三三歳)
- 豊原市銃後善行者 小西 ひで(三三歳)
- 遠藤村銃後善行者 渡部 久吉(四三歳)

罹災救助

罹災救助 願令に依り多數災害を蒙りたる場合に救護されるもので、避難所費、食料、被服、治療、小屋掛、就業、學用品に救助金を支給される。

町村財政に好影響を與へてゐる。(過去三箇年比較)

年 度	救護	同廢止	國庫
昭和十年	三九	三三	三三
同 十一年	三五	三九	三三
同 十二年	一七	三三	三三

△取扱數月別表(十二年度)

四月	九
五月	三
六月	三
七月	一
八月	一
九月	一
十月	一
十一月	一
十二月	一
一月	一
二月	一
三月	一
合計	三三

職業紹介

本島は面積が廣く水産、林産、鐵産等の天然資源が豊富の割合に人口が稀薄である爲各種産業は共に島外からの勞力移入に俟たねばならない。現在人口三十五萬餘、その中の半数は農業に従事してゐる實情であるが、土木事業は本島の氣候、風土の關係上その施工期間は完全に農繁期と一致するため島内の勞働力を此の方に動員する餘地は全くない。殊に昭和十四年度より本格的に土木事業が展開するに至つたものの勞働力の不足が深刻

恩賜財團樺太人事相談所業績

昭和七年	一〇〇	一七	三
同 八年	三三	一七	三
同 九年	五七	三〇	一
同 十年	一〇三	八七	五
同 十一年	一〇〇	七三	五
同 十二年	一〇三	八四	五

△職業別紹介數(十二年度)

工業礦業	三三	一三	三
土木建築	一	一	一
商業	一	一	一
農林業	一	一	一
水産業	一	一	一
通信運輸	一	一	一
戸内使用	一	一	一
雜業	一	一	一
合計	三三	一三	三



樺太大同罐詰株式會社

本社 眞岡町入船町四番地
 函館出張所 函館市末廣町九番地カネモリビル二階
 豊原出張所 豊原市東六條南八丁目

取締役社長	平塚常次郎	取締役	熊谷堅藏
専務取締役	渡邊照平	取締役	大坂竹次郎
取締役	森本米太郎	同	綾部正之郎
同	森本秀太郎	同	村久廣夫
同	井部健藏	同	賀篠次郎
同	辻清太郎	同	桐源次郎
同	近藤貞造	同	岡壽龜
同	田中惣左衛門	同	

スポーツ

國民體育振興のため昭和十四年度より樺太廳でも國民體育に留意、昭和十三年に樺太體育協會を設立して以來、現に島内各種體育團體の連絡統一を圖り、補助金を與へて體育の振興を大いに助成しつゝある。

武道

◇全島演武大會 昭和十四年三月三日午前八時より豊原武徳殿に於て舉行。

- △柔道
 - 準決勝 豊原4—3數 香
 - 大 泊2—0眞岡
 - 決勝 大 泊3—2豊原
- △個人優勝
 - 甲組 鹿取彌太郎(眞岡) 乙組 八重樫亮一(豊中)
- △柔道
 - 準決勝 數 香3—2豊原
 - 留多加2—1豊中

決勝 留多加2—1數 香

- △個人優勝
 - 甲組 今村源吉(豊中) 乙組 遠田繁(大泊)
- ◇青年團武道大會 昭和十四年八月十九日午前十一時より豊原中學演武場で開催。
- △剣道團體優勝
 - 眞岡青年團(細谷正良、中川秀男、富山松雄)
- △個人優勝
 - 一位 井上安之助(木斗)
- △柔道團體優勝
 - 大泊青年團(金鐘治、佐藤喜代志、小山内保)
- △個人優勝
 - 一位 佐藤喜代志(大泊)

- ◇青年團相撲 全島青年團連に幼年部對抗相撲大會は昭和十四年八月二十日午前十時より豊原公園相撲場に於て開催。
- △青年部 一位 藤城青年團(佐藤、二本、菅原)
- △幼年部 一位 豊原一校(星、高橋、野澤)
- ◇全島弓道大會 第七回全島弓道大會は昭和十四年八月二十日午前八時より豊原第二小學校講堂に於て開催。
- △團體の部 1(十四中)豊原高女職員イ組(西鶴、栗山、古屋)

スキ

◇全日本スキー大會 第十七回全日本スキー選手権大會は十四年二月九日—十二日札幌郊外宮の森で開催、樺太代表は萬丈の氣を吐いた。

- △個人の部 一般(七中) 田口秀雄(川上) 學生(七中) 宮本文雄(泊中) 學生女子(六中) 鮫江君子(豊女)
- △射撃優秀賞 一般山下春吉、大和喜代子、久光忠助 學生男子君松村安、鈴木尚 學生女子梅村敏子、鈴木孝子
- △耐久 遠藤恭治(豊勝) 佐藤忠義(同) 北村勇吉(同) 小笠原與一(同) 伊藤弘(同) 向井幸雄(同) 蛭子千富(同)
- △長距離 小笠原與一(豊勝) 伊藤弘(同) 佐藤忠義(同) 向井幸雄(同) 北村勇吉(同) 蛭子千富(同) 三上由海(豊勝) 三輪徹男(豊勝) 岩田勝(同) 須賀隆夫(同) 岡崎秀夫(眞中) 遠藤恭治(豊勝)
- △新複合 波岡利(豊中) 若木松太郎(豊勝) 西川巖(眞中) 菅谷彰(泊中) 平賀水藏(川上) 田村静子(豊勝) 佐藤一子(豊女)
- △飛躍 若木松太郎(豊勝) 佐藤利司(眞中) 堀江勇(眞中) 大柳秀一(豊勝) 菅谷正夫(眞中) 菅谷彰(泊中) 林富三(眞中) 遠藤寛雄(眞中) 森初男(眞中) 高橋幸吉(泊中) 中嶋岡文男(同)
- △複合 菅谷正夫(豊勝) 岡崎秀夫(眞中) 遠藤寛雄(眞中) 遠藤恭治、佐藤忠義、中嶋岡文男(同)
- △競走 豊原勝明(遠藤恭治、佐藤忠義)

三輪徹夫、小笠原與一、蛭子千富

- △滑降 若木松太郎(豊勝) 田村静子(同) 平賀水藏(川上) 西川巖(眞中) 森初男(同) 波岡利(豊中) 菅谷彰(泊中) 佐藤一子(豊女)
- △速降 若木松太郎(豊勝) 田村静子(同) 平賀水藏(川上) 西川巖(眞中) 森初男(同) 波岡利(豊中) 菅谷彰(泊中) 佐藤一子(豊女)
- ◇樺太スキー大會 樺太體育協會主催第十二回全島スキー大會は二月十一日午前十時より豊原郊外旭ヶ丘綜合スキー場で開催。
- △幼年女子一キロ 1 岩崎光子(豊二) 六分一九秒
- △幼年女子二キロ 1 木村實夫(豊三) 八分三七秒
- △少年女子二キロ 1 小玉トミ(豊一) 七分五三秒
- △少年男子十キロ 1 水上定久(落一校) 四六分一八秒
- △中等男子十八キロ 1 草薙二(豊中) 一時間六分三五秒
- △一般十八キロ 1 蛭子千富(豊勝) 一時間六秒
- △複合中等男子 1 林富三(眞中) 四五三點六
- △同一一般男子 1 佐藤利司(眞中) 四二三點八
- △幼年男子飛躍 1 多田實(川上) 一七八點二
- △最長不倒横田五郎(川上) 二四米

- 五〇 △少年男子飛躍 1佐藤喜佐男(川上小) 一九〇點一 最長不倒若木(川上小) 二五米
- △中等男子飛躍 1遠藤寛雄(豊中)二二 四點六 最長不倒三〇米五
- △一般男子飛躍 1佐藤利司(臨瀧)二二 三點五 最長不倒若木(豊中)二二 四米
- △編走 幼年女子1豊原二校(前田千恵子、岩崎光子、森川喜久子、坂本ミツヨ)二七分一六秒△少年女子1豊原二校(小玉トミ、石井静江、佐々木モト、神代ミユキ)五〇分三五秒△少年男子1落合二校(望月洗一、阿部孝、水上定久、青木益太郎)二時間三四分四一 秒△中等男子1豊原中學(波岡利、草 隆弘、伊藤行雄、南義市)二時間四三 分四一秒△一般1豊原A組(伊藤弘、 蛭子千富、遠藤恭治、佐藤忠義)二時 間三〇分四七秒
- △長距離一般 1佐々木清(臨瀧)一時間 六分五二秒
- △新複合 幼年女子1前田千恵子(豊原) △少年女子1石井静江(豊一)△幼年男 子1若井淳吾(豊三)△少年男子1佐藤 喜佐男(川上小) △一般女子1三上勝 (大聯)

陸上競技

△全島陸上競技大会 昭和十四年八

- 月十九日より二日間豊原公園グラウンドに於て開催。
- 少年女子百メートル小玉トシ子(豊原第一校) 一五秒八△中等男子百メートル青山豊(豊原中學) 二二秒六△一般百メートル渡邊彦一(大泊) 二二秒八△中等男子千五百メートル竹内宗一(真中) 五分七秒二△一般千五百メートル木間秀雄(高宮) 四分四五秒△少年男子百メートル豊原(豊原第一小學校) 九米八二△中等男子百メートル中野路八郎(真中) 一三米二三△實業走高跳1石栗政明(落合商工) 一五米五〇△實業學校千五百メートル池田末安(落合) 五分一九秒八△三百メートル低階中等男子1横尾忠雄(真中) 二九秒五△中等男子四百メートル岡本國義(真中) 一分三秒九△中等男子走高跳1上野忠治(真中) 一五米七〇△大會新記録△實業學校砲丸投1田藤翁二(大泊) 九米五三△青年砲丸投1佐久間時廣(真中) 九米八七△スポンチボール投幼年男子1渡邊隆一(豊原第一小學校) 五四米九二△中等男子五千米1櫻田金藏(泊中) 一八分五八秒△一萬米1後藤秀雄(豊原) 三七分一三秒△三段跳高女1寺澤佳子(豊原高女) 九米七△三段跳高男1田藤翁二(泊居) 一三米三五△三段跳少年女子1伊東文子(豊原第一小學校) 八米二五△三段跳少年男子1村上順一(大泊高小) 一〇米八七△八百メートル少年男

其の他

- △青年團儀禮1高木正治(臨瀧)三〇秒 △千米瑞典編走青年團1留多加青年團 二分一五秒九△四百メートル少年1豊原二校一分一秒九△四百メートル少年1豊原二校一分一秒五△四百メートル少年1豊原第一校一分一秒一△四百メートル少年1豊原第一校一分一秒一△四百メートル少年1豊原第一校一分一秒一
- △大會新記録△團體投一般1松本龍夫(泊居) 二四米五二
- △全島中等女子排球大会 昭和十四年八月二十一日午前九時より豊原高女コートに於て舉行、豊原高女優勝。
- 豊原高女(2121) 大泊高女(1516)
- 豊原高女(2121) 真中高女(1621)
- バスケットボール大会 二十一日午前九時より舉行された結果、男子部は真中中學、女子部は豊原高女優勝。
- △庭球選手権大会 全島庭球選手権大会は昭和十四年八月二十三日午前八時より棒太總前コートに於て開催。
- △中等男子(決勝) 柴田(真) 3-1 草野(真) 中(女) 3-1 江利山(女)

観光案内

北海道の北端、稚内を船出してから僅かに四時間、能登呂の岬を交せば、波濤やかで一大湖水の様な亞庭海に入る。コースを北東北に換へてから、左右兩舷に見える北から南に蜿蜒と走る船路遙かの山々、これが北海の樺太は常に氣候の清涼なるのみでなく、緑濃い原野は北國特有の香高き草花に彩られ、鬱蒼たる大森林は天空を摩し、百鳥は嬉々として囀る。廣袤無限の沃野に散在するエキゾチックな露人の家屋、沿岸の到るところに躍る潑刺たる銀鱗、孤島の汀

にはグロテスクな海獣の群、哀愁する土人の祝歌、到るところに樺太の持つカラーを遺憾なく發揮してゐる。秋風一過、纏て環海悉く雄大な水原と化する頃となれば、港々に水上荷役が始る。樺太特有の犬樞が活躍し、海面の水盤を穿つて漁り、鳥技を誇るスキーは飛燕する等、見るもの聞くもの總べてが珍奇の世界であり、樺太を旅する人々に永く忘れ得ない印象を止むるであらう。

旅の好季節は何といつても六月より八月にかけて盛夏の候で、内地では熱鬧に喘いでゐる時、暑さ知らずの旅に出で樺太情緒に浸ることが出来るが、樺太の眞の姿を観るには白晝をたる冬が最も印象的である。旅装は大體七、八月の盛夏の候は夏服で十一月より四月までは冬服、其の他の月は合服でよい。

樺太は招く 樺太も奥奥といつた昔とはちがつてすつかり文化の衣裳を著け、少しも内地と變らない。而も交通文化の發達は目覚しく、三千噸級の巨船が易々として快走してゐる。最も捷徑で便利な航路は稚内より大泊港と本斗間の航路であるが、小樽より真岡、大泊の北日本汽船會社、日本郵船會社で輕便の航路も毎月運行して居り運賃も低廉でサービスもよい。

観光に適する季節 樺太への旅は交通機關の關係から冬と夏とでは差異がある。 樺太と言へば夏も冬もない氷山雪野の如く想像してゐるとせは、誤解も甚だしものである。地勢或は海流の關係で全島一様ではないが、春三月に入れば融雪し始め、五月より野邊に氷が融えそめて新緑の世界と化し、七、八月に至れば百花一時に咲き亂れ拍動するものがある。冬期は相當寒氣厳しく、気温は概して氷點下にあるけれども、これに應じて防寒の設備が整つてゐるから決して暑々に困難でなく、寧ろ餘り刺戟のない夏の樺太より、氷雪の殿堂と化した冬の樺太の方が島人をして活氣付ける。

狐の村、小沼

都人の頸飾する黒狐は樺太特産で、到るところに飼はれてゐる。

- △全島選手権(同) 佐藤(塔) 4-3 櫻井(豊原)
- △都市對抗野球 第五回全島都市對抗野球大会は昭和十四年八月二十三日午前九時より豊原公園球場に於て三日間開催。
- △準決勝戦 眞岡4A-3 大泊塔路1A-0 落合
- △決勝戦 眞岡01200010004 塔路001200010004
- △全島少年野球 第十回全島少年野球大会は昭和十四年八月二十一日より二日間豊原野球場グラウンドに於て開催。
- △準決勝戦 眞岡二校10-5 眞岡二校 留多加校10-9 豊一校
- △決勝戦 眞岡二校10A-0 留多加校
- △全島體育團體 樺太體育協會(學務課内) 樺太スキー聯盟(同) 樺太野球聯盟(同) 樺太庭球聯盟(同) 豊原スケート俱樂部(樺太庭内) 大泊スケート俱樂部(大泊町) 武徳會 樺太支部(豊原市) 豊原弓道研究會
- 體育團體數(支應別) 種目 豊大本眞泊元香計 総合陸 五一一二二二二二二二 上競技 五一一二二二二二二二

る。殊に狐の村、黄金の雨降る
コンノ村等と稱されてゐる小
沼は、樺太廳中央試験所の所在
地である關係から各戸に飼育さ
れ、その王座を占めてゐる。

樺太犬の活躍

雪國樺太の冬に交通機関として重要な
役割をつとめてゐるもの一つとして犬
種がある。奥地にあつては現在でも土人
が十数頭の犬に種(ノツ)を奉かせ、都
會地に於ては商店の御用犬が御意機へ
商品の小運搬をさしてゐる。樺太犬は其
の容貌鋭く、性慥にして頗る活動的で
ある。

馴鹿の群

馴鹿は頗る人に馴れ易い温順
な動物である。現在は奥地樺太
幌内川の流域のツンドラ地帯に
棲息し、主として土人に使役さ
れてゐる。幌内川が夕陽に映え
て廣漠たる平原を、幾隊も馴鹿
の群が土人に曳かれて行く状は
北國情緒纏綿たるものがある。

ツンドラ

ツンドラといふものは一つの特種な地
層である。苔苔類、草の根が堆積した温
地帯で、その區域の如きも何甲といふ廣
さに渉るものである。このツンドラは何

の役に立つかと云ふと防寒具や、これを
懸隔加工して種々の器具を作る。面白い
ことには馴鹿はこのツンドラに生える苔
を食んで棲息してゐる。

土人

現在樺太に在住する土人とい
へばアイヌ、ニクブン(ギリヤ
ーク)オロツコ、キーリン、サ
ンダー及びビヤクトの六種族を
指稱してゐる。アイヌは南樺太
に点在群居してゐる。彼等の大
半は今和erson化し日本語も巧み
であり、比較的生活程度も高く
和人と變るところがない。一部
の土人は北方幌内川の河畔に今
でも原始的な生活を営み、辛う
じて樺太廳の保護を受け餘喘を
保つてゐる。

オタスの杜

敷香と言へばオタスの杜を聯想するほ
どこの杜は有名である。敷香町の對岸幌
内川を挟んで、文化の程度が極端に異な
つた僻地の地、ギリヤーク、オロツコ
族の安住の地である。オタスの語源はオ
タシクといふアイヌ語の轉訛で、砂を
掘るといふ意味である。

露人の家屋

樺太の領有を偲ぶものの一つ

として残つてゐる。沿線に散見
する傾きかけた丸太を積み重ね
て四壁としたもので、外見は如
何にも殺風景であるが、防寒の
點に於ては遙かに日本家屋を凌
駕してゐる。

海馬島の奇景

この島は元アイヌ語でトドモシリと呼
んだ。即ち海馬の棲息する島といふ意味
であるが、今では海馬は殆どその影を見
ない。本斗港より西方三十五哩を距つた
海馬島の孤島である。周圍僅かに二十軒、
島は一般に峻峭な山岳地帯であつて、海
濱は悉く巖石層から成り、神岩奇巖到る
處に点在して、風光の佳なるは言語に極
する。

珍奇の海豹島

海豹島は北知床岬の突端より
十哩、敷香から八十哩を隔る長
さ四百五十米、幅五十五米、水
面上僅かに十五米の蕨爾たる岩
礁に過ぎないが、オットセイの
蕃殖場として有名であり、春よ
り秋にかけて數萬のオットセイ
と數十萬のロツペン鳥が島の地
肌が見えないまでに群來して奇
觀を呈する。

産業ルース

樺太廳鐵道事務所では樺太北部視察者
の爲に、新に觀光ルースに代る産業ルー
トを設定したが、昭和十四年八月第一回
視察團を募集成功を収めた。

樺太名勝八景

- ◇鈴谷連峯 鈴谷嶽を中心とし地ヶ丘
(樺太神社舊址)豊原公園を含む一帯。
- ◇奥針五湖 奥針山を中心とし富内、
恩洞、遠洞、和愛、池邊湖等の湖郷の
地帯。
- ◇突阻山 突阻山、登帆海岸、馬群
潭、泥火山を含む地帯。
- ◇幌内川凍原 幌内川流域より多來加
湖に亘るツンドラ平原を含む地帯。
- ◇海豹島
- ◇白雲大峽 内山山連白雲峽を中心と
する中央山脈分水嶺黒巖山等を含む原始
林一帯に亘る峽域。
- ◇來知志湖 來知志湖を中心とし伊皿
釜伏、鶴城山等鶴城火山を含む地帯。
- ◇海馬島
- △十五勝神樂兵、日塚濱路、黒川あや
め沼、愛酒海岸、三ツ富士、遊仙峽、塔
路湖、名好温泉、白重峽、羽母舞原野、
豊真峽、多蘭泊、八鹿嶽、豊仙峽、能登
呂神

綜合印刷

北日本隨一

札幌三田印刷所

電話三八二四〇番

清涼飲料
リボンシトロン
三ツ矢サイダー



ルビロホッサ

大日本麥酒株式會社

北海タイムス年鑑

昭和十五年版

不許複製

昭和十四年十一月二十二日印刷
昭和十四年十一月二十五日發行

【定價壹圓】

北海タイムス社調査部編

發行兼
印刷人 戸倉忠次

印刷所 札幌市北三條西二丁目八番地
三田印刷所

發行所 札幌市大通西三丁目六番地
株式會社北海タイムス社

14.5
768

資本金 五三、八〇〇、〇〇〇圓

經營漁場
罐詰工場
冷藏船庫

三七〇箇所
四〇箇所
一五五〇隻



日魯漁業株式會社

本社 東京市麴町區丸ノ内二ノ二
出張所 函館市眞砂町六

此方資源開究會
御融通

株式會社
北海道拓殖銀行

營業科目

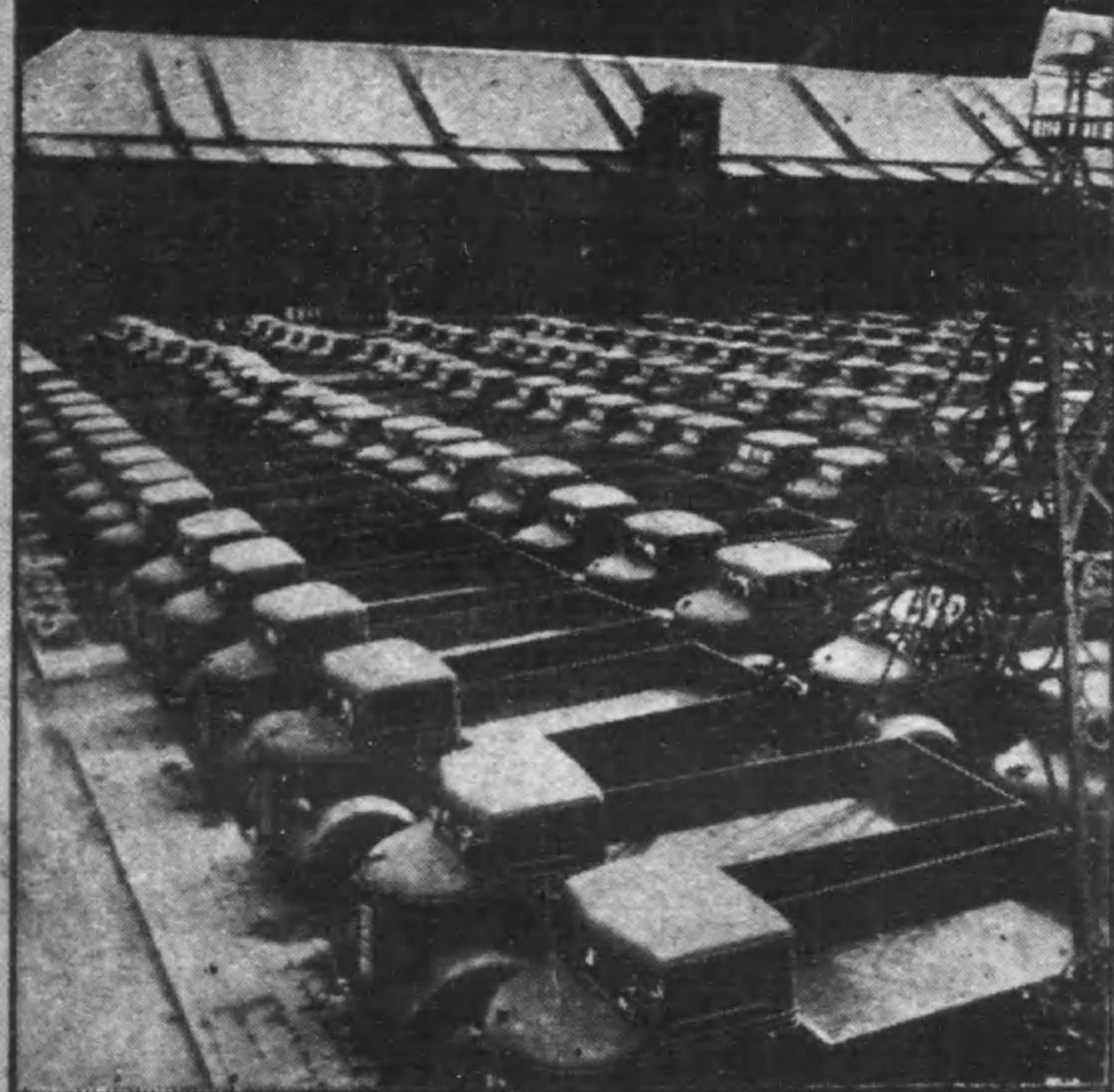
年賦貸付 預金・爲替
定期貸付 手形割引
其他一般業務

頭取 岡田信

本店 札幌市
支店 東京外北海道・樺太三十八箇店
出張所 北海道・樺太十五箇店 新設 砂川・輪西

ニッサントラック、バス

ニッサンキャブオーバーエンチン型の優秀性は、国内は勿論大陸に於ける需要が無言の證據を示して居る。寫真は大陸に送られる數百臺のニッサントラックが横濱税關構内に待機して居るところ。



終

日産清水自動車株式会社	札幌市北二條西三丁目一(電3515)
同小樽営業所	小樽市稻穂町東二ノ一九(電3912)
同函館営業所	函館市音羽町六二(電1395)
同室蘭出張所	室蘭市大町三三(電356)
旭川日産自動車株式会社	旭川市常盤通一ノ右二號(電2733)
同十勝支店	帯廣市大通七丁目(電30)
同野付牛出張所	常呂郡野付牛町二條通(電198)
樺太日産自動車株式会社	豊原市大通南一ノ九(電2808)